
青少年のネット利用実態把握を目的とした調査

平成28年度最終報告書

LINE株式会社

平成29年7月

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査

1. 調査の概要と進捗

LINE株式会社では、青少年のネットワーク（以下ネット）利用の啓発活動の更なる強化およびネット利用の問題防止に向けた研究のために、青少年のネット利用実態の把握を目的とした大規模調査を実施しています。平成28年度は、神奈川県教育委員会および東京都教育委員会のご協力をいただき、2度のアンケート調査を実施しました。このアンケートの結果およびその分析をとりまとめ、平成28年度の活動報告として、本報告書を公表致します。青少年のネット利用実態の把握を目的とした調査は、平成29年度も引き続き両自治体のご協力を戴きながら進めているところで、本事業の進捗状況は以下の通りです。

- (1) 平成29年3月23日に青少年のネット利用実態把握を目的とした調査の中間報告として神奈川県内の全県立高等学校（1分校含む）、全中等教育学校、および特別支援学校の一部の生徒64,031名、東京都の公立高等学校、中学校、小学校の児童・生徒6,509名に対するアンケート調査結果を公表しました。

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査 中間報告

<https://linecorp.com/ja/csr/news/ja/2017/85>

- (2) このアンケート調査の追跡・検証を目的として、平成28年12月から平成29年1月にかけて、東京都教育委員会のご協力により、東京都の公立高等学校、中学校、小学校の児童・生徒6,674名を対象に第2回アンケート調査を実施し、3月23日にその結果を速報版として公表しました。

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査 第2回アンケート結果 速報版

<https://linecorp.com/ja/csr/news/ja/2017/86>

- (3) 本調査は、LINE株式会社と神奈川県教育委員会および東京都教育委員会との共同研究プロジェクトの一環です。東京都教育委員会は、「SNS東京ルール」を定め、児童・生徒によるSNSの適切な利用促進を推進しています。東京都教育委員会が開発したノート教材「SNS東京ノート」には、本アンケート調査の結果を一部利用しています。

「SNS東京ルール」の成果と今後の取組について：補助教材「SNS東京ノート」の改訂等

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/2017/pr170323d.html>

2.本報告の内容

(1) 神奈川県における調査

①利用状況に関する概観と基本的な数値

(2) 東京都における1回目の調査

①利用状況に関する概観と基本的な数値

②生徒を取りまく環境とネット利用上の問題に関する相関分析

③東京都の中学校、小学校の調査について

(3) 東京都における2回目の調査

①パネル調査の有効性について

②スマホの利用時間と成績への意識

③教育効果について

平成28年度最終報告書の要旨および今後の調査について 概要

(1) 本報告書は以下の2回のアンケート調査の結果を平成28年度最終報告書としてとりまとめたものです。

① 平成28年6月から9月にかけて、神奈川県の高校生64,031名、東京都の高校生、中学生および小学生6,509名を対象とした第1回アンケート調査を実施しました。

② 平成28年12月から平成29年1月にかけて、東京都の公立高等学校、中学校、小学校の児童・生徒6,674名を対象に第2回アンケート調査を実施しました。この調査は第1回アンケート調査の結果を追跡・検証したものです。第2回アンケート調査では中学校・高等学校の生徒5,761名に関するパネル調査を集計しました。（パネル調査とは、同じ調査対象に対して、一定の期間をおいて繰り返し行う調査の方法のことです。この分析において、パネルとして有効であった人数は2,725人です。）神奈川県と東京都の調査内容に若干の違いのあることから、平成28年度報告書では、両自治体のデータを統合せず、アンケート毎に分析して報告書を作成しています。本報告書では、調査結果から内容を選択し、1頁に1つのテーマとして取りまとめました。一部コメントにて触れているグラフ箇所は、緑色にてハイライト表示しています。

(2) 神奈川県と東京都の調査結果には、ネットの利用について共通する青少年の生活や行動の様子があらわれています。たとえば神奈川県の高校生のスマホの所有率97.3%に対して、東京都の高校生の所有率は96.3%でした。情報端末の平日1日の利用時間について調べたところ、2時間および3時間と答えた高校生の割合は、神奈川県では39.3%、東京都では41.2%でした。

(3) 本調査では、生徒の普段利用するSNSのサービス（LINE、KakaoTalk、Twitter、Facebook、mixi、Instagram、Google+）について質問しています。このなかでLINEを1日10回以上チェックする生徒の数は、神奈川県ではSNS利用者の69.2%、おなじくTwitterは56.6%であったのに対して、東京都ではそれぞれ69.6%と50.6%となっており、LINEの利用が学校の生徒の日常生活に浸透していることが分かりました。

(4) 本調査のデータ上の留意点は、おもな実施対象校が神奈川県の場合は全県立高等学校（1分校含む）、全中等教育学校、および特別支援学校の一部であったのに対し、東京都の場合は公立高等学校、中学校、小学校の抽出校を対象としていることです。また東京都では「SNS東京ルール」の取り組みを進めているため、ルールとネット利用について質問しています。生徒の安全意識について調べると、主観的な安全意識はスマホの利用ルールに関係していることが分かりました。

(5) 第2回アンケート調査におけるパネル調査の結果は、継続的なネットリテラシー教育が、生徒のネット利用上の問題の経験を減らす傾向があることを示しています。

(6) 今後も同様のアンケート調査を実施する予定です。調査結果はすべて個別に整理して学校側にフィードバックをしています。

(7) 生徒のネット利用に関する先進的な取り組みの一環として、本調査にご尽力戴いた神奈川県教育委員会および東京都教育委員会に御礼申し上げます。

目次

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査	1
平成28年度最終報告書の要旨および今後の調査について	3

1. 神奈川県調査について 7

① 利用状況に関する概観と基本的な数値	8
情報端末の所持と割合	8
生徒の利用するSNS	9
情報端末の利用時間	10
生徒の安全意識に関する自覚	11
情報機器の利用時間帯	12
情報機器を利用する場所	13
情報機器の利用を始めた年齢	14
ネットで知り合った友人の数	15
対照質問として一般的な友人数	16
LINEで経験したいやなこと	17
ネットで実際に体験した嫌なことと嫌だと感じるものの違い	18

2. 東京都調査（第1回）について 20

① 利用状況に関する概観と基本的な数値	21
情報端末の所持と割合	21
生徒の利用するSNS	22
情報端末の利用時間	23
生徒の安全意識に関する自覚	24
情報機器の利用時間帯	25
情報機器を利用する場所	26
情報機器の利用を始めた年齢	27
ネットがきっかけで知り合った友人の数	28
卒業後も付き合いしていきたい親友数	29
ネットがきっかけで知り合った友人とのかかわり	30
ネット利用での問題	31
ネット利用での問題を体験したサービス	32
生徒が知り合いと経験したネット利用上の問題	33
知り合いとのネット利用上の問題を体験したサービス	34
知り合いとのネット利用時の問題が生じた時の生徒の対応	35
LINEで経験したネット利用時の問題	36

スマホ利用ルールの有無	37
スマホ利用のルール	38
スマホ利用のルールの決め方	39
スマホ利用ルールの遵守	40
スマホ利用のルールを守れなかった理由	41
スマホ利用のルールを学ぶ機会	42
ネットを利用するメリット	43
② 生徒を取りまく環境とネット利用上の問題経験の関係	44
安全意識の高い生徒はネット利用上の問題の経験率が低い	44
生徒の安全意識はスマホ使用ルールの決め方と関係	45
ネットで実際に体験した嫌なことと、ネットで嫌だと感じるであろうことの違い	46
③ 東京都の中学校、小学校の調査について	48
中学校の生徒が経験したネット利用上の問題	49
SNS東京ルール	50
小学校の児童が経験したネット利用上の問題	51
小学校の児童がスマホ利用ルールを学ぶ機会	52
3.東京都の調査（第2回）について	53
① パネルの有効性について	53
パネルの有効性について	53
② スマホの利用時間と学習について	55
スマホの利用時間と成績への意識	55
スマホの利用時間と勉強時間	56
勉強時間と成績への意識	57
教育と安全意識	58
③ 教育効果について	59
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果①	59
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果②	61
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果③	63
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果④	65
勉強が好きかどうか	67

勉強時間	68
成績に対する意識	69
娯楽動画の視聴時間	70
学習動画の視聴時間	71
ゲームをする時間	72
LINEをする時間	73
ニュースを見る時間	74

1.神奈川県の調査について

神奈川県の実施調査の概要は次の通りです。

県立学校162校は神奈川県の全県立高等学校（1分校含む）、全中等教育学校、および特別支援学校の一部です。

県立高等学校（1分校含む）	143校	63,086人
県立中等教育学校	2校	232人
県立特別支援学校	17校	713人
合計	162校	64,031人

以下のような確認用の設問をしたところ約95%が指示通り回答しました。

この質問は確認用です。かならず「5」のところに○をつけてください。

	全体人数	割合
1	691	1.1%
2	119	0.2%
3	318	0.5%
4	328	0.5%
5	60,482	94.5%
空欄	2,093	3.3%
合計	64,031	

あなたの現在の学校の課程は、つぎのどれですか。

課程	割合
全日制	96.5%
定時制午前	0.5%
定時制午後	0.5%
定時制夜間	1.9%
通信	0.5%

n=60,201

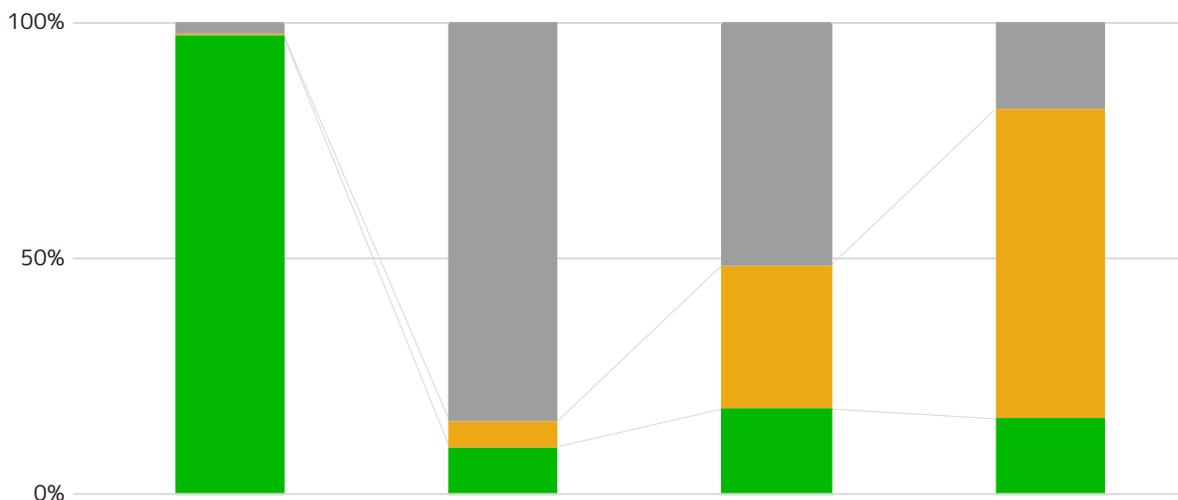
情報端末の所持と割合

高いスマホの保有率

調査の対象となった神奈川県の高校生の97.3%が自分専用のスマホを所有していました。パソコンの所有率は16.1%でした。なお、すべてに「持っていない」を回答した割合は0.36%でした。

設問

あなたは現在、つぎの電子機器を持っていますか。



	スマホ	フィーチャー フォン	タブレット	パソコン
■ 持っていない	2.4%	84.4%	51.5%	18.2%
■ 家族共用	0.3%	5.4%	30.2%	65.7%
■ 自分専用	97.3%	10.2%	18.3%	16.1%

n=54,493

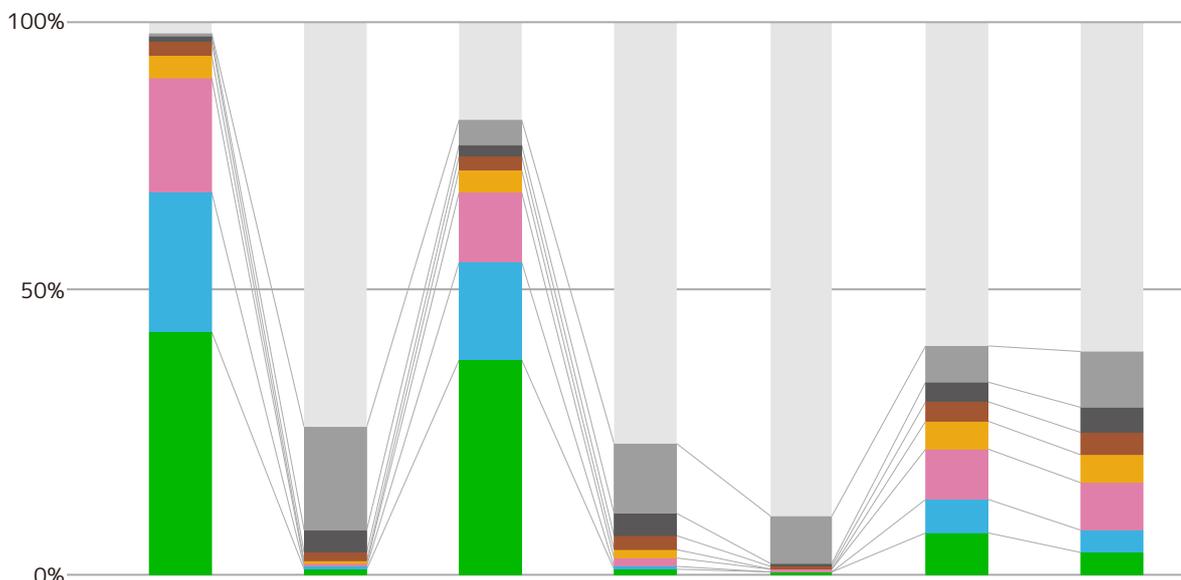
生徒の利用するSNS

LINEとTwitterが双璧

LINEを1日10回以上チェックする生徒の割合はSNS利用者の69.3%、同じくTwitterは56.6%でした。

設問

あなたは、現在、以下のソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）をどのぐらい利用していますか。
（スマートフォン、携帯電話、パソコンすべての利用を含みます。）



	LINE	Kakao	Twitter	Facebook	mixi	Instagram	Google+
利用なし	2.2%	73.2%	17.9%	75.9%	89.3%	58.3%	59.6%
それ以下	0.6%	18.7%	4.2%	12.7%	8.5%	7.0%	10.1%
月に数回	0.7%	4.1%	2.0%	4.2%	0.6%	3.2%	4.3%
週に数回	2.4%	1.2%	2.7%	2.3%	0.3%	3.7%	4.2%
1回くらい	4.0%	0.6%	3.9%	1.8%	0.3%	4.8%	4.9%
1回以下	20.7%	0.8%	12.8%	1.4%	0.3%	9.0%	8.6%
1回以上	25.0%	0.6%	17.7%	0.6%	0.2%	6.5%	4.0%
2回以上	44.2%	1.0%	38.9%	1.1%	0.5%	7.5%	4.2%

n=55,160

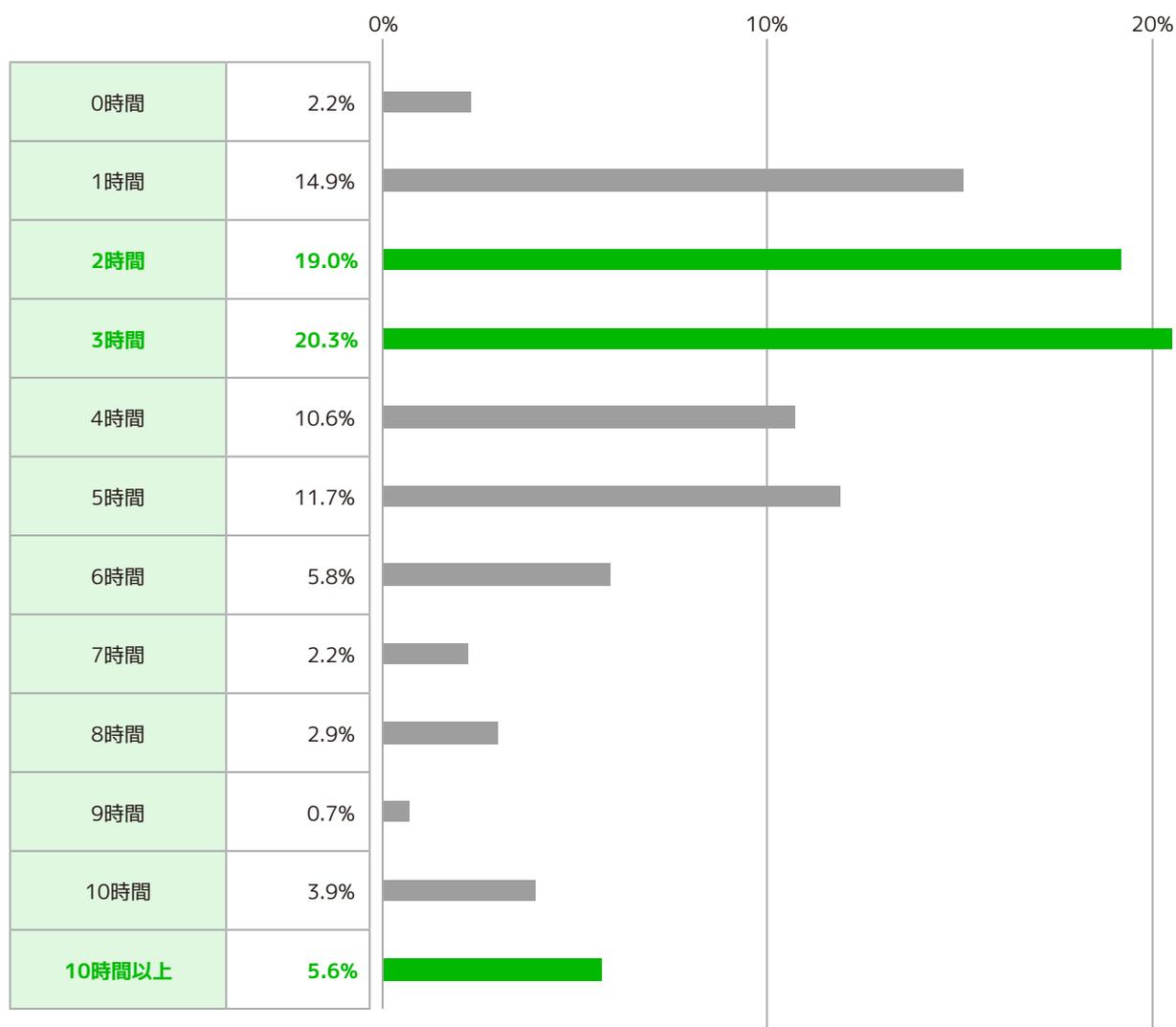
情報端末の利用時間

1日2～3時間が最も多く10時間以上も

1日あたりのネット利用時間を質問したところ、2～3時間という割合がもっとも多くありました。なかには10時間以上という回答もあり、毎日の生活のなかで情報端末を長時間利用する生徒のいることが分かります。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って1日にどれくらいネット（インターネット）を利用していますか。（（ ）内に数字を記入）



n=55,448

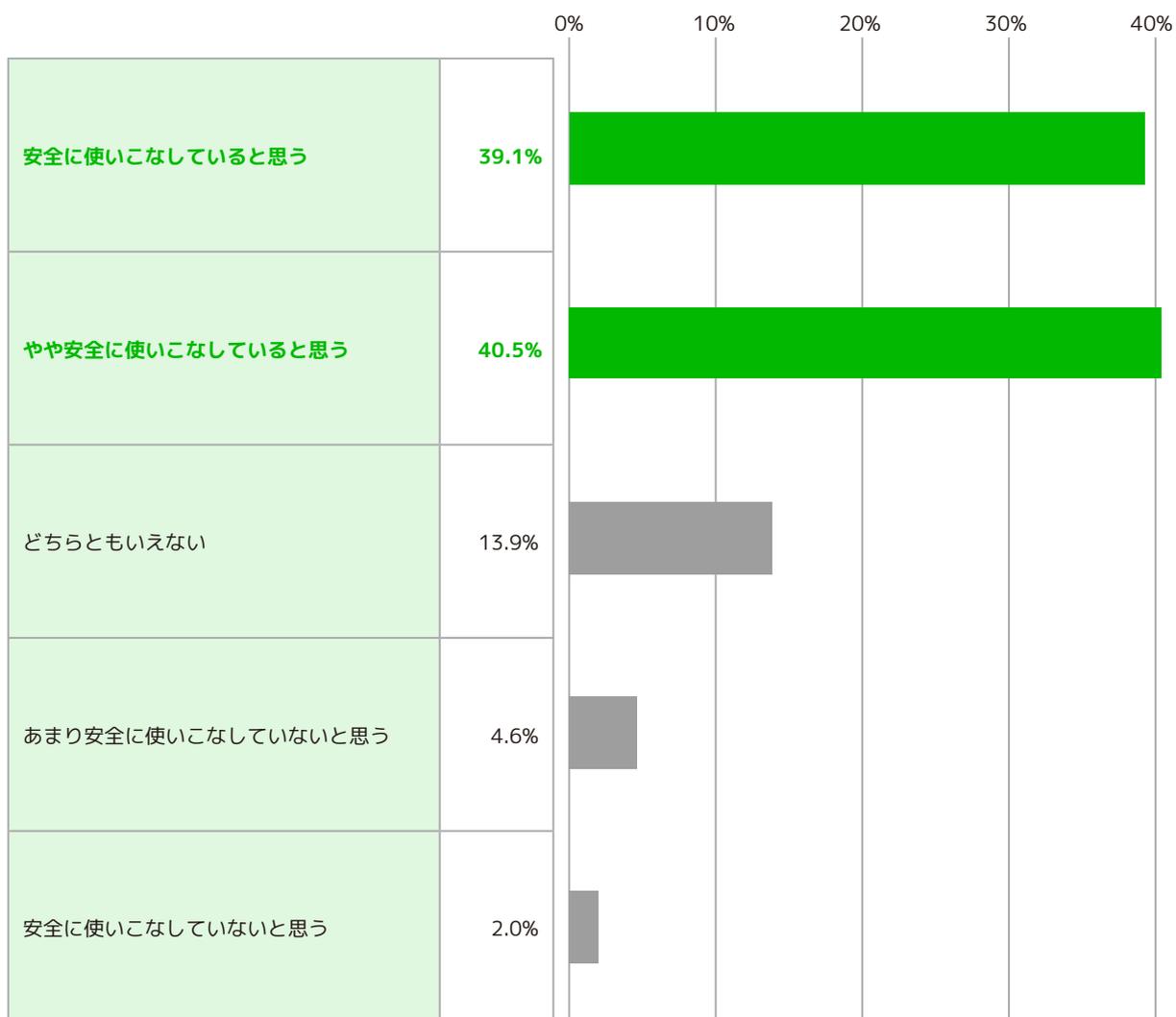
生徒の安全意識に関する自覚

80%が安全な利用と判断

生徒全体の79.6%がネットを安全に使っていると考えています。これに対して2%の生徒に自分の利用の危険性に関する自覚があります。

設問

あなたは、ネット（インターネット）を安全に使いこなしていると思いますか。



n=59,862

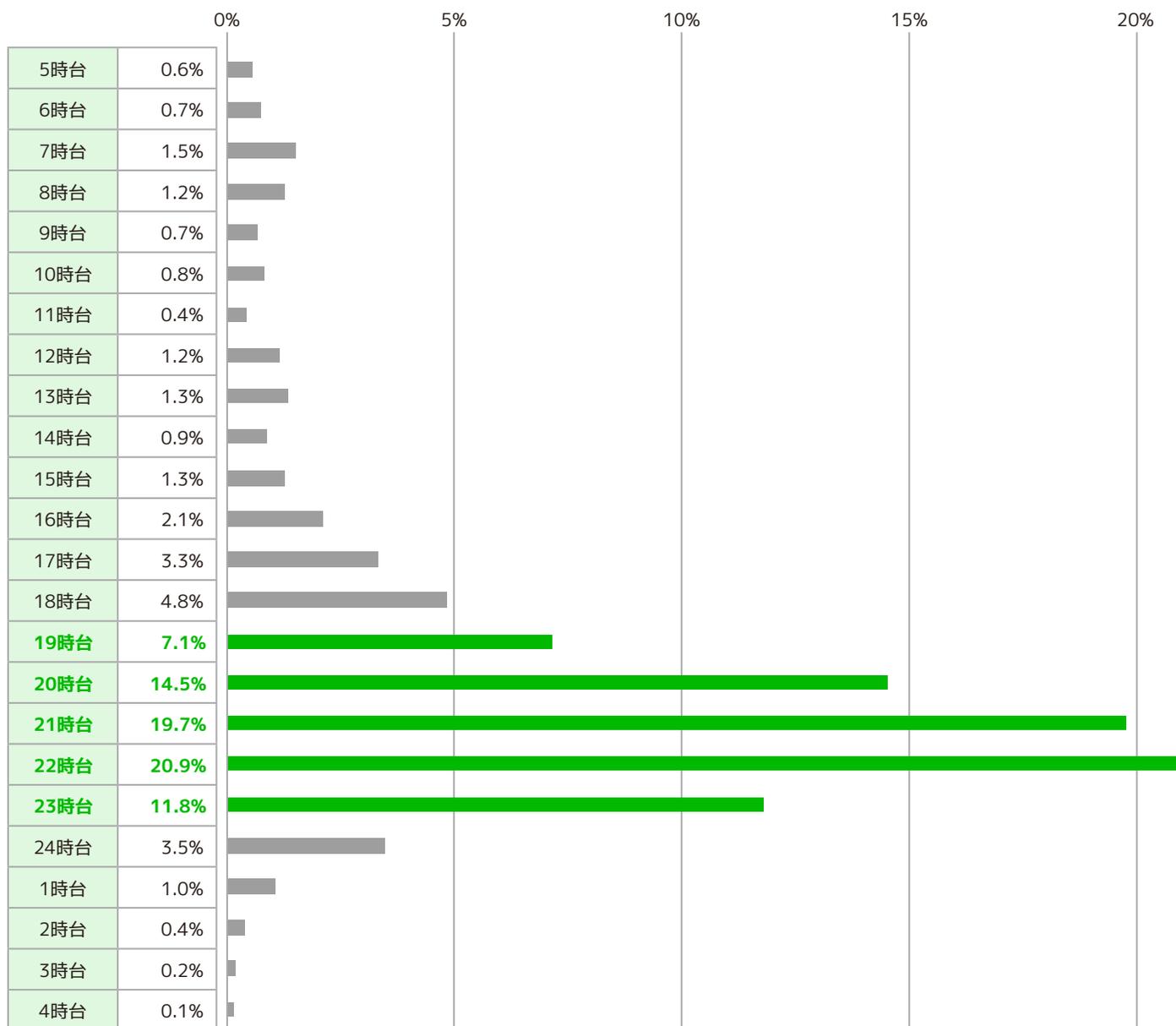
情報機器の利用時間帯

19時から23時の利用にピーク

生徒のスマホ等の利用時間は、19時から23時という時間帯がもっとも多くなっています。

設問

あなたがふだん、ひんぱんにスマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使ってネットを利用している時間帯は何時ごろですか。該当する時間帯をひとつ選んで○をつけてください。（ひとつだけ○）



n= 56,148

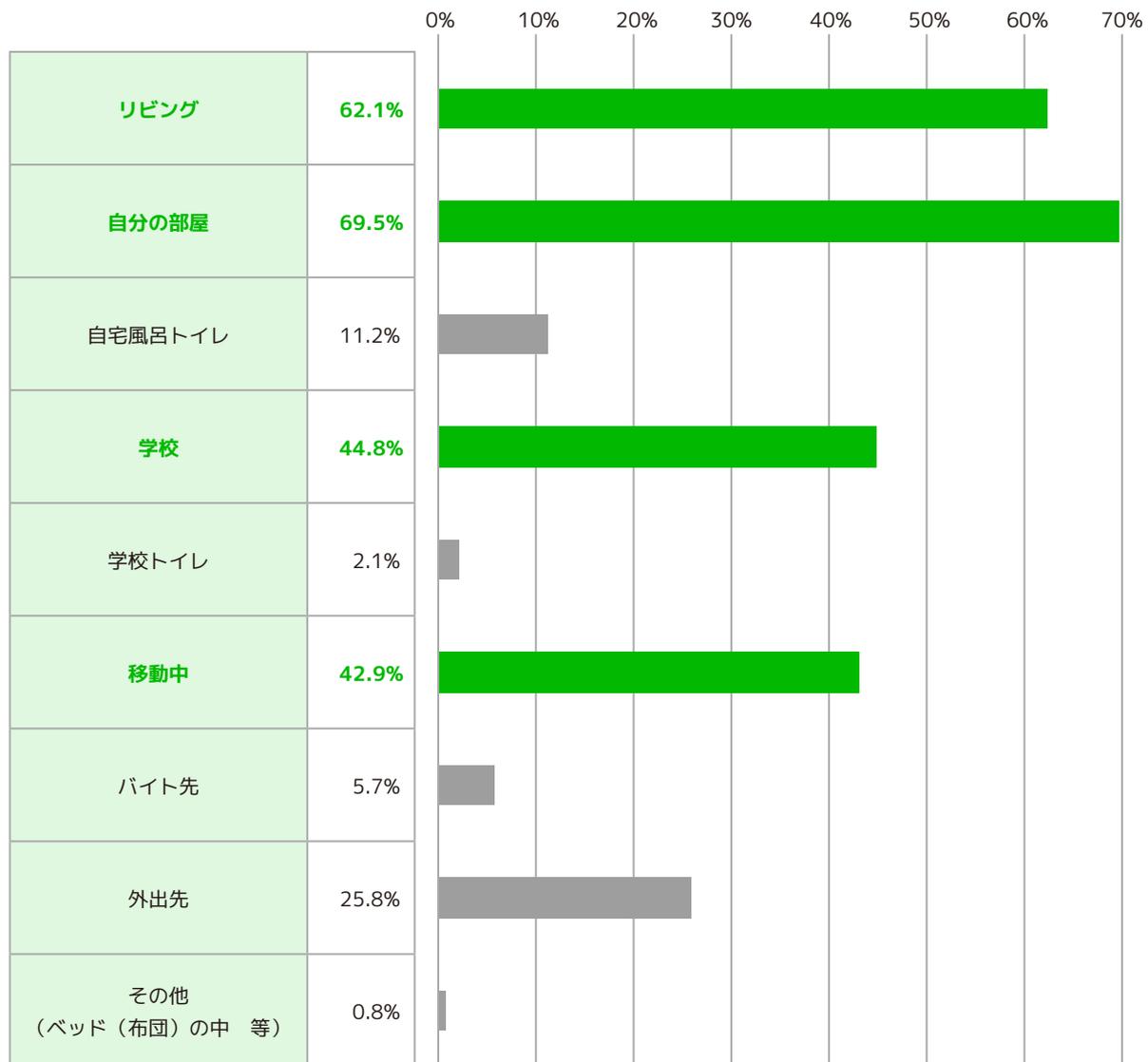
情報機器を利用する場所

リビング、自室、学校、移動中

生徒がスマホ等を利用する場所は、自室、リビングで家族と過ごす時間帯、学校、通学の途中の順番になっています。

設問

あなたがふだん、ひんぱんにスマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使ってネットを利用している場所はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。その他の場合には、（ ）内にその場所を記入してください。



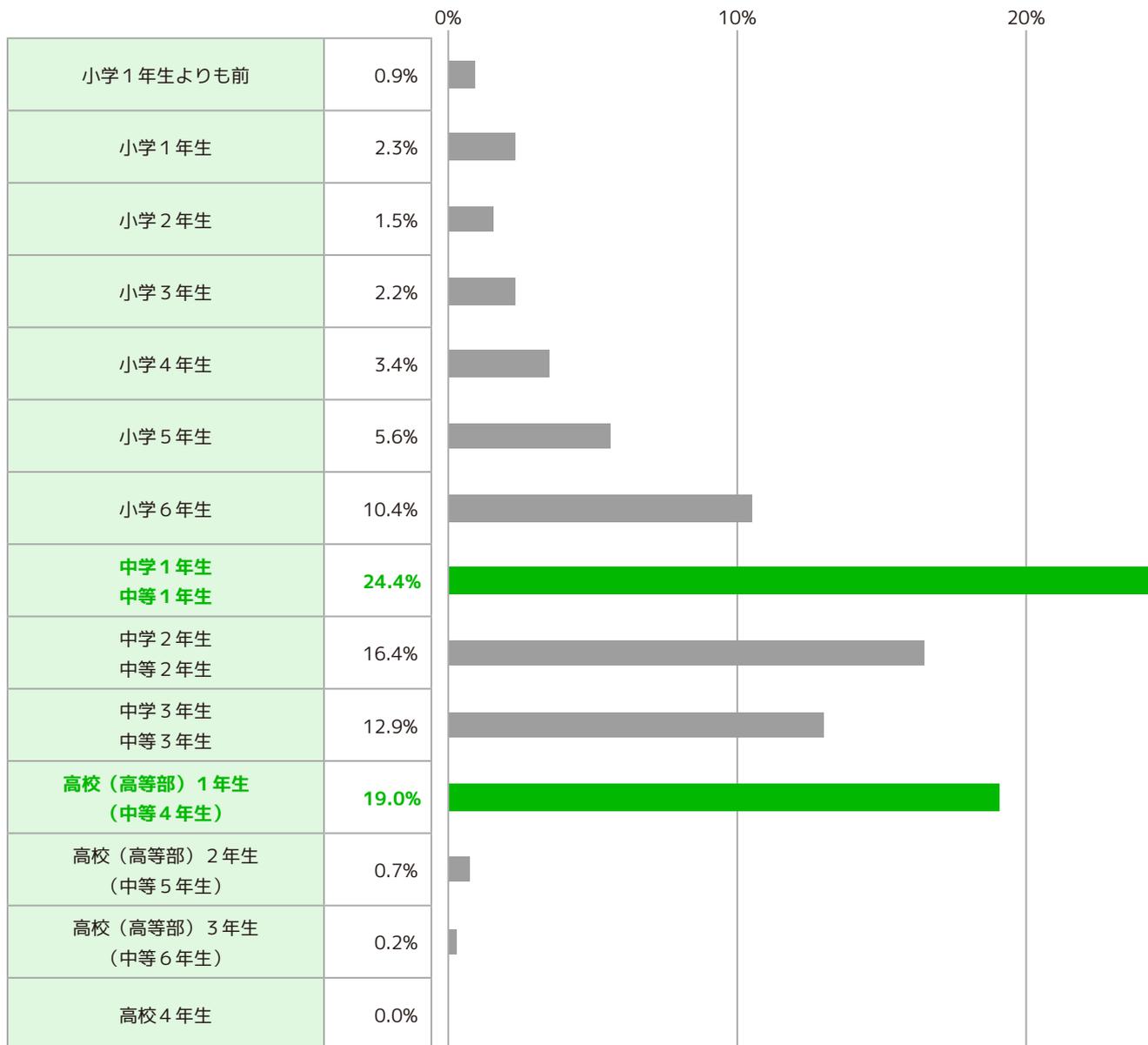
n = 53,375

情報機器の利用を始めた年齢 中学と高校の入学時に集中

生徒がスマホなどの利用を始めた年齢は、中学の入学時、高校の入学時が多くなっています。これは保護者が入学を契機に子どもに端末を与えるからだと考えられます。

設問

あなたが、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、ネットを利用しはじめたのはいつごろからですか。ひとつだけ選んで○をつけてください。



n=59,664

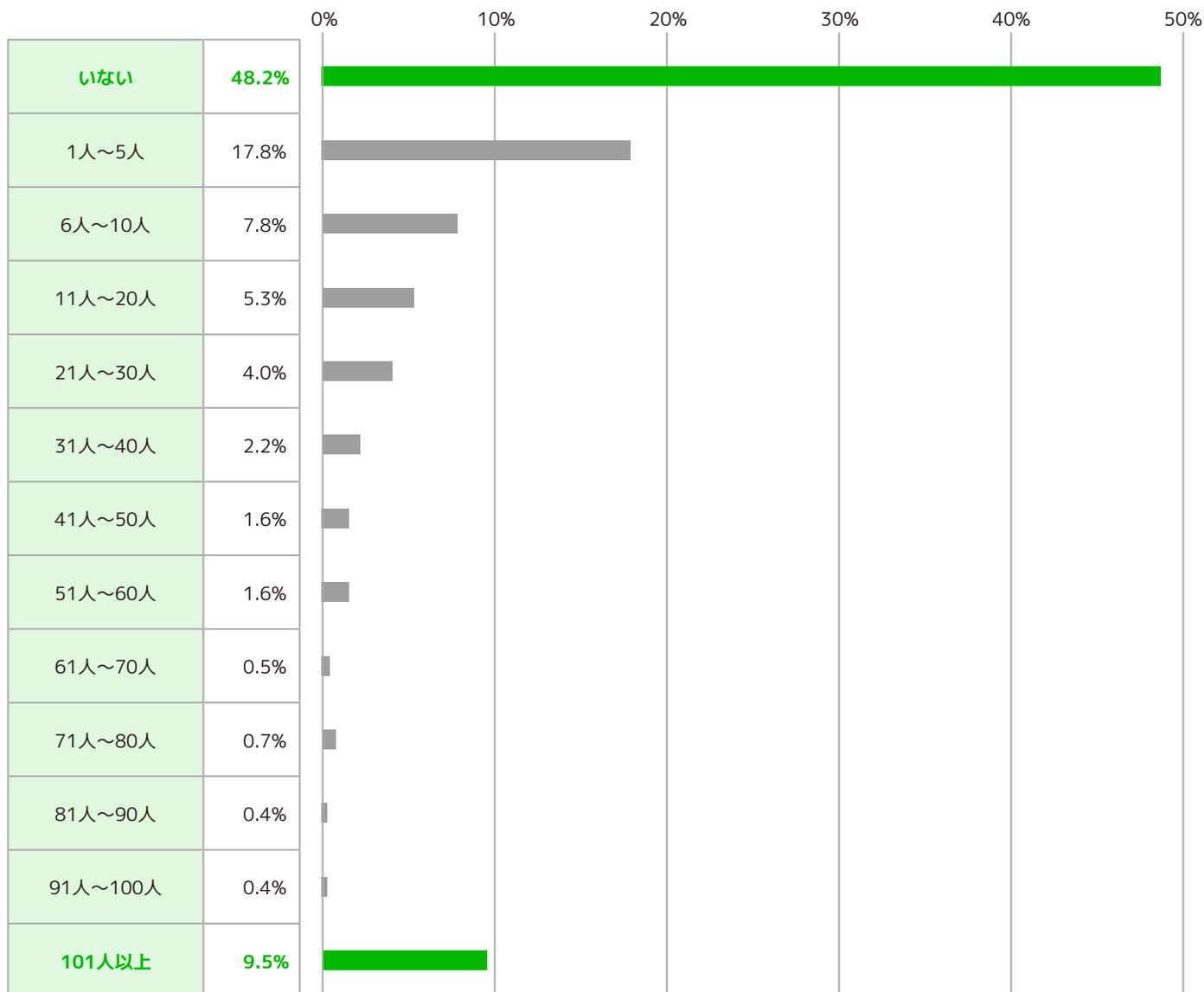
ネットで知り合った友人の数

大きな個人差

SNSなどをきっかけとして、ネットで作った友人の数には、生徒によって大きな差があります。48.2%の生徒が、ネットで新しい友人関係などは作っていないと回答していますが、他方で13.1%の生徒が、51人以上の友人関係を作っています。なかには100人以上との回答が9.5%ありました。

設問

あなたには、ネット（SNSやネットゲーム、掲示板など）がきっかけで知り合った友達が何人ぐらいいますか。



n=59,380

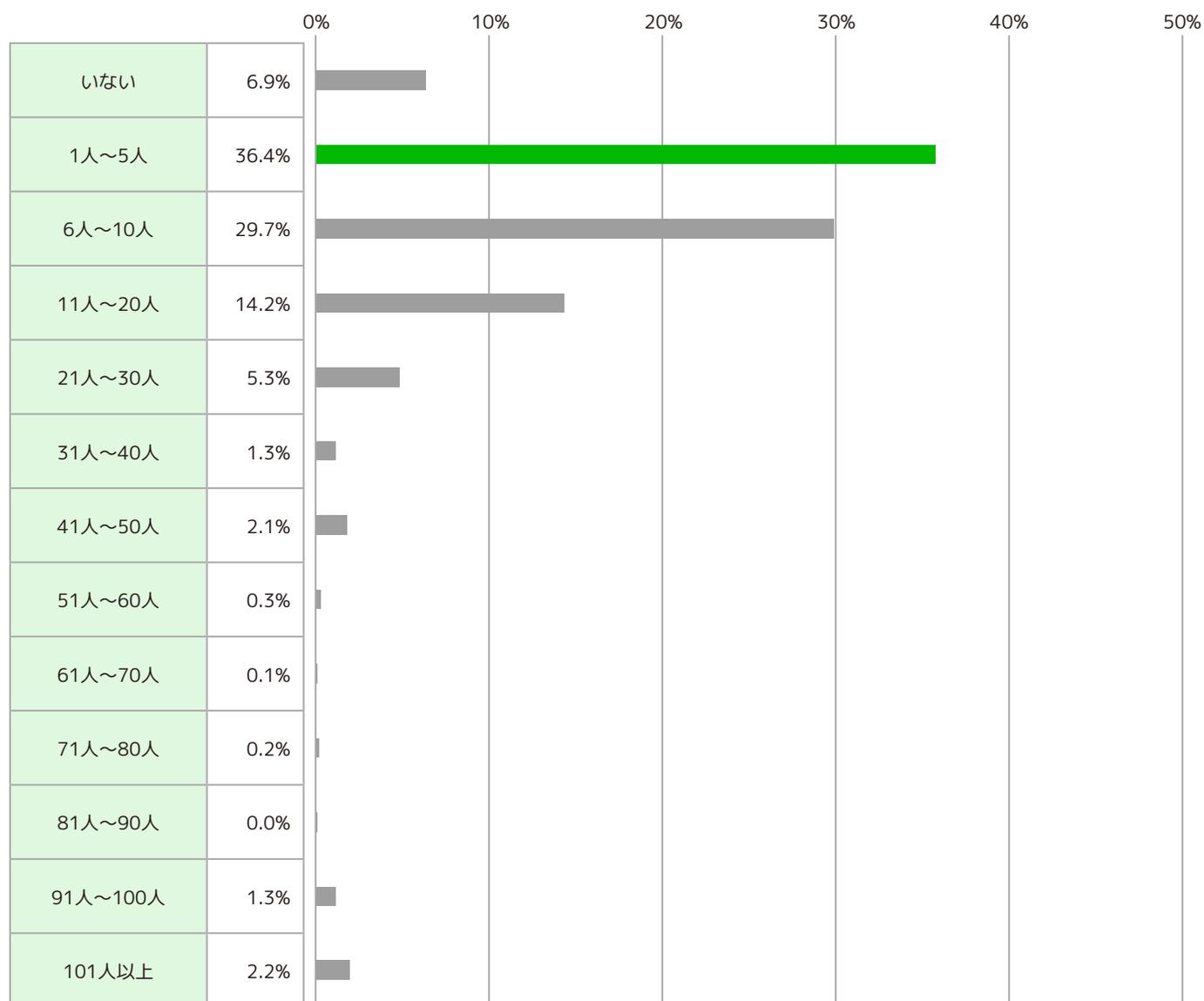
対照質問として一般的な友人数

1~5人

SNSなどをきっかけとして、新たに知り合いとなった友人の数と対照するために、一般的な友人の数を質問したところ、1~5人が36.4%、6~10人が29.7%になりました。

設問

あなたには、お互いに卒業後も付き合っていきたいと思っている親友があなたの今の学年に何人いますか。
(わからないときは、だいたいでかまいません)



n=55,817

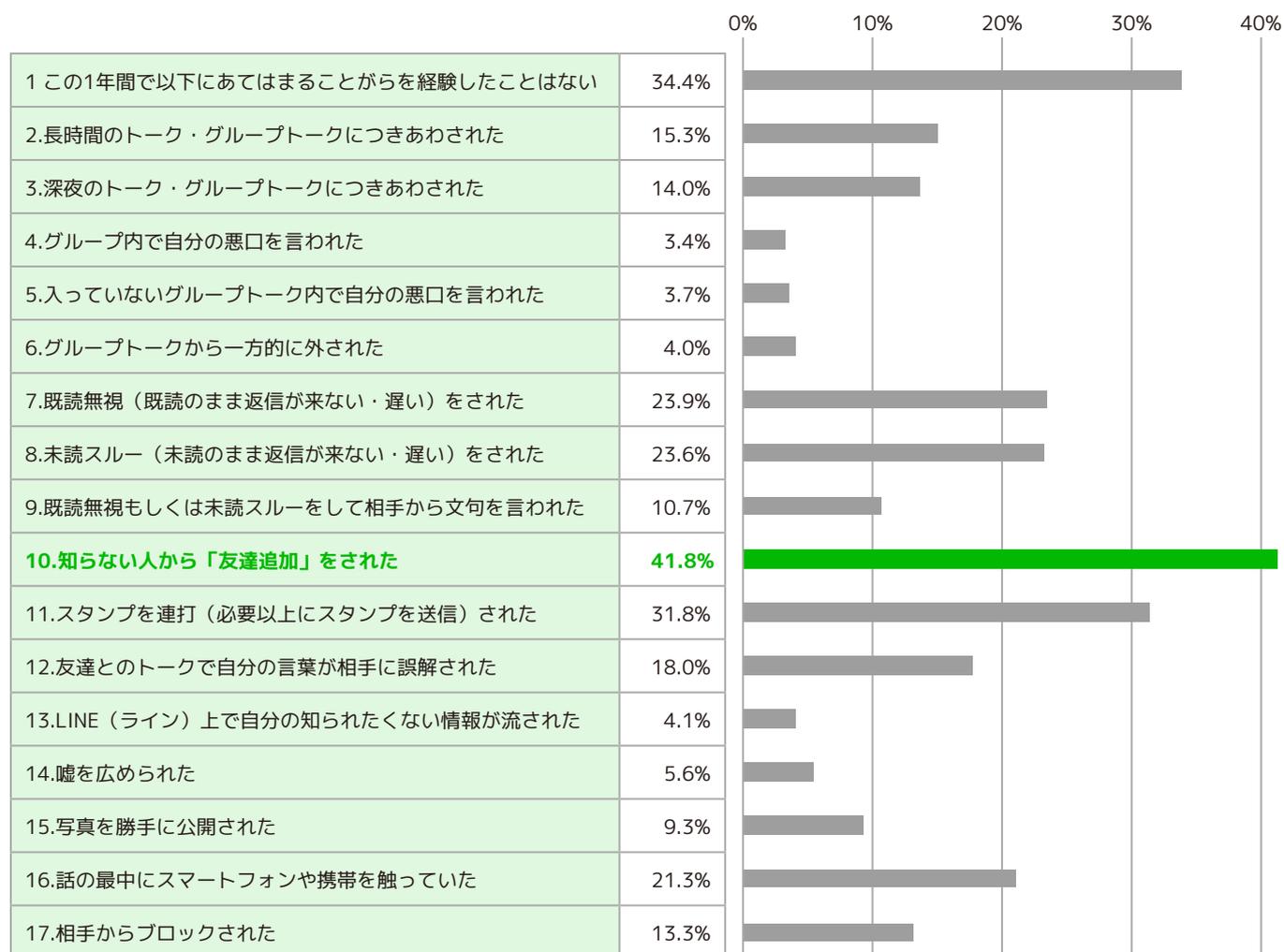
LINEで経験したいやなこと

知らない人から「友達追加」など

生徒がLINEを利用するさいに経験したいやなことについて質問したところ、「知らない人から友達追加をされた」（41.8%）「必要以上にスタンプを送信された」（31.8%）「既読無視（既読のまま返信が来ない・遅い）をされた」（10.7%）「相手からブロックされた」（13.3%）「写真を勝手に公開された」（9.3%）「グループトークから一方的に外された」（4.0%）など、LINEの利用に直接関係した問題のほかにも、「話の最中にスマートフォンや携帯を触っていた」（21.3%）「長時間のトーク・グループトークにつきあわされた」（15.3%）「深夜のトーク・グループトークにつきあわされた」（14.0%）「嘘を広められた」（5.6%）といった生活上のマナーに関わる問題がありました。

設問

この1年間でLINE（ライン）を利用しているときに（期間限定）、以下にあてはまることごとを経験したことがありますか。経験をしたことがあるものすべてに○をつけてください。



n= 60,482

ネットで実際に体験した嫌なことと、 ネットでもしされたら嫌だと感じることの違い

LINEを例にとって、ネットで実際に体験した嫌なことと、もしされたら嫌だと感じることの差を比較するために、次の二つの質問をしました。この二つの質問を比較したところ、実際に体験したことがある嫌なことの順位では、「知らない人から「友達追加」をされた」「既読無視（既読のまま返信が来ない・遅い）をされた」「話の最中にスマートフォンや携帯を触っていた」「未読スルー（未読のまま返信が来ない・遅い）をされた」の順位が高く、もし、されたとしたらいやだと感じることの順位では、「嘘を広められた」「LINE（ライン）上で自分の知られたくない情報が流された」「入っていないグループトーク内で自分の悪口を言われた」「写真を勝手に公開された」の順位が高くなりました。ネットの利用上の問題については、実際に体験していることと、体験したことはないが嫌だと感じることを区別する必要があります。

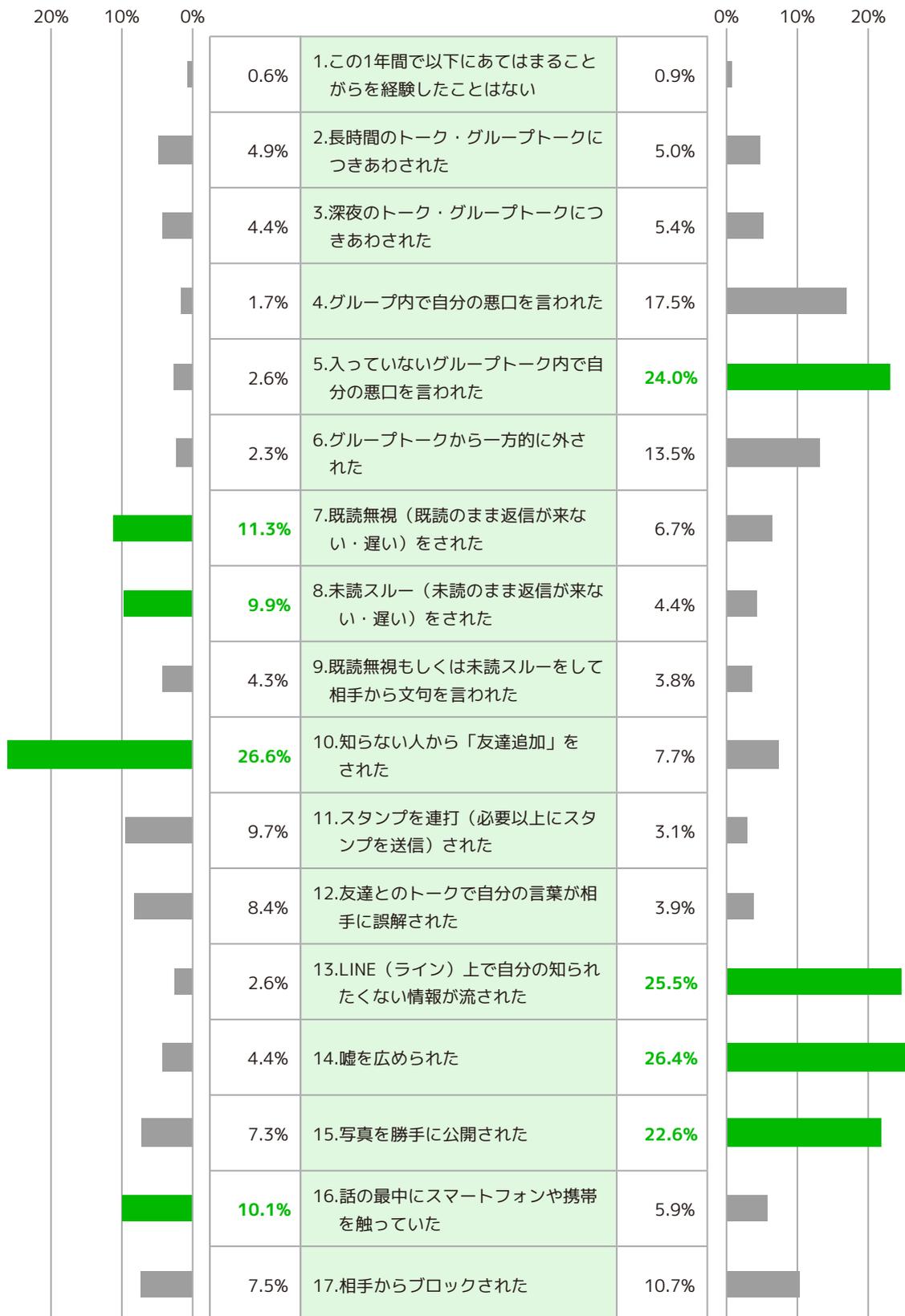
設問

上の質問で、1以外に○をつけた人にだけお尋ねします。経験したことがらのうち、いやだと感じたことがらは何でしょうか。いやだと感じたことがらの順に（ ）内に、その番号をひとつずつ書いてください。

上の質問のことがらのなかで、もし、されたとしたらいやだと感じると思うことがらは何でしょうか。いやだと感じると思うことがらの順に（ ）内に、その番号をひとつずつ書いてください。

実際に体験した嫌なこと

もしされたら嫌だと感じること



n= 60,482

(各ことがらについて1位を3点 2位を2点、3位を1点として加算したスコアを、全ことがらについてのスコア合計値で割った百分率として表示)

2.東京都の調査（第1回）について

アンケート調査の対象となった東京都の高等学校は次の通りです。

高校生 4,052人

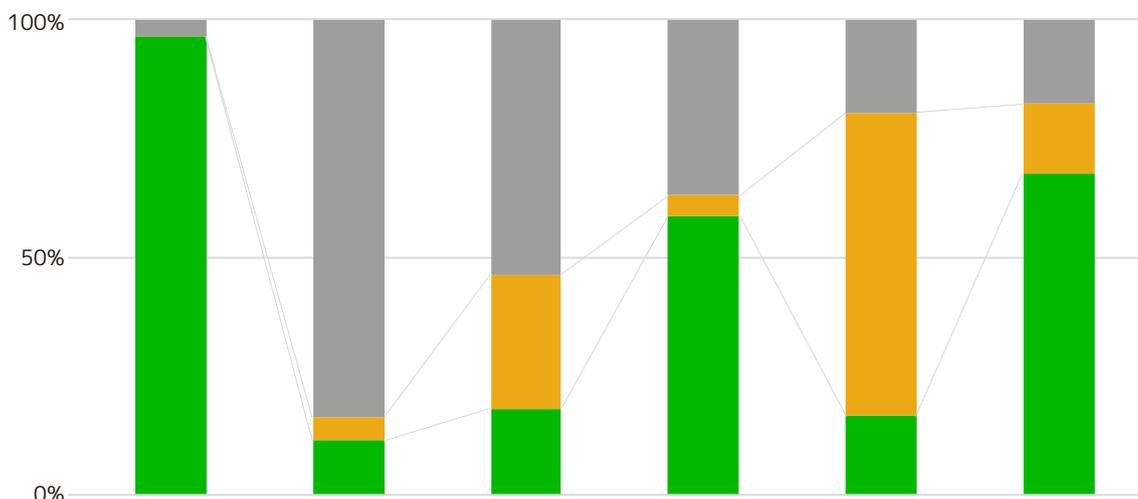
情報端末の所持と割合

高いスマホの保有率

調査の対象となった東京都の高校生の96.3%が自分専用のスマホを所有していました。パソコンの所有率は16.6%でした。なお、どのような情報端末も利用していない、という回答が3.2%ありました。

設問

あなたは現在、つぎの電子機器を持っていますか。あてはまるものをひとつ選んでください。



	スマホ	フィーチャーフォン	タブレット	iPod	パソコン	ゲーム機
■ 持っていない	3.5%	83.8%	53.7%	37.0%	19.6%	17.8%
■ 家族共用	0.2%	4.7%	28.2%	4.3%	63.8%	14.5%
■ 自分専用	96.3%	11.5%	18.1%	58.8%	16.6%	67.7%

n=3,437

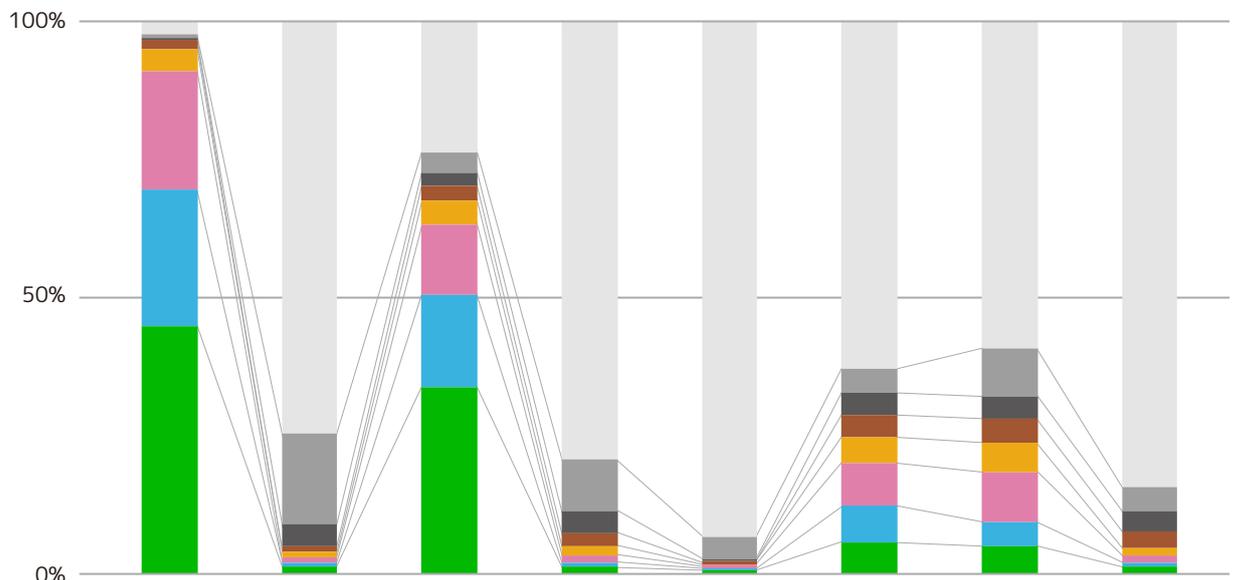
生徒の利用するSNS

LINEとTwitterが双璧

LINEを1日10回以上チェックする生徒の割合はSNS利用者の69.6%、同じくTwitterは50.6%でした。

設問

あなたは、現在、以下のソーシャル・ネットワーク・サービスをどのくらい利用していますか。あてはまるものをひとつ選んでください。スマートフォン、携帯電話、タブレット端末、パソコンすべての利用を含みます。



	LINE	Kakao	Twitter	Facebook	mixi	Instagram	Google+	Snapchat
利用なし	2.4%	74.6%	23.7%	79.3%	93.1%	62.8%	59.4%	84.2%
それ以下	0.6%	16.1%	3.6%	9.2%	4.1%	4.4%	8.5%	4.5%
月に数回	0.4%	4.1%	2.3%	4.0%	0.5%	4.0%	4.2%	3.6%
週に数回	1.5%	1.1%	2.9%	2.4%	0.4%	4.0%	4.3%	3.1%
1回くらい	4.0%	0.9%	4.4%	1.6%	0.2%	4.7%	5.2%	1.2%
10回以下	21.5%	0.9%	12.5%	1.3%	0.5%	7.9%	9.2%	1.3%
10回以上	24.7%	0.8%	16.6%	0.8%	0.3%	6.5%	4.3%	0.6%
20回以上	44.9%	1.4%	34.0%	1.4%	0.9%	5.8%	5.1%	1.5%

n=3,409

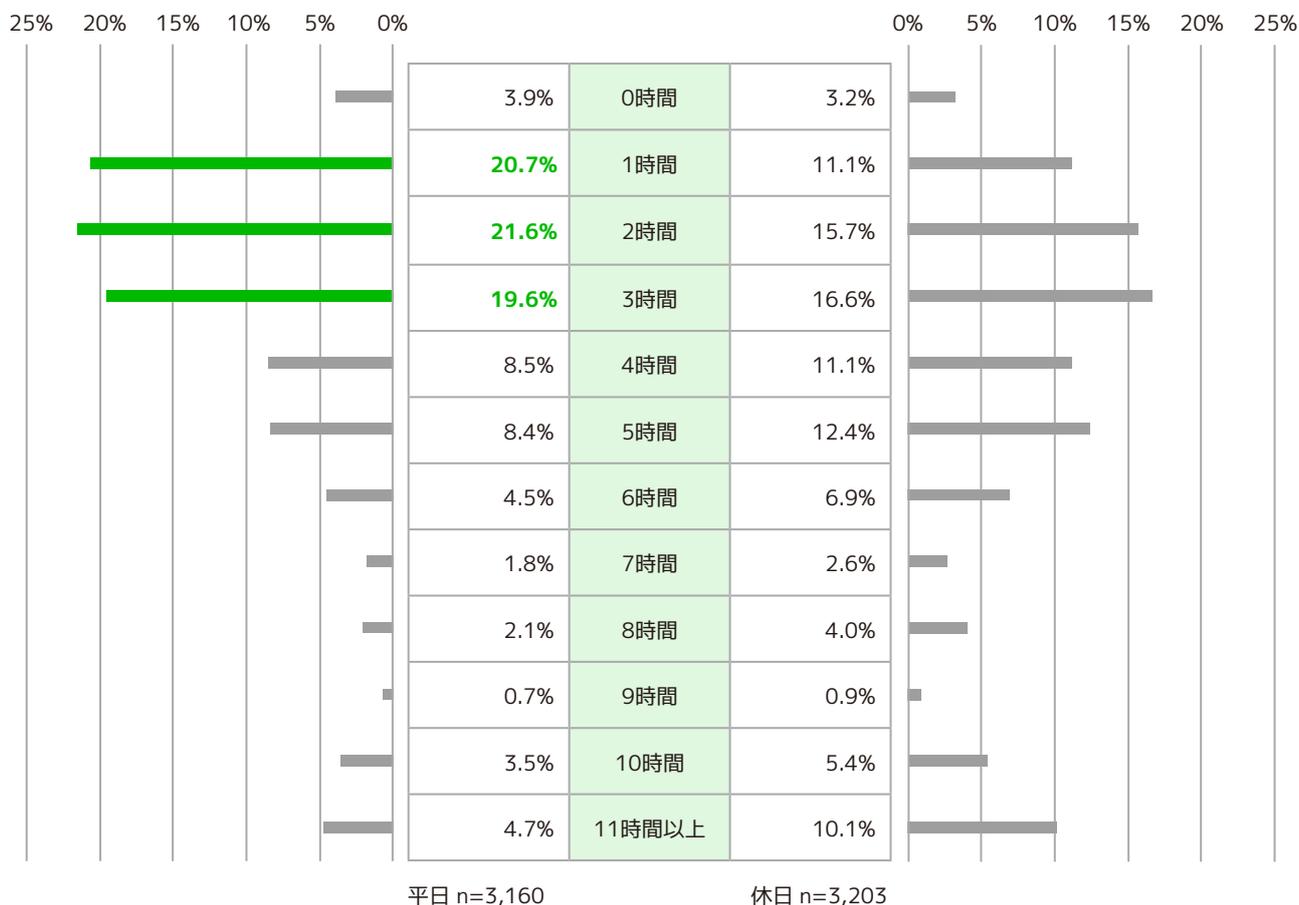
情報端末の利用時間

1日1～3時間が最も多い

1日あたりのネット利用時間を質問したところ、平日では1～3時間という割合がもっとも多くありました。休日は利用時間が長くなる傾向がありました。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って1日にどれくらいネット（インターネット）を利用していますか。あてはまるものをひとつ選んでください。なお、パソコンでの利用は除きます。



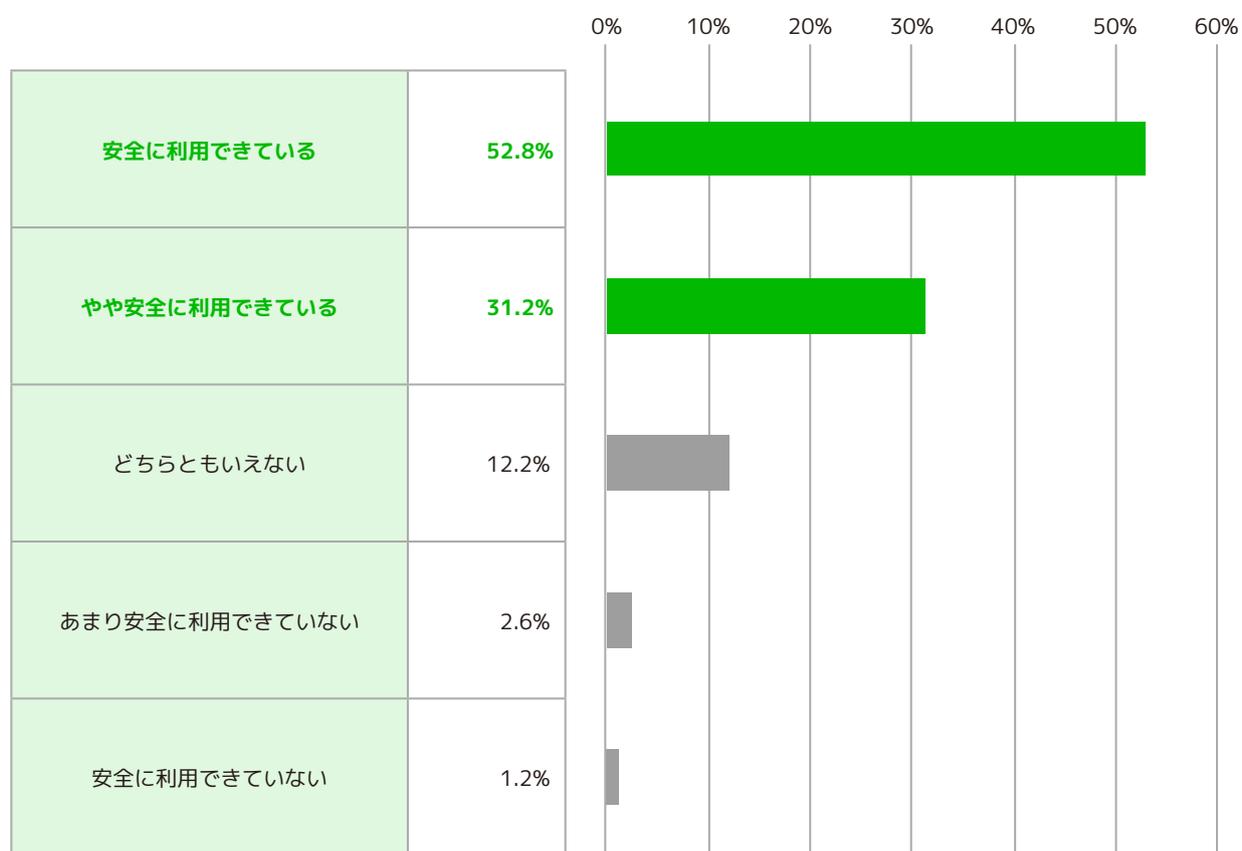
生徒の安全意識に関する自覚

84%が安全な利用と判断

生徒全体の84.0%がネットを安全に使っていると考えています。

設問

あなたは、ネットを安全に利用できていると思いますか。あてはまるものをひとつ選んでください。



n=3,422

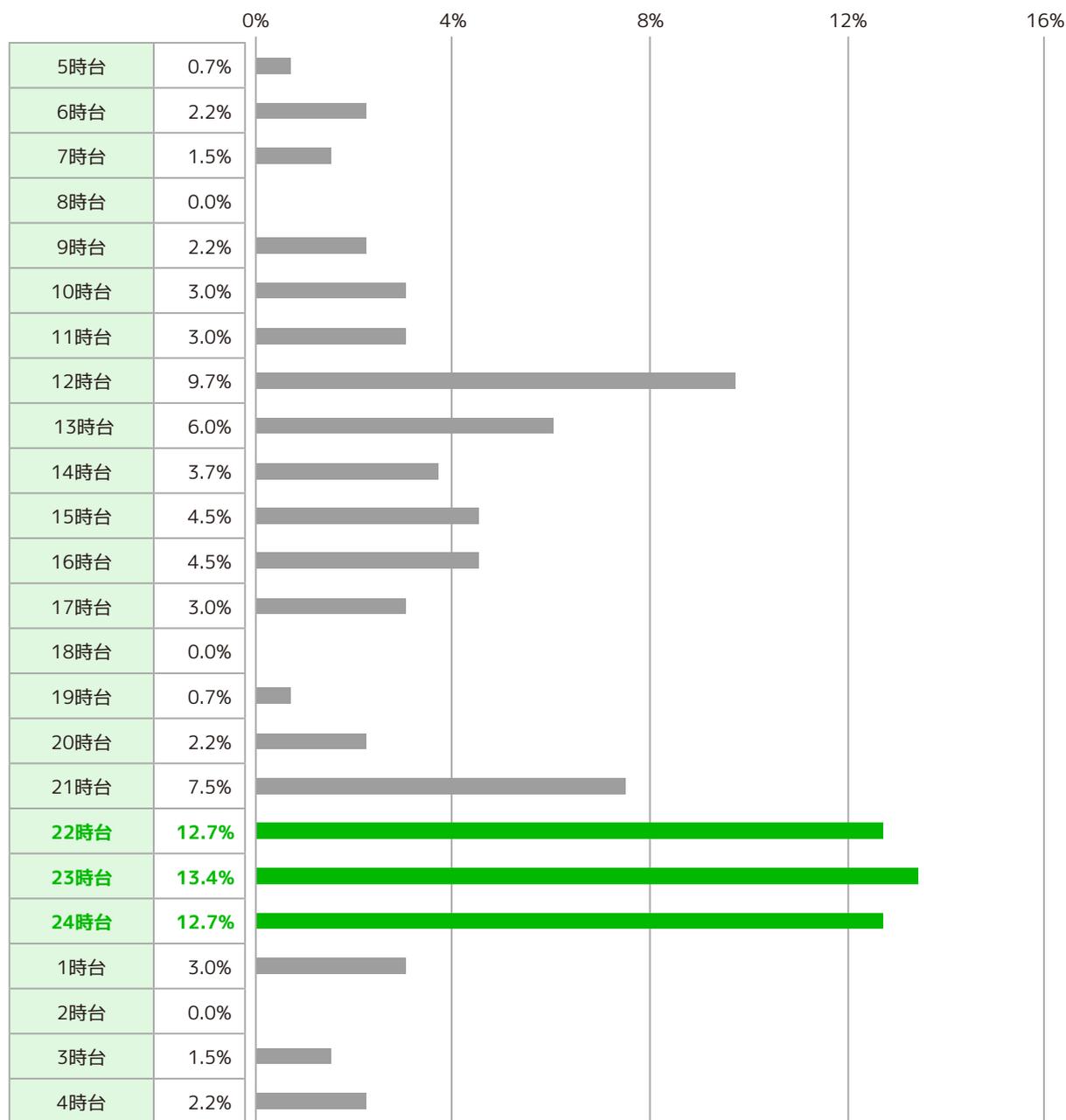
情報機器の利用時間帯

22時から24時の利用にピーク

生徒のスマホ等の利用時間は、22時から24時という時間帯がもっとも多くなっています。

設問

あなたがふだん、ひんぱんにスマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使ってネットを利用している時間帯は何時ごろですか。あてはまるものをひとつ選んでください。なお、パソコンでの利用は除きます。



n= 3,311

情報機器を利用する場所

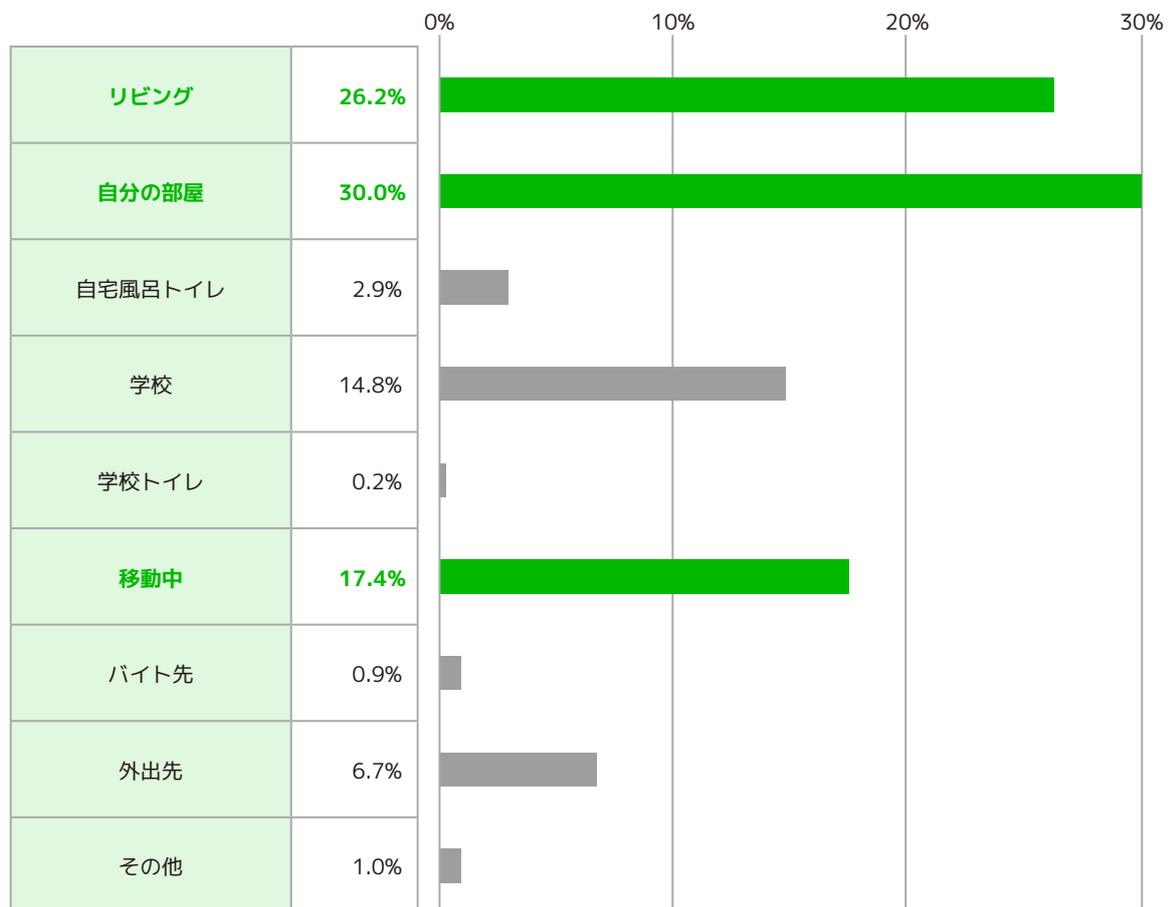
リビング、自室、移動中

生徒がスマホ等を利用する場所は、自室、リビングで過ごす時間帯、移動中となっています。

設問

あなたがふだん、ひんぱんにスマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使ってネットを利用している場所はどこですか。ひんぱんに利用する場所を最大で3つ選んでください。

（パソコンでの利用は除きます。）



n= 8,087

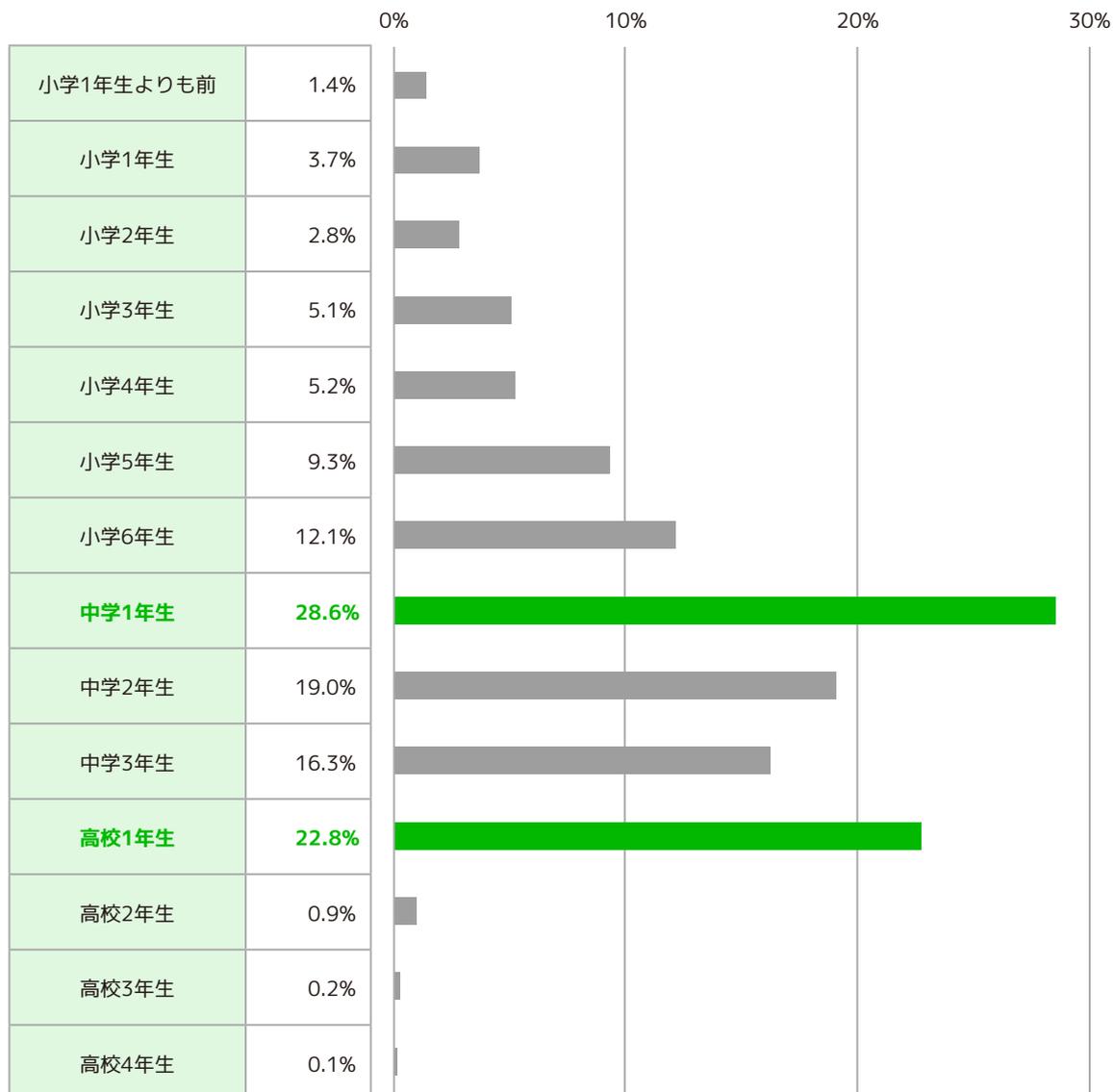
情報機器の利用を始めた年齢

中学1年と高校1年に集中

生徒がスマホ等の利用を始めた年齢は、中学1年生、高校1年生が多くなっています。これは進学を契機に子供が端末を持つようになるためだと考えられます。

設問

あなたが、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、ネットを利用しはじめたのはいつごろからですか。あてはまるものをひとつ選んでください。なお、パソコンでの利用は除きます。



n=2,673

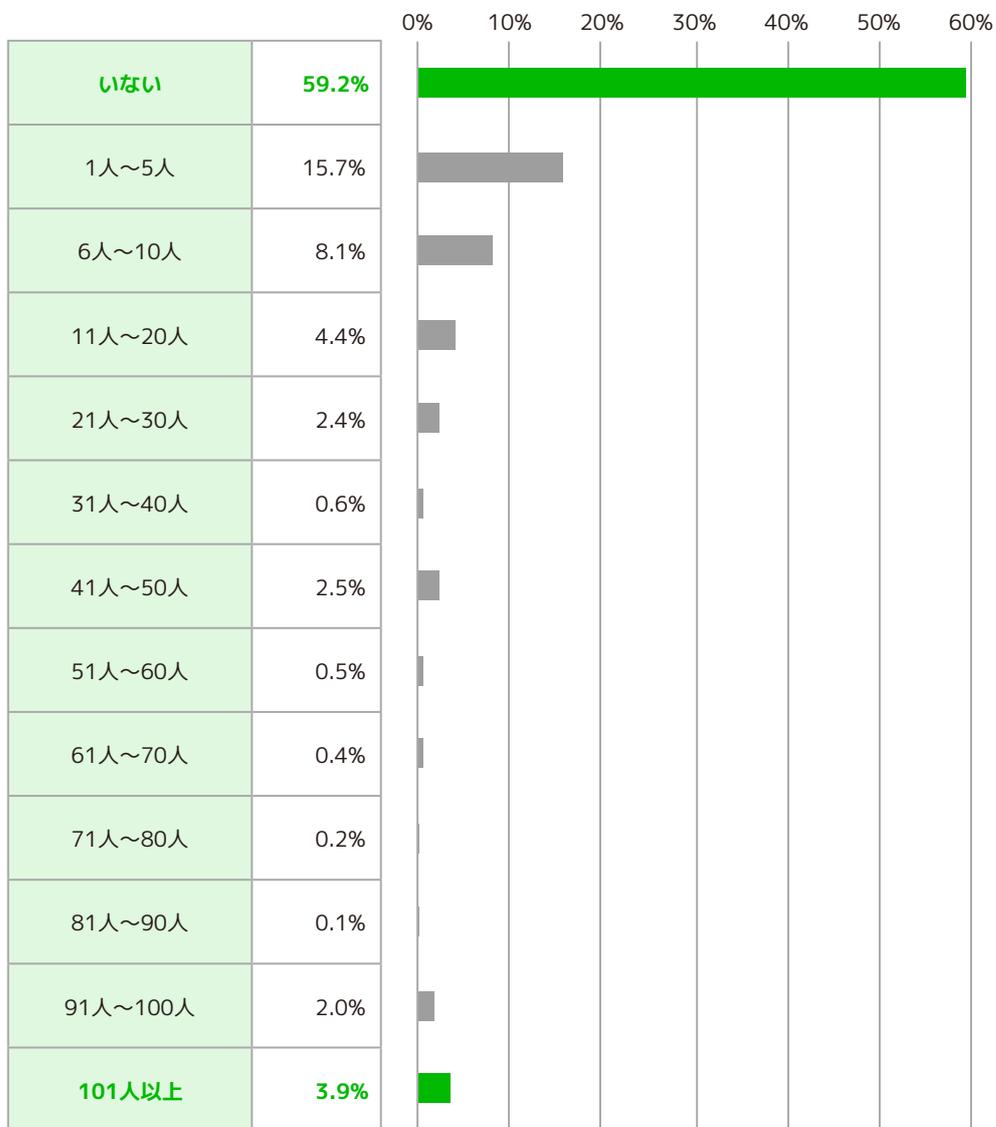
ネットがきっかけで知り合った友人の数

大きな個人差

SNSなどをきっかけとして、ネットで知り合いとなった友人の数は、生徒によって大きな差があります。59.2%の生徒が、ネットで新しい友人関係などは作っていないと回答しています。

設問

あなたには、ネットがきっかけで知り合った友達が何人ぐらいいますか。



n=3,270

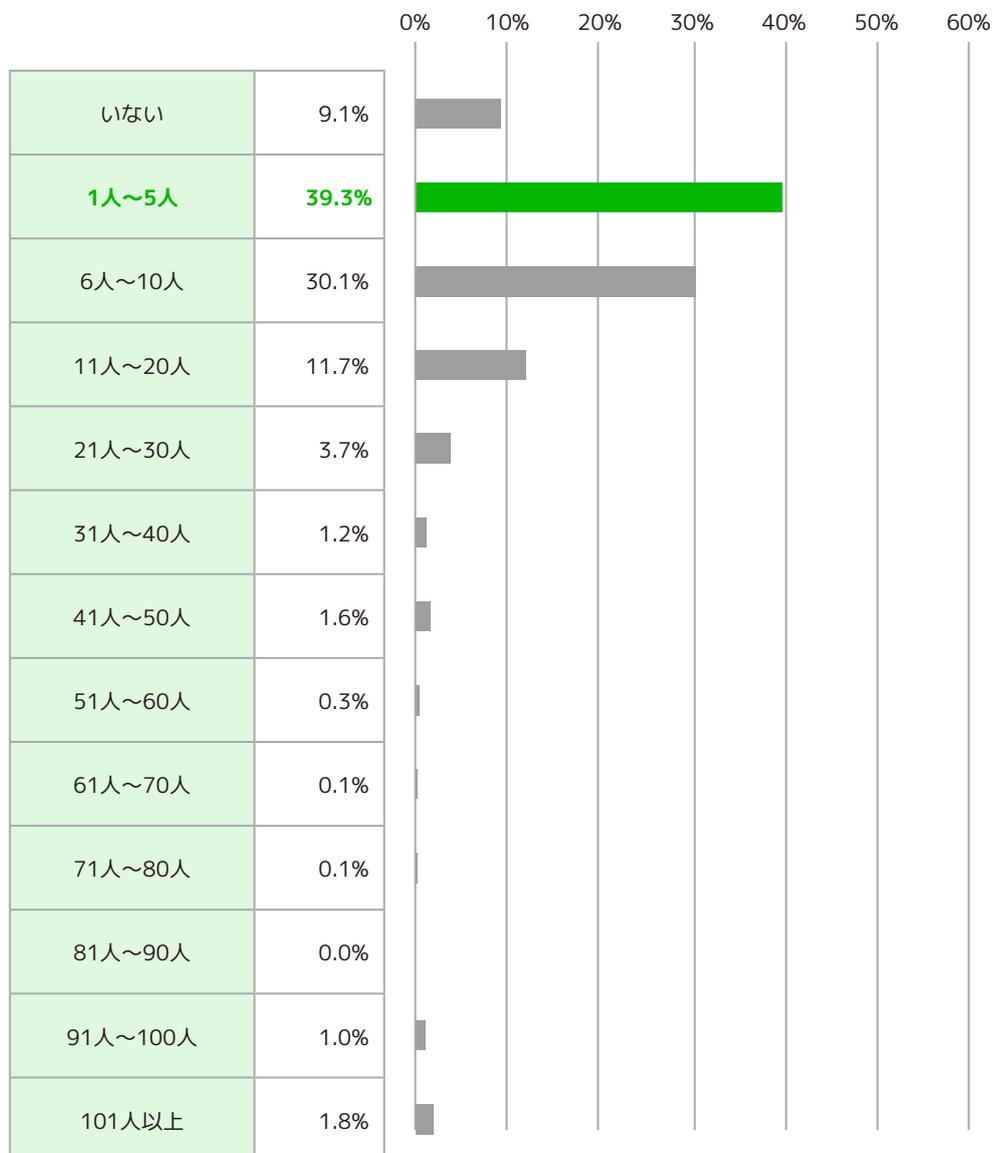
卒業後も付き合っていきたい親友数

1~5人

卒業後も付き合っていきたい親友の数を質問したところ、1~5人が39.3%、6~10人が30.1%になりました。

設問

あなたには、お互いに卒業後も付き合っていきたいと思っている親友があなたの今の学年に何人いますか。わからないときは、だいたいでもかまいません。あてはまるものをひとつ選んでください。



n=3,260

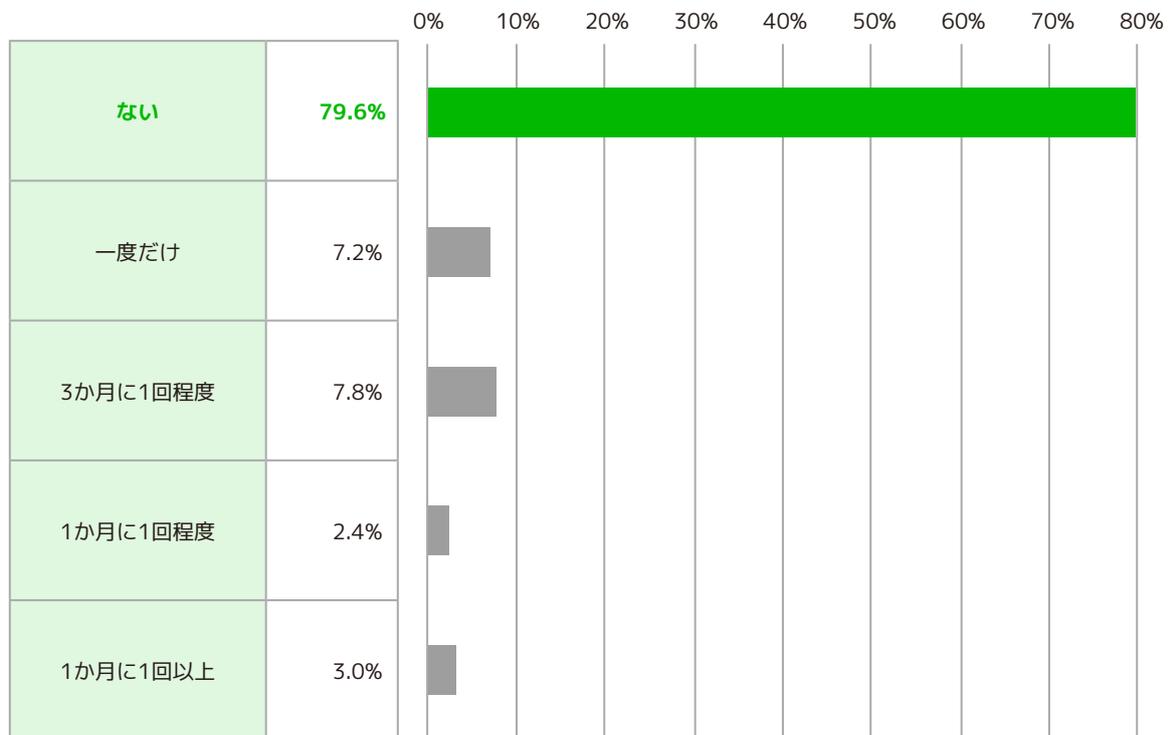
ネットがきっかけで知り合った友人とのかかわり

79.6%は対面で会った経験無し

SNSなどをきっかけとしてネットで知り合いになった人と79.6%の生徒は対面で会うなどの経験はない、と回答しています。

設問

あなたが、ネット（SNSやネットゲーム、掲示板など）がきっかけで知り合った友達の中で一番親しくなった人と、この1年間でどの程度実際に会ったことがありますか。



n=3,075

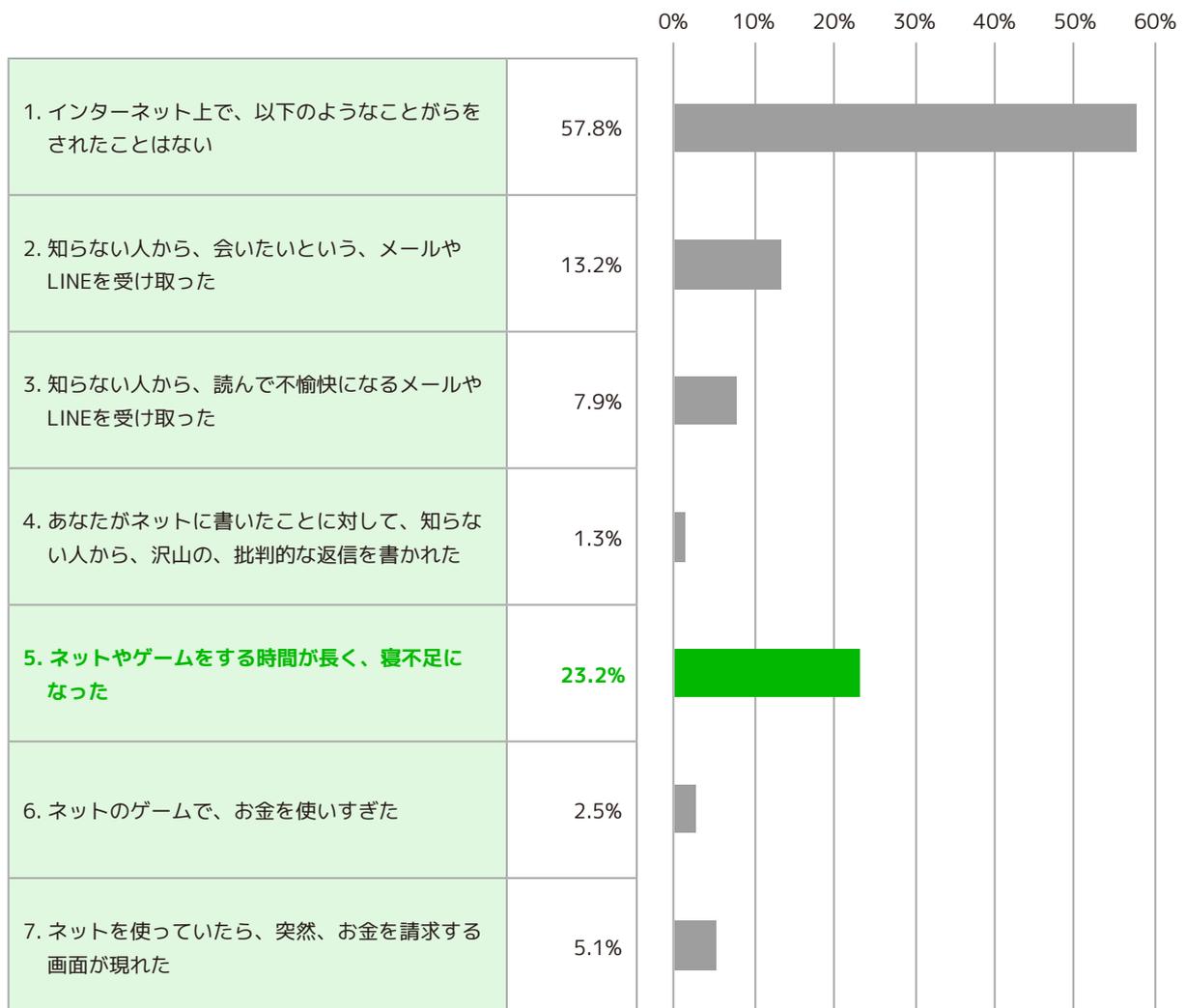
ネット利用での問題

一番多いのはネットやゲームのやり過ぎと寝不足

57.8%の生徒はネットの利用で、下記の2～7の項目のような問題にあったことはない、と回答しています。23.2%が、ネットやゲームをする時間が長く寝不足になることを問題だと感じています。

設問

あなたは、今年の4月から今日までに、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。あてはまるものを選んでください。



n= 3,451（2～7は複数選択）

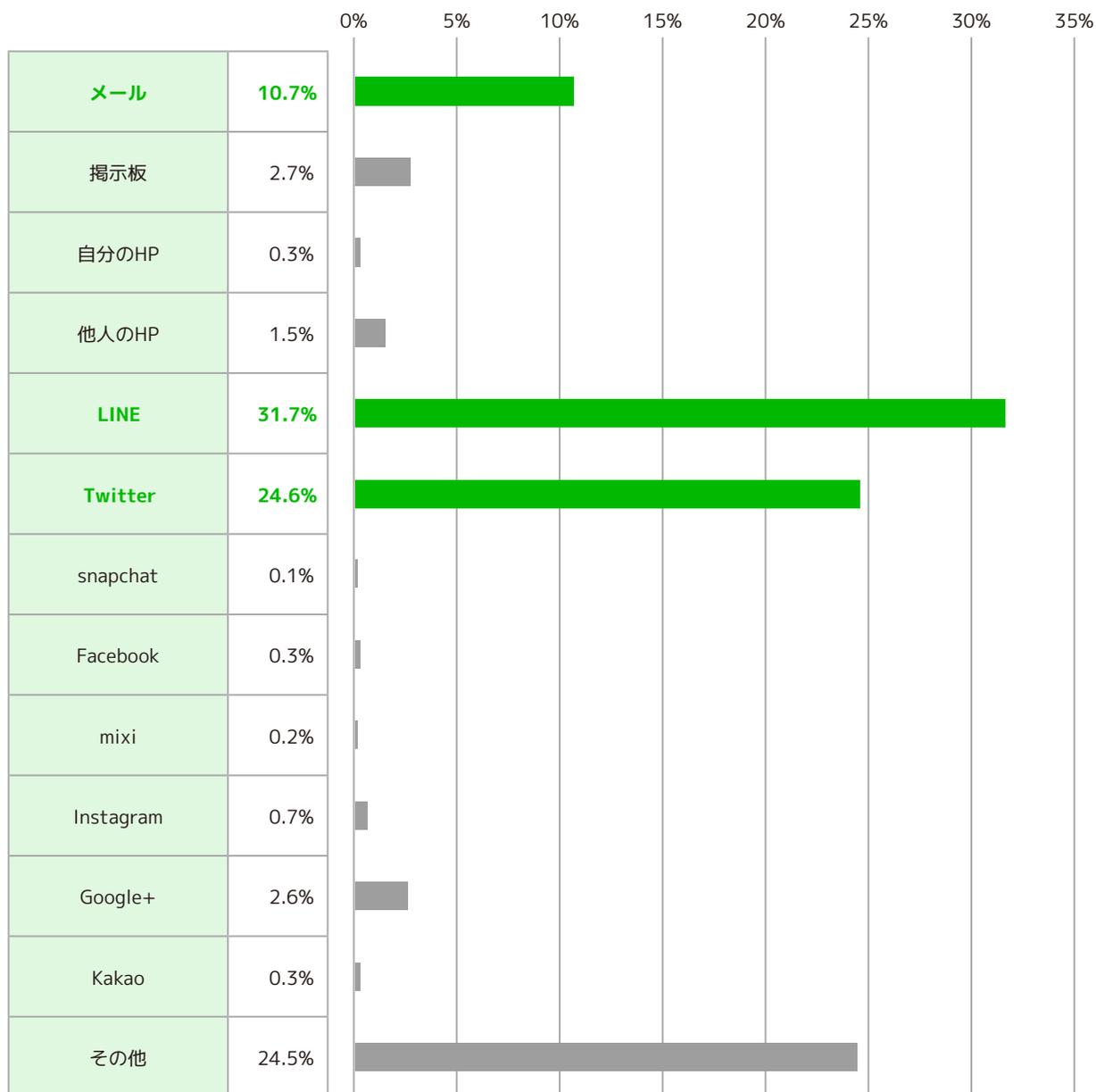
ネット利用での問題を経験したサービス

LINE、Twitter、メール

前問で2～7を選択した生徒に質問したところ、使用したサービスは、LINE、Twitter、メールの順番でした。

設問

前問で、1以外の番号を記入した方にお尋ねします。その時におもに利用していたネットサービスはどのようなものでしたか。あてはまるものをひとつ選んでください。



n=1,167

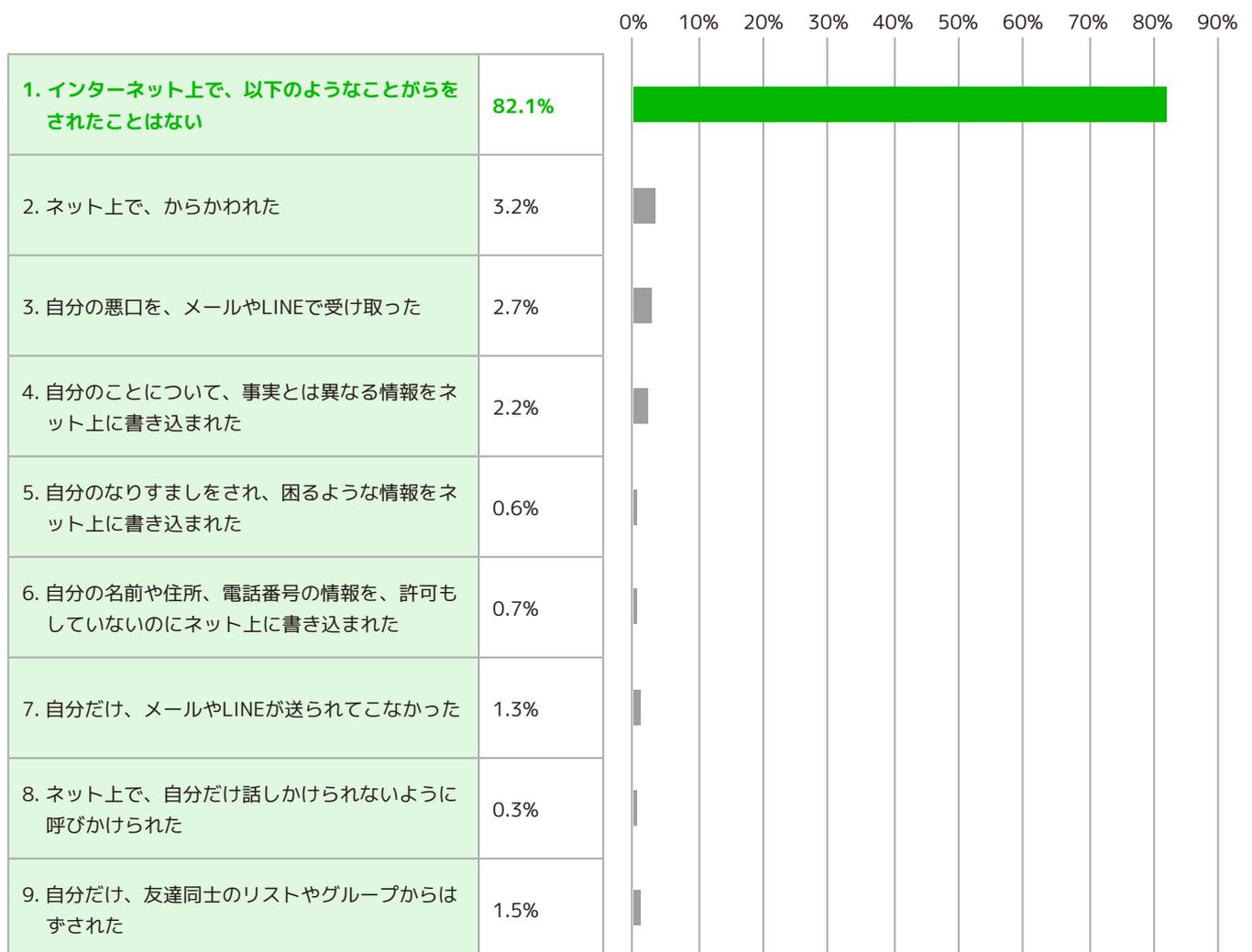
生徒が知り合いと経験したネット利用上の問題

82.1%の生徒がないと回答

生徒が知り合いと経験したネット利用上の問題について質問しました。その結果、82.1%の生徒がネット利用上の問題を経験したことはないと回答しました。

設問

あなたは、今年の4月から今日までに、日頃顔を合わせている知り合いから、インターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（ない場合には1を、ある場合には、あてはまるものすべての選んでください。）



n = 3,451（2～9は複数回答）

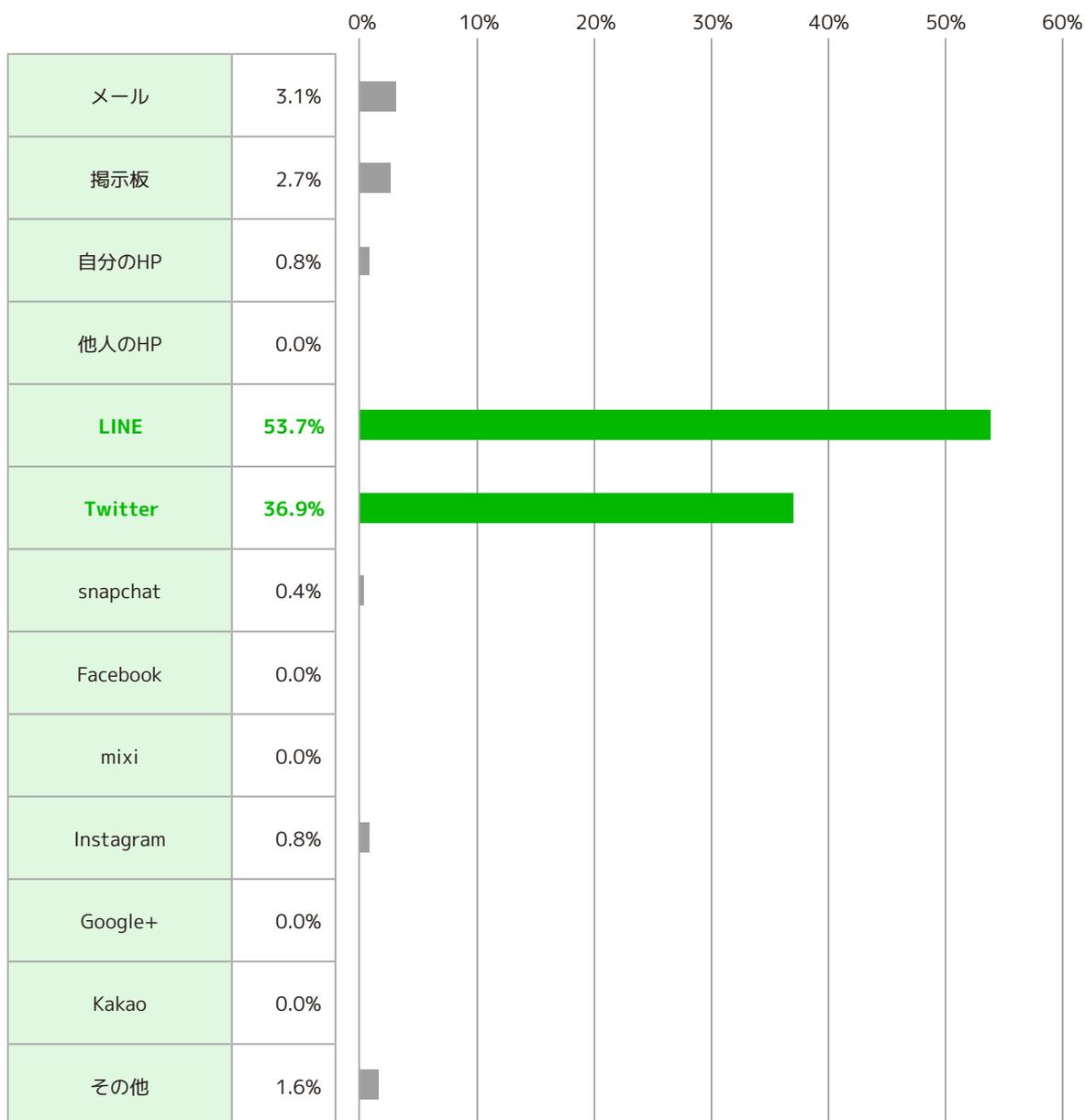
知り合いとのネット利用上の問題を経験したサービス

LINE、Twitter

前問で2～9を選択した生徒に、どのネットのサービスでそのような経験をしたのかを質問したところ、LINEとTwitterとの回答が多くありました。

設問

前頁の質問で、1以外の番号を記入した方にお尋ねします。その時におもに利用していたネットサービスはどのようなものでしたか。



n = 225

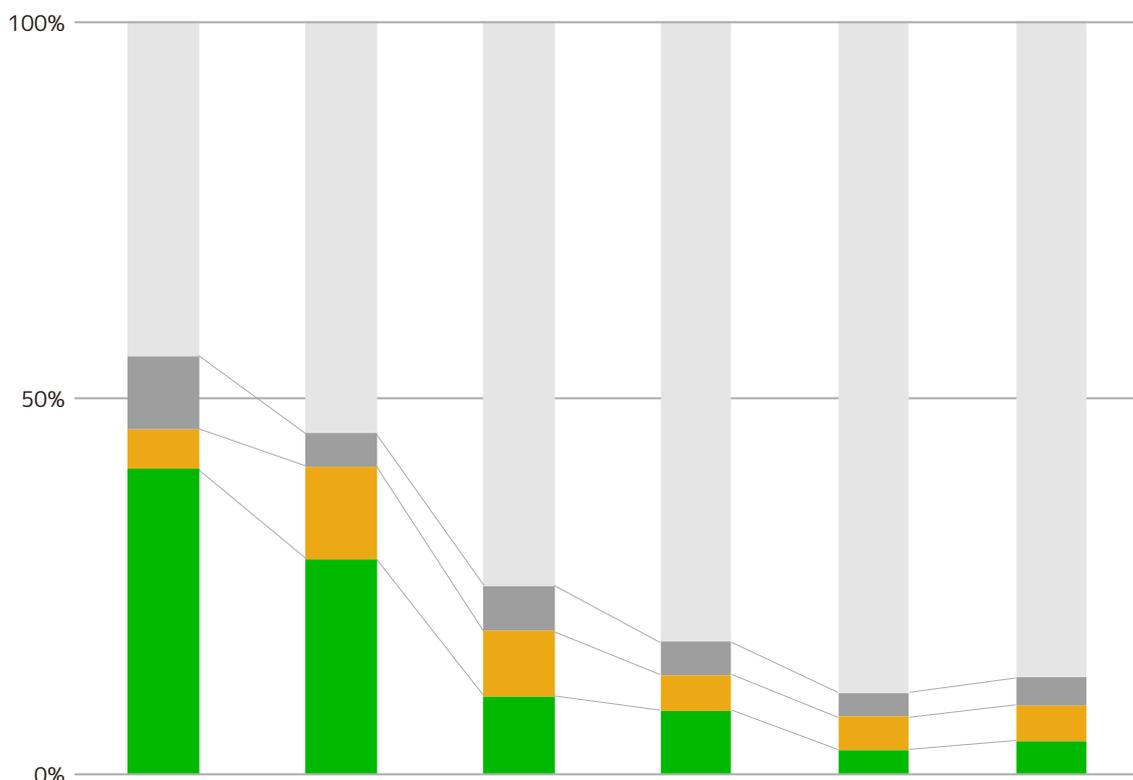
知り合いとネット利用時の問題が生じた時の生徒の対応

誰にも相談しないか、友達に相談する

ネット利用時の問題で、前々頁の2～9を選択した生徒に、そのことを誰かに相談したかどうか質問したところ、相談しない（40.5%）、友達に相談（28.6%）、親に相談（10.3%）、先生に相談（8.4%）の順になりました。

設問

前頁の質問で、1以外の番号を記入した方にお尋ねします。これらのことがらをされたあとに、あなたは誰かに相談しましたか。



	相談しない	友達に相談	親に相談	先生に相談	カウンセラー	ネット相談
あてはまらない	44.4%	54.8%	75.0%	82.4%	89.2%	87.3%
あまりあてはまらない	9.7%	4.4%	6.0%	4.4%	3.2%	3.6%
ややあてはまる	5.4%	12.3%	8.7%	4.8%	4.4%	4.8%
あてはまる	40.5%	28.6%	10.3%	8.4%	3.2%	4.4%

n= 259

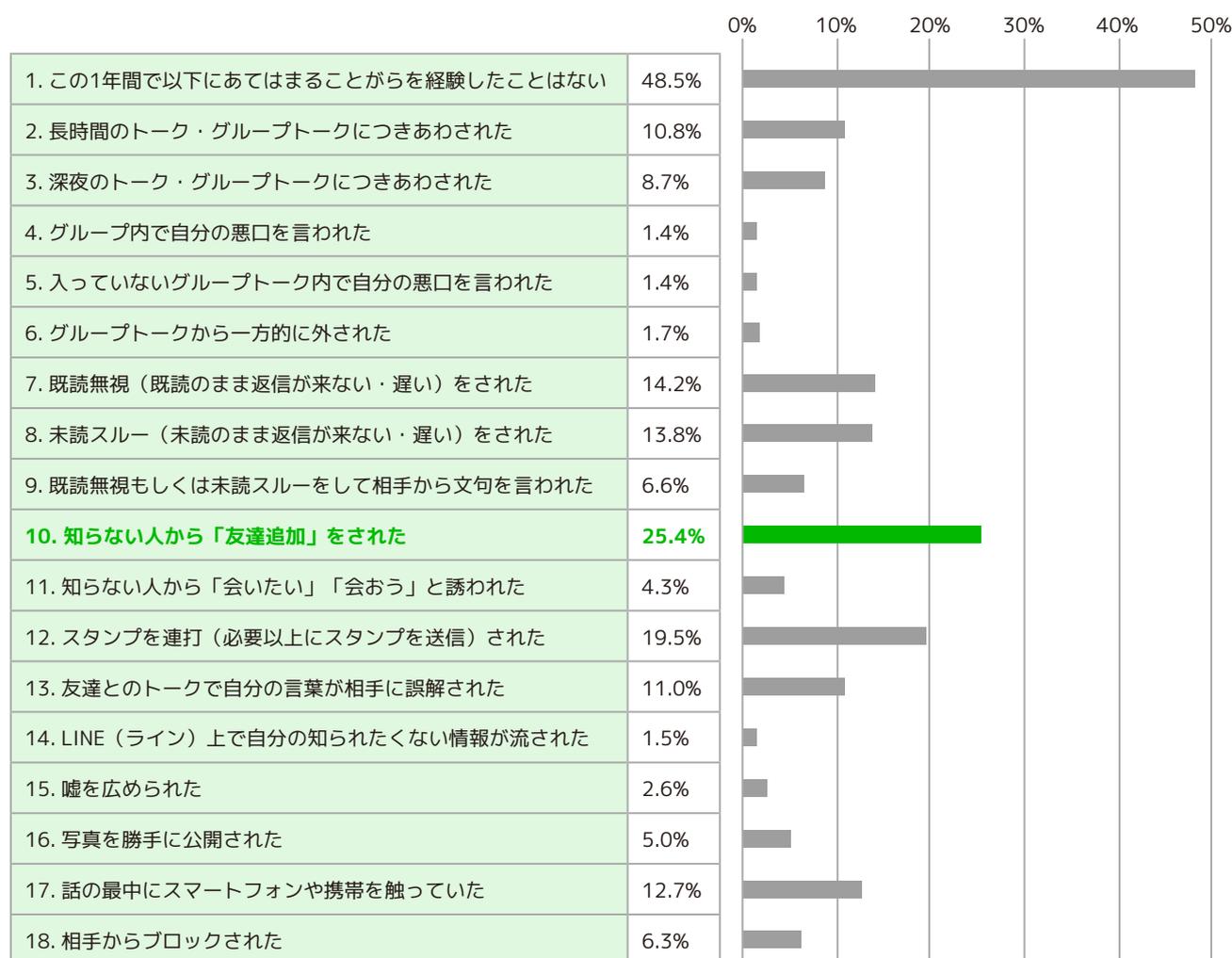
LINEで経験したネット利用時の問題

知らない人から「友達追加」など

この1年間で、生徒がLINEを利用するさいに経験したネット利用時の問題について質問したところ、2～18のような問題はないと回答した生徒は48.5%でした。また、「知らない人から友達追加をされた」（25.4%）「必要以上にスタンプを送信された」（19.5%）「既読無視（既読のまま返信が来ない・遅い）をされた」（14.2%）「未読スルー（未読のまま返信が来ない・遅い）をされた」（13.8%）などLINEの利用に直接関係する問題のほか、「話の最中にスマートフォンや携帯を触っていた」（12.7%）、「長時間のトーク・グループトークにつきあわされた」（10.8%）、「深夜のトーク・グループトークにつきあわされた」（8.7%）といった生活上のマナーに関わる問題がありました。

設問

この1年間でLINE（ライン）を利用しているときに、以下にあてはまることがらをされたことがありますか。



n = 3,451（2～18は複数回答）

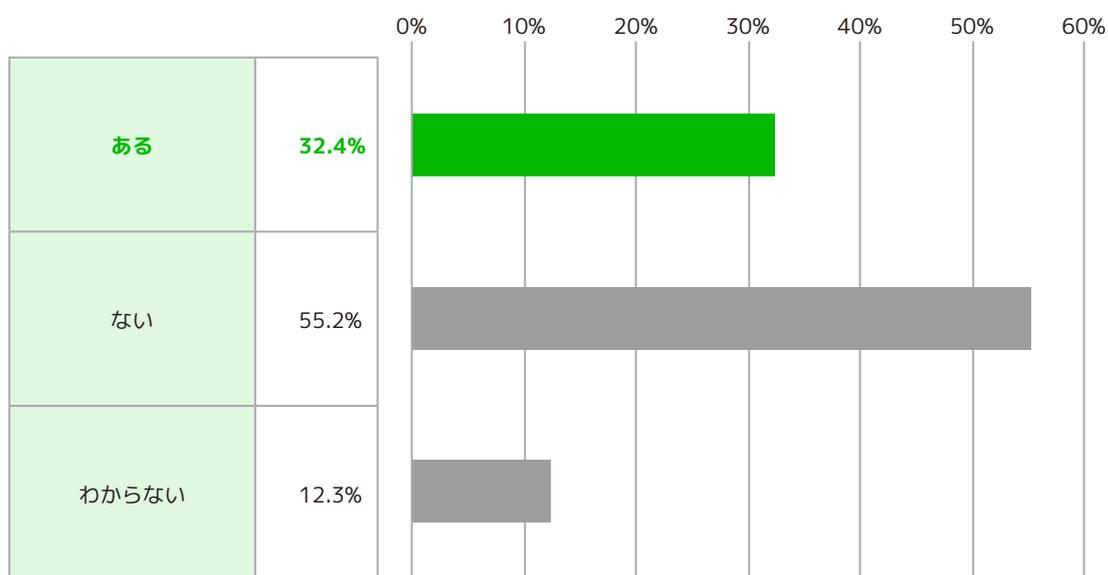
スマホ利用ルールの有無

32.4%がルールあり

家庭でネットやスマホの利用についてルールを決めているかどうか質問したところ、ルールがある、と回答した生徒は32.4%でした。

設問

あなたは、家庭で、ネットやスマホの利用について、ルールを決めていますか。



n = 3,451

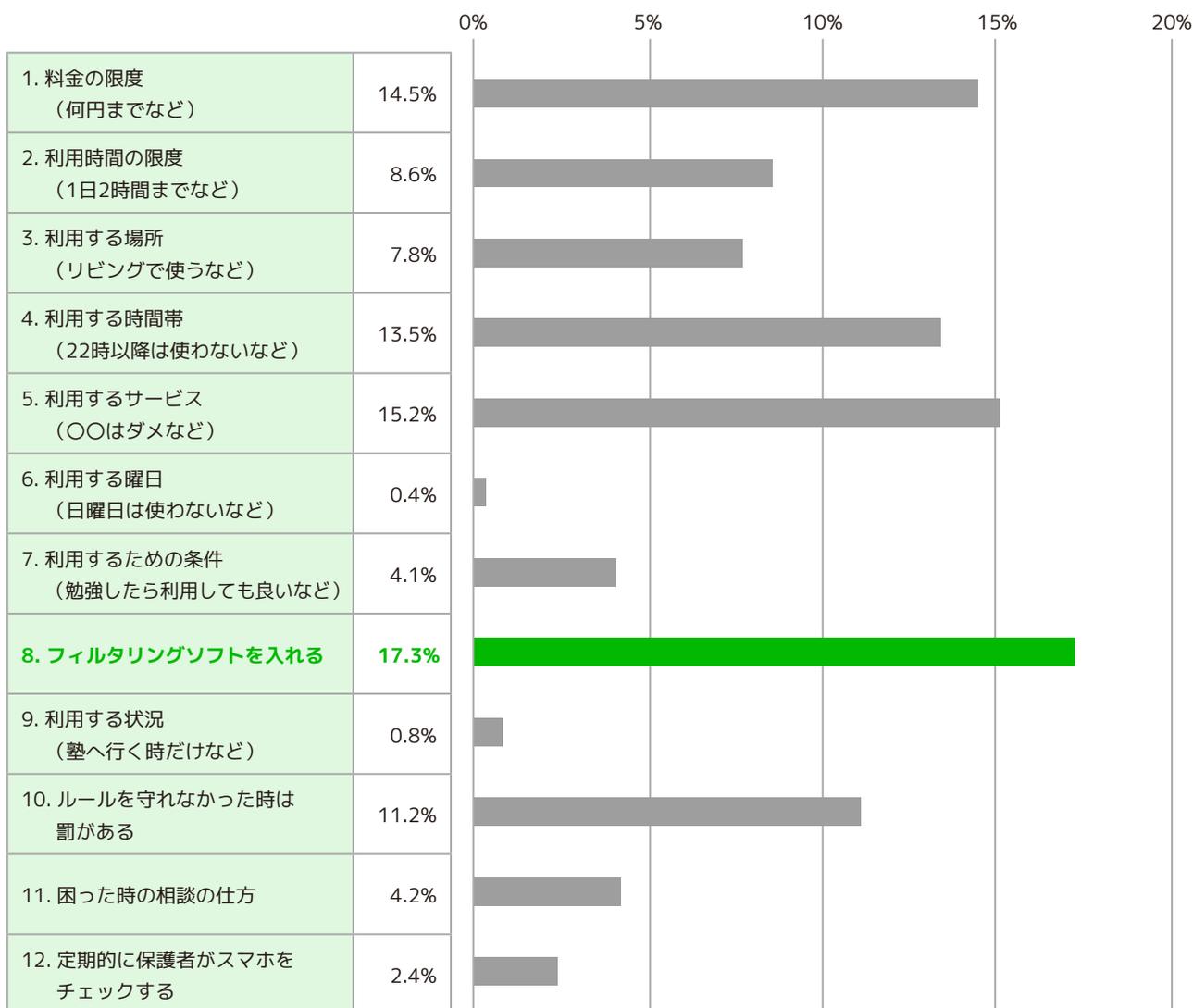
スマホ利用のルール

フィルタリングソフトが最多

家庭でネットやスマホの利用についてルールを決めていると回答した生徒について、そのルールがどのようなものかを質問したところ、「フィルタリングソフトを入れる」（17.3%）「利用するサービス（〇〇はダメなど）」（15.2%）「料金の限度（何円までなど）」（14.5%）「利用する時間帯（22時以降は使わないなど）」（13.5%）などとなりました。

設問

そのルールはどのようなルールですか？（複数回答）



n = 2,779

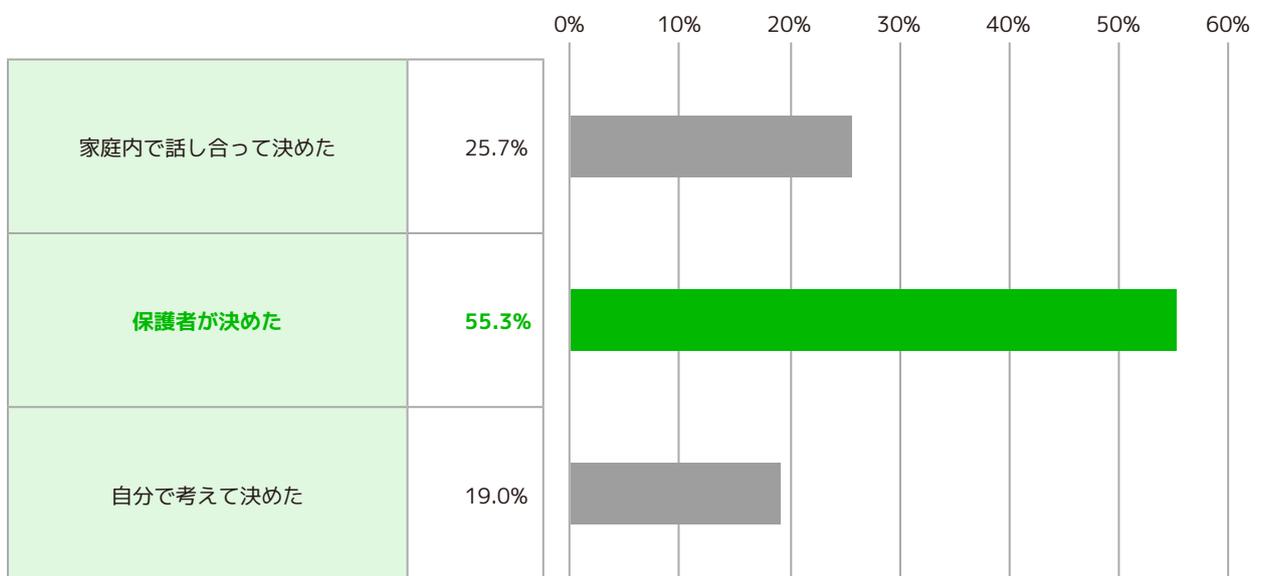
スマホ利用のルールの決め方

保護者が決める、が最多

家庭でネットやスマホの利用についてルールを決めていると回答した生徒に対して、そのルールをどのようにして決めたのかを質問したところ、「保護者が決めた」が55.3%で最も多くありました。

設問

あなたは、家庭でのルールを、どう決めましたか？



n = 1,778

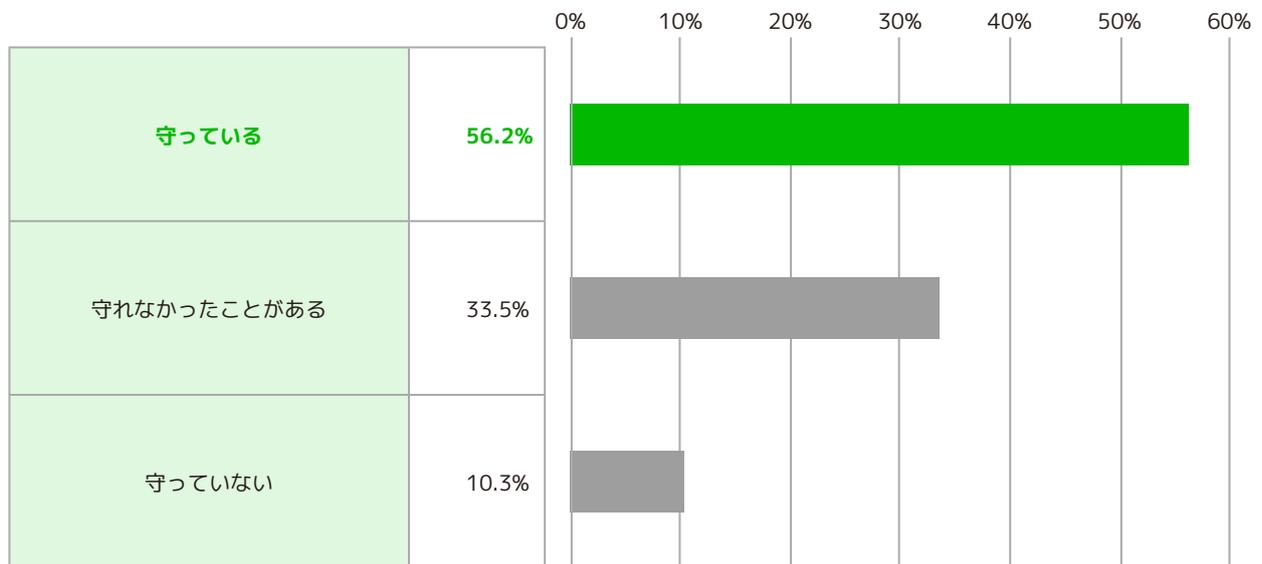
スマホ利用ルールの遵守

56.2%が守っている

家庭でネットやスマホの利用についてルールを決めていると回答した生徒について、そのルールを守っているかどうかを質問したところ、56.2%が「守っている」と回答しました。

設問

あなたは、家庭でのルールを守っていますか？



n= 1,973

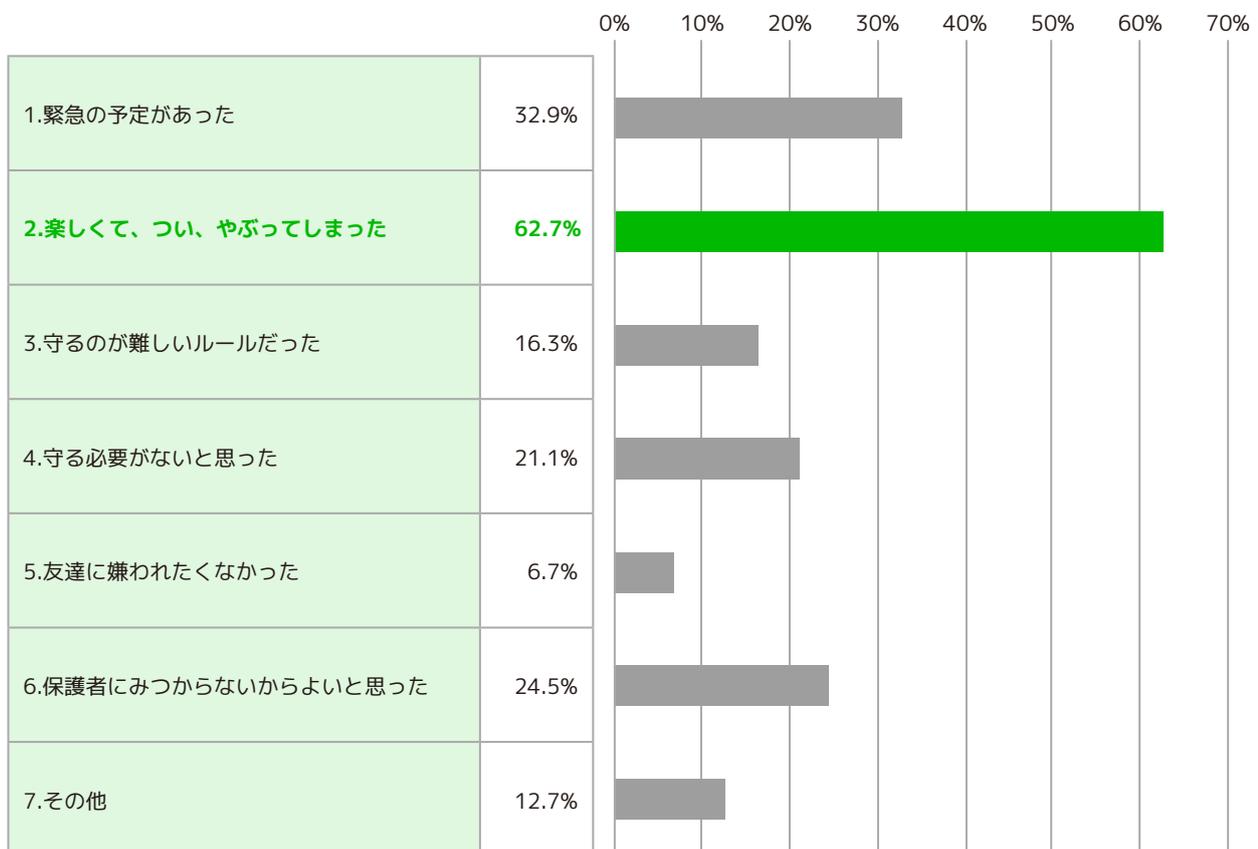
スマホ利用のルールを守れなかった理由

一番多いのは「楽しくて、つい、やぶってしまった」

家庭でネットやスマホの利用についてルールを決めていると回答した生徒のうち、ルールを守れなかった生徒について、その理由を質問したところ、「楽しくて、つい、やぶってしまった」が62.7%で最多となりました。「緊急の予定があった」（32.9%）、「保護者にみつからないからよいと思った」（24.5%）がそれに続きました。

設問

家庭内のルールを守れなかった理由を教えてください。（複数選択）



n= 864

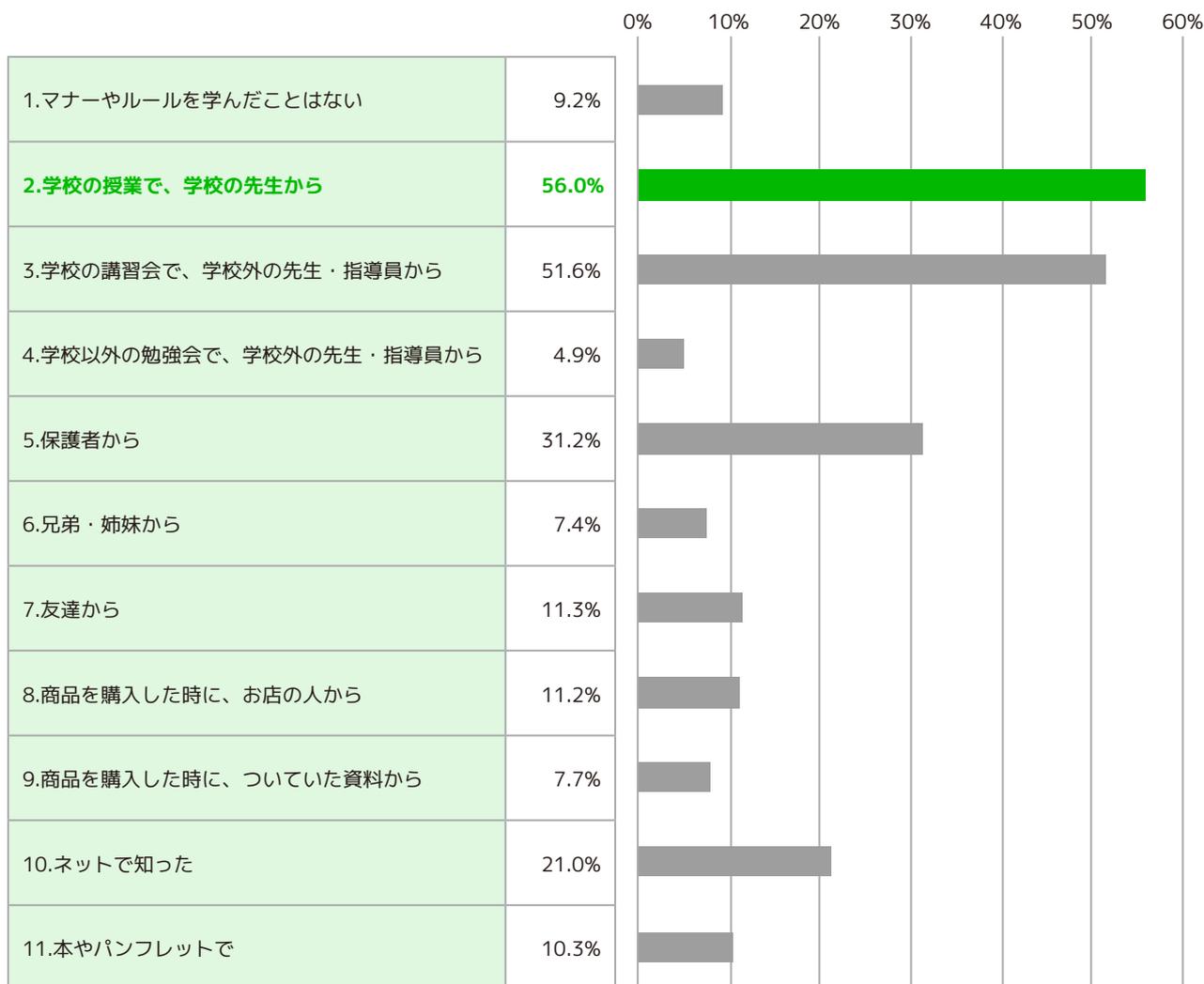
スマホ利用のルールを学ぶ機会

一番多いのは「学校の授業で、学校の先生から」

ネットやスマホの利用について学ぶ機会があるかどうか質問したところ、「学校の授業で、学校の先生から」学んだと回答した生徒が56.0%で最多となりました。「学校の講習会で学校外の先生・指導員から」（51.6%）「保護者から」（31.2%）がそれに続きました。

設問

ネットを使う上で、必要なルールやマナー、注意することなどを、学んだことはありますか？ ある場合はどこで学んだか教えてください。



n = 3,451 （複数回答）

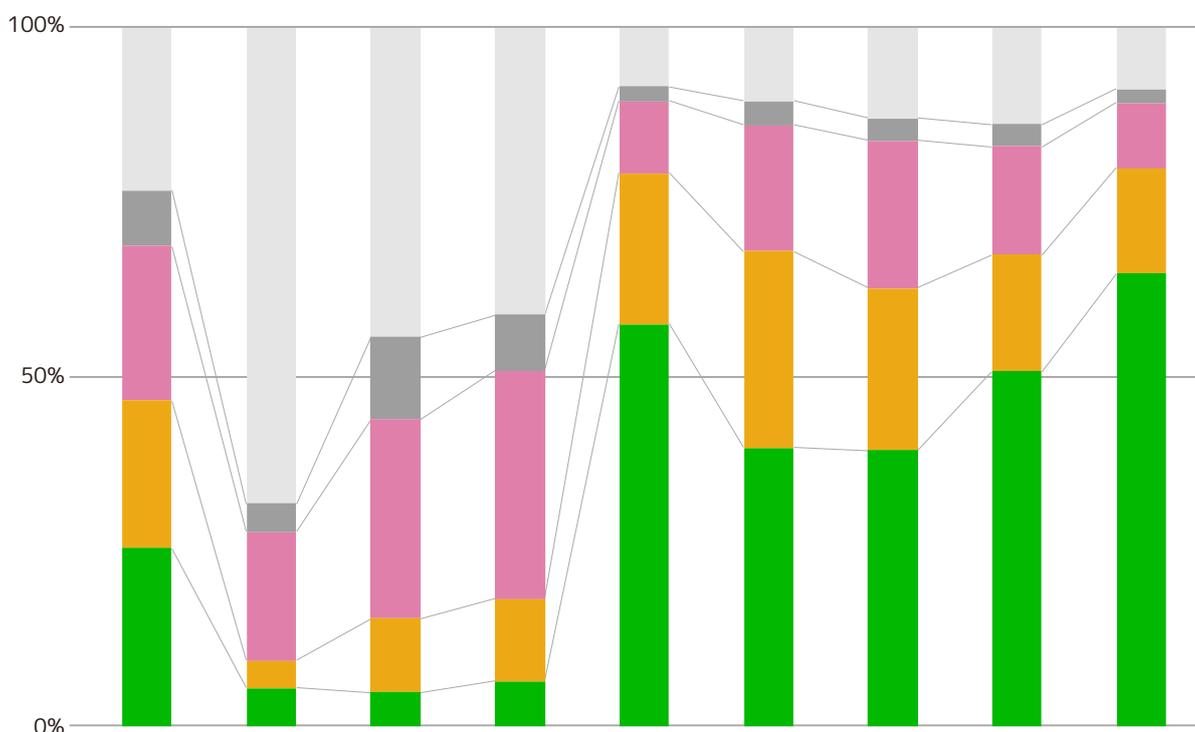
ネットを利用するメリット

動画・音楽、調べもの、交通案内

ネットを利用するメリットについて質問したところ、動画・音楽、調べもの、交通案内などのほかに、友達が増えた、部活が捗った、恋人ができた、などの回答がありました。

設問

あなたは、ソーシャル・ネットワーク・サービスを利用したことによって、どのようなことがらに利点を感じましたか。

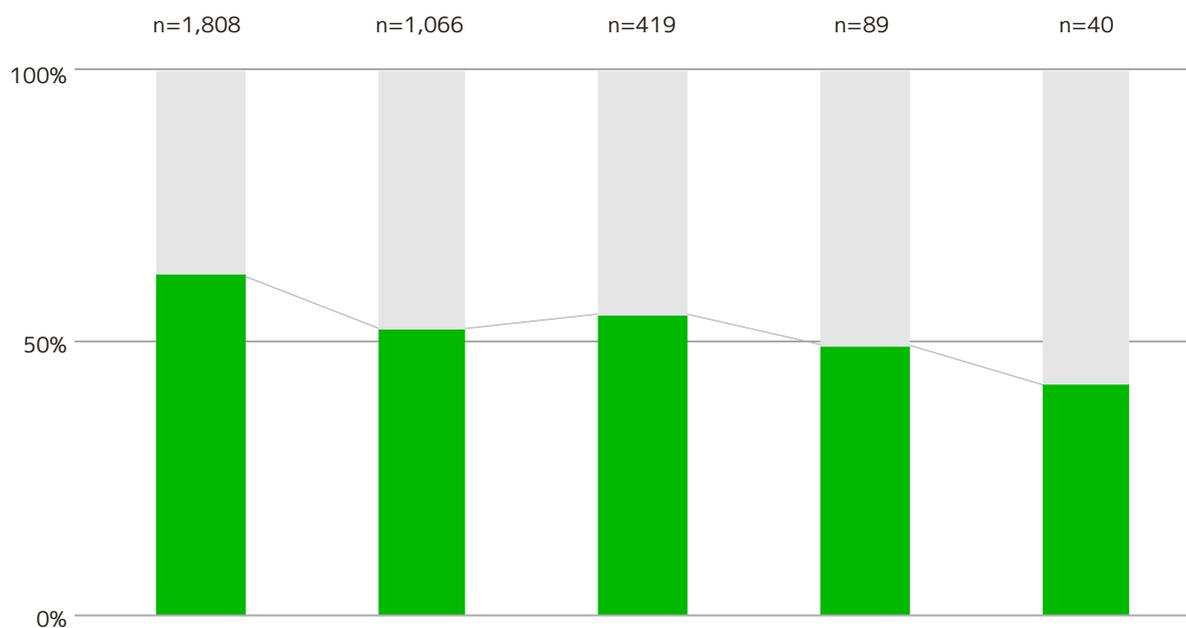


	友達が増えた	恋人ができた	勉強ができた	部活が捗る	調べもの	話題	緊急時	道・乗換	動画・音楽
■ あてはまらない	23.4%	68.1%	44.4%	41.2%	8.6%	10.7%	13.1%	14.0%	8.9%
■ ややあてはまらない	7.9%	4.0%	11.7%	8.0%	2.1%	3.4%	3.2%	3.2%	2.0%
■ どちらでもない	22.1%	18.4%	28.4%	32.6%	10.2%	18.1%	21.0%	15.4%	9.3%
■ ややあてはまる	21.1%	3.9%	10.6%	11.8%	21.6%	28.1%	23.2%	16.7%	15.1%
■ あてはまる	25.4%	5.5%	4.8%	6.4%	57.4%	39.8%	39.4%	50.8%	64.7%

n= 3,335

安全意識の高い生徒はネット利用上の問題の経験率が低い

安全意識とネット利用上の問題の経験の関係をみると、安全意識の高い生徒はネット利用上の問題の経験率が低い傾向があります。

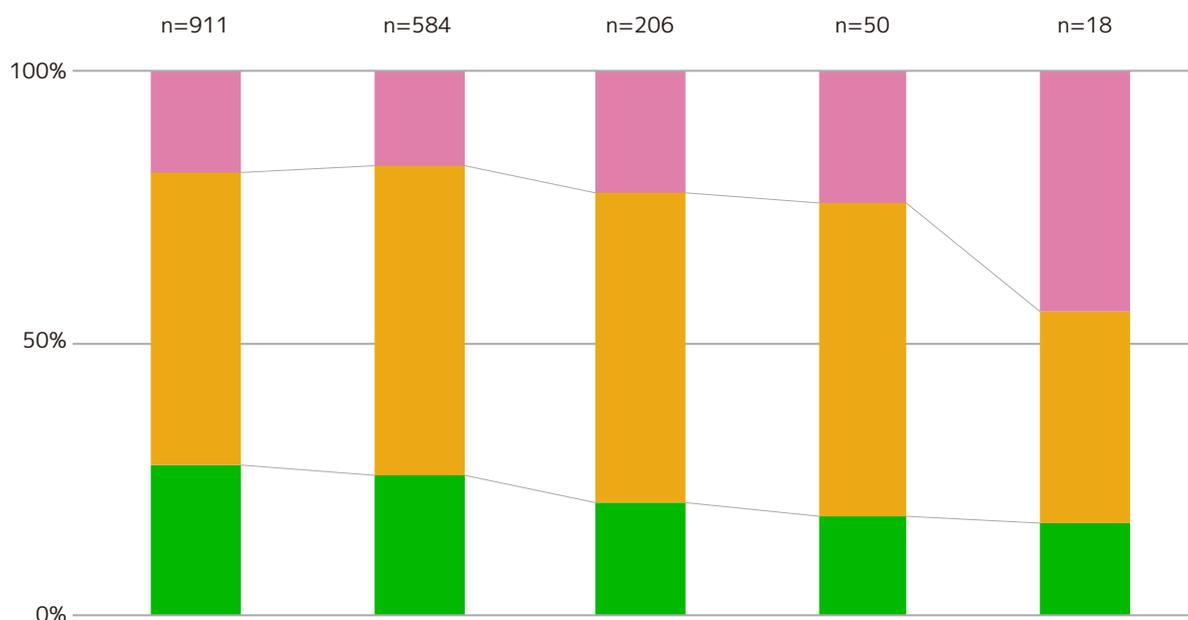


	安全に 利用できている	やや安全に 利用できている	どちらとも いえない	あまり安全に 利用できていない	安全に 利用できていない
■ 問題の経験あり	37.6%	47.4%	44.9%	50.6%	57.5%
■ 問題の経験無し	62.4%	52.6%	55.1%	49.4%	42.5%

生徒の安全意識はスマホ使用ルールの決め方と関係

安全意識とスマホの使用ルールの決め方の関係を見ると、「安全に利用できている」では「家庭内で話し合っ

て決めた」の割合が高く、「安全に利用できていない」では「自分で考えて決めた」の割合が高くなっています。



	安全に 利用できている	やや安全に 利用できている	どちらとも いえない	あまり安全に 利用できていない	安全に 利用できていない
自分で考えて決めた	18.6%	17.6%	22.3%	24.0%	44.4%
保護者が決めた	54.0%	56.5%	57.3%	58.0%	38.9%
家庭内で 話し合っ	27.4%	25.9%	20.4%	18.0%	16.7%

ネットで実際に体験した嫌なことと、ネットで嫌だと感じるであろうことの違い

LINEを例にとって、ネットで実際に体験した嫌なことと、もしされたら嫌だと感じることの差を比較するために、次の二つの質問をしました。この二つの質問を比較したところ、実際に体験したのある嫌なことの順位では、「知らない人から「友達追加」をされた」「既読無視（既読のまま返信が来ない・遅い）をされた」「話の最中にスマートフォンや携帯を触っていた」「未読スルー（未読のまま返信が来ない・遅い）をされた」の順位が高く、もし、されたとしたらいやだと感じることの順位では、「嘘を広められた」「LINE上で自分の知られたくない情報が流された」「入っていないグループトーク内で自分の悪口を言われた」「写真を勝手に公開された」の順位が高くなりました。ネットの利用上の問題については、実際に体験していることと、体験したことはないが嫌だと感じることを区別する必要があると考えられます。

設問

経験したことがらのうち、いやだと感じたことがらは何でしょうか。いやだと感じたことがらの順に、3つまで（ ）内に、回答してください。

もし、されたとしたらいやだと感じると思うことがらは何でしょうか。いやだと思うことがらの順に、3つまで（ ）内に、回答してください。



n = 3,451

（各ことがらについて1位を3点 2位を2点、3位を1点として加算したスコアを、全ことがらについてのスコア合計値で割った百分率として表示）

東京都の中学校、小学校の調査について

今回のアンケート調査の対象となった東京都の中学校、小学校は次の通りです。

中学校 1,650人

小学校 807人

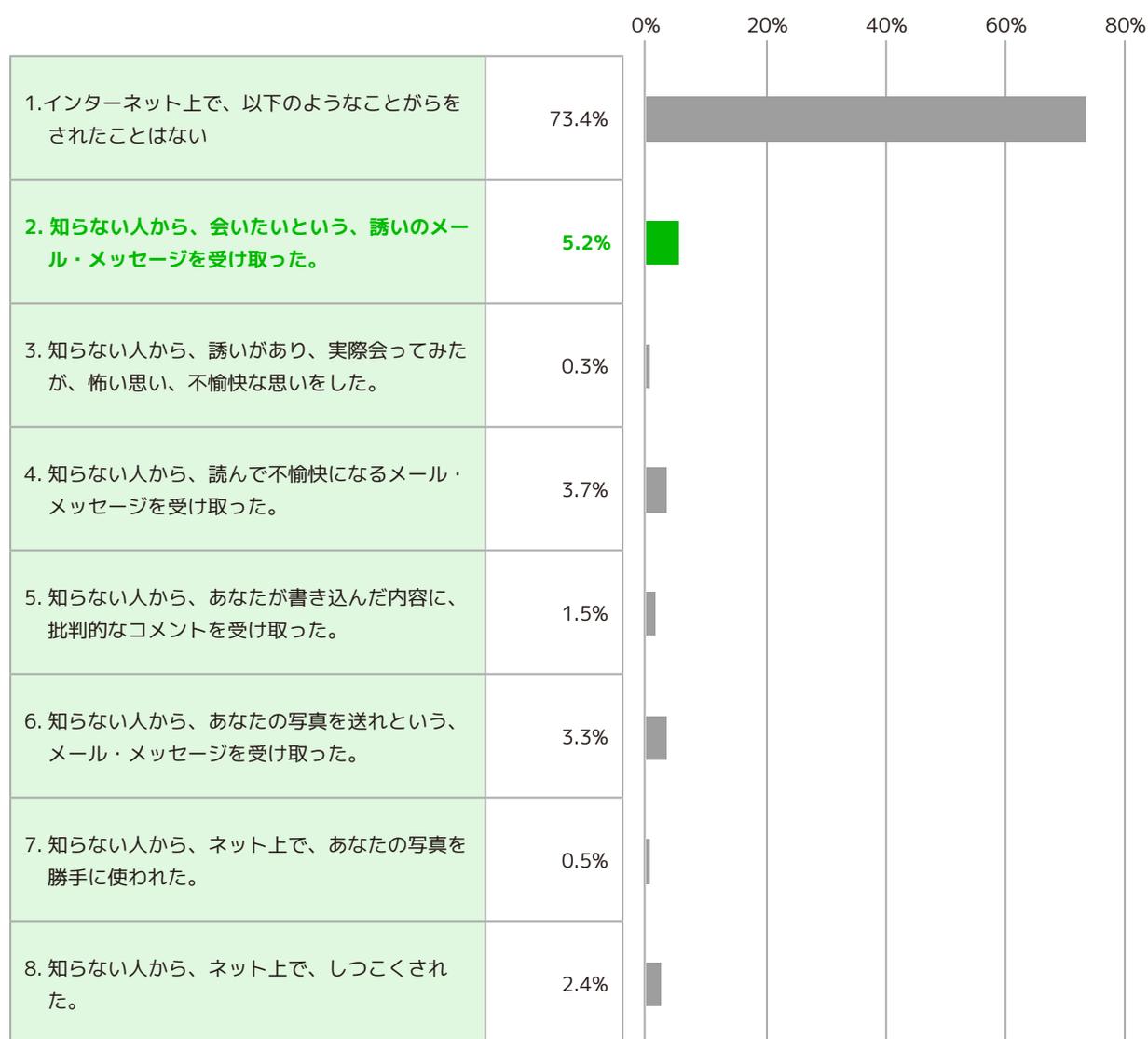
中学校の生徒が経験したネット利用上の問題

一番多いのは誘いのメールやメッセージ

73.4%の中学校の生徒はネットの利用で2～8の項目のような問題はないと回答しています。5.2%の生徒が「知らない人から、会いたいという、誘いのメールやメッセージを受け取った」と回答しています。

設問

あなたは、今年の4月から今日までに、知らない人から、インターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（ない場合には1を、ある場合には、あてはまるものすべての番号を右横の欄に記入。）



n = 1,562 (2～8は複数回答)

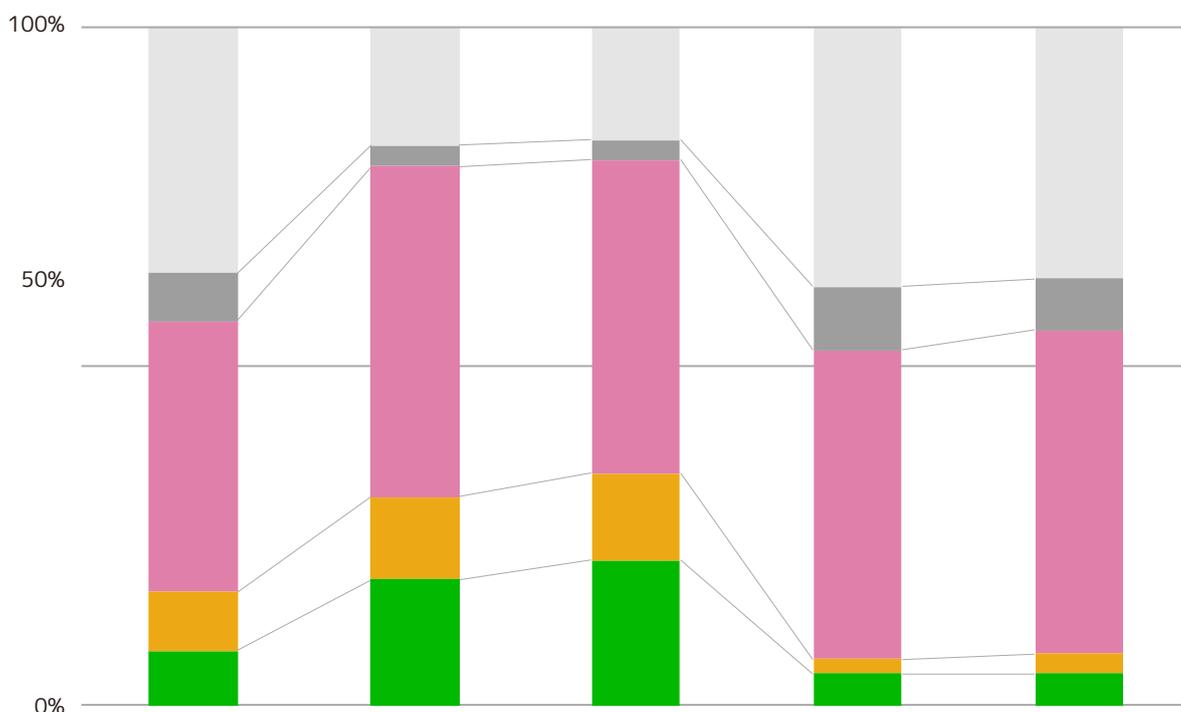
SNS東京ルール

安心できるルール30.7%、必要なルール34.1%と中学生が回答

SNS東京ルールに対する考えについては、「安心できるルール」および「必要なルール」について肯定的回答が多く（「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた回答がそれぞれ30.7%、34.1%）、「なじみのあるルール」「邪魔なルール」「守りたいと思わない」については否定的な回答が多くありました（「ややそう思わない」と「そう思わない」を合わせて順に43.3%、47.7%、44.7%）。

設問

あなたは、東京ルールについてどのように考えていますか。あなたの考えに一番近いものの番号をひとつ選び、その数字を右横の欄に記入して下さい。



	なじみのある ルールだ	安心できる ルールだ	必要なルールだ	邪魔なルールだ	守りたい と思わない
■ そう思わない	36.2%	17.5%	16.7%	38.4%	37.1%
■ ややそう思わない	7.1%	3.0%	2.9%	9.3%	7.6%
■ どちらでもない	39.9%	48.9%	46.3%	45.6%	47.8%
■ ややそう思う	8.7%	12.2%	12.8%	2.1%	2.9%
■ そう思う	8.0%	18.5%	21.3%	4.7%	4.7%

n= 1,137

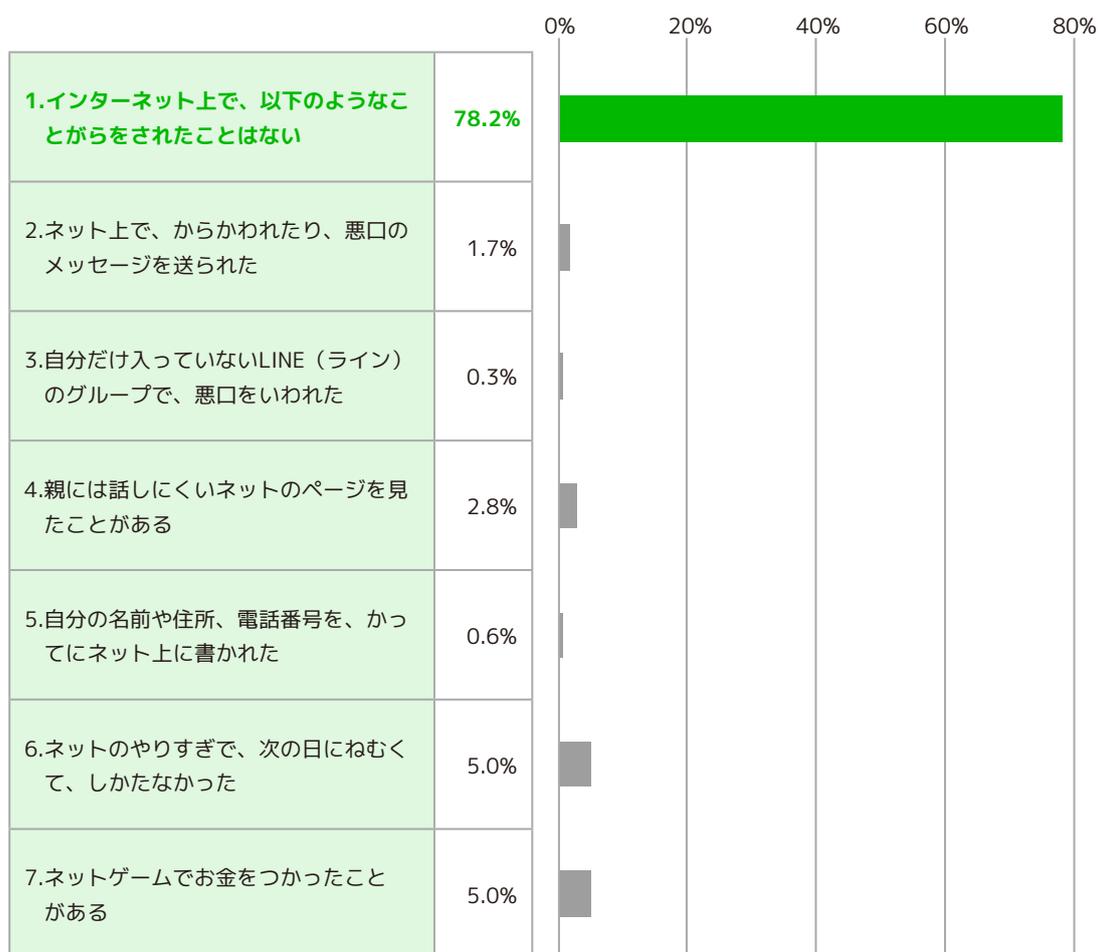
小学校の児童が経験したネット利用上の問題

78.2%が問題はない

78.2%の小学校の児童は、ネットの利用で2～7の項目のような問題にあったことはない、と回答しています。5.0%の児童が「ネットのやりすぎで、次の日にねむくて、しかたなかった」と回答しています。

設問

あなたは、今年の4月から今日までにインターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありますか。（ないときは、1を、あるときには、あてはまるものすべてを記入。）



n= 776（2～7は複数回答）

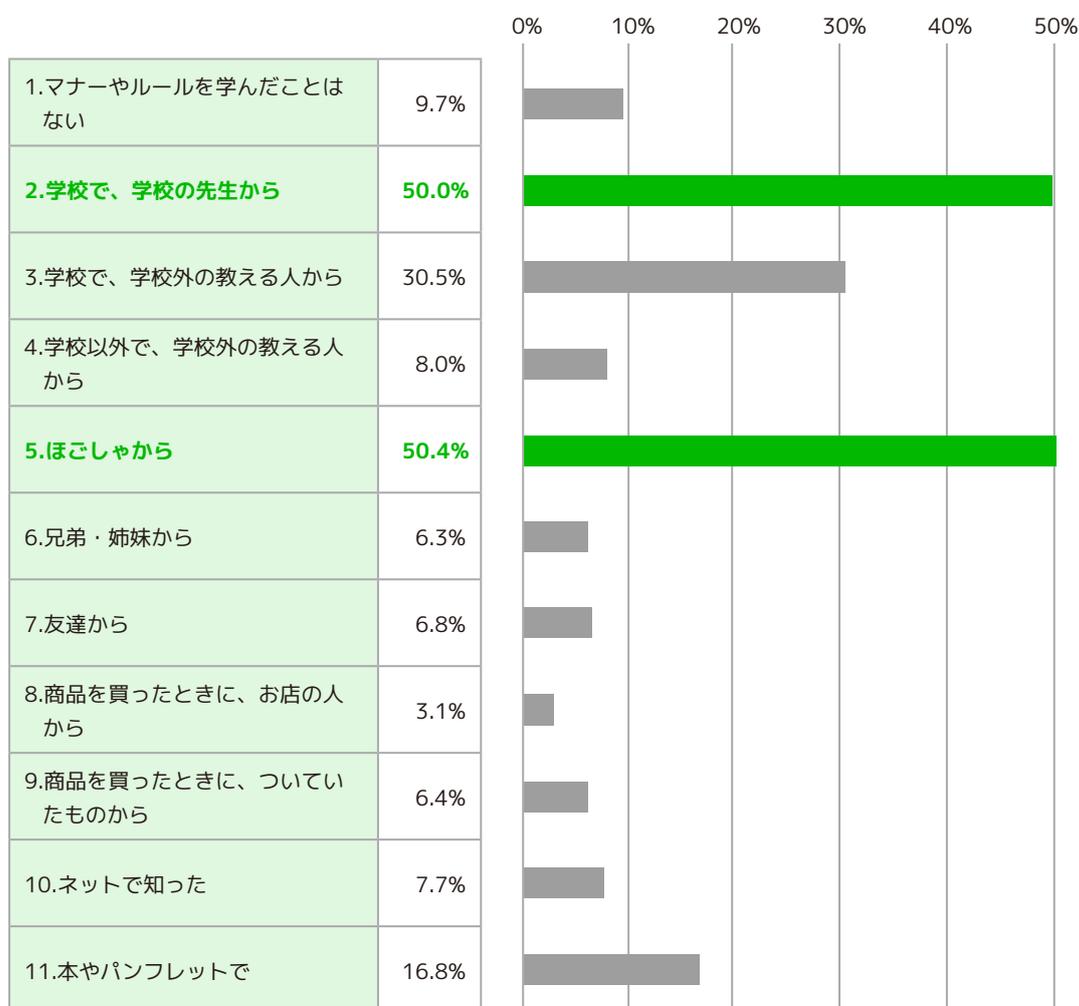
小学校の児童がスマホ利用ルールを学ぶ機会

多いのは「保護者から」と「学校で、学校の先生から」

小学校の児童にネットやスマホの利用について学ぶ機会があるかどうか質問したところ、「保護者から」（50.4%）と「学校で、学校の先生から」（50.0%）と回答した児童が多く、「学校で、学校外の教える人から」（30.5%）がそれに続きました。

設問

ネットを使う上で、ひつようなルールやマナー、注意することなどを、学んだことはありますか？



n= 776（複数回答）

3.東京都の調査（第2回）について

(1) 第2回調査でアンケートの対象となった東京都の中学生・高校生は次の通りです。

中学生 1,756人

高校生 4,005人

(2) パネル調査の有効性について

東京都での調査では、第1回アンケートとの連続性を利用してパネル調査を実施しました。このパネル調査は、個人に匿名化された番号を割り当てて実施したものです。パネルにおける回答の一致率は、性別で99.4%、学年で98.5%、学年人数で82.9%となり、パネルとして有効であることがわかりました。

Q1

あなたの性別はつぎのどれですか。

1. 男性 2. 女性

性別		秋		総計
		1	2	
春	1	2,517	16	2,533
	2	13	2,381	2,394
総計		2,530	2,397	4,927

一致率 99.4%

Q3

あなたの現在の学年は、つぎのどれですか

1. 中学1年生 2. 中学2年生 3. 中学3年生 4. 高校1年生 5. 高校2年生 6. 高校3年生 7. 高校4年生

学年		秋						総計	
		1	2	3	4	5	6		7
春	1	413	4						417
	2	1	404	1					406
	3		5	442	3				450
	4	14		2	1,314	10	4		1,344
	5	1	4	2	3	1,235	7		1,252
	6			5	2	3	1,006	2	1,018
	7						3	41	44
総計		429	417	452	1,322	1,248	1,020	43	4,931

一致率 98.5%

Q11

あなたの学校であなたと同じ学年の人数は何人ですか。

学校人数		秋					総計
		<50	50-149	150-249	250-349	350-	
春	<50	61	47	104	71	2	285
	50-149	63	669	85	16	4	837
	150-249	102	70	1,960	103	5	2,240
	250-349	76	8	77	1,416	13	1,590
	350-		1	1	10	2	14
総計		302	795	2,227	1,616	26	4,966

一致率 82.9%

以下の項目別分析で、パネル調査の結果であるものは、その旨を注記します。

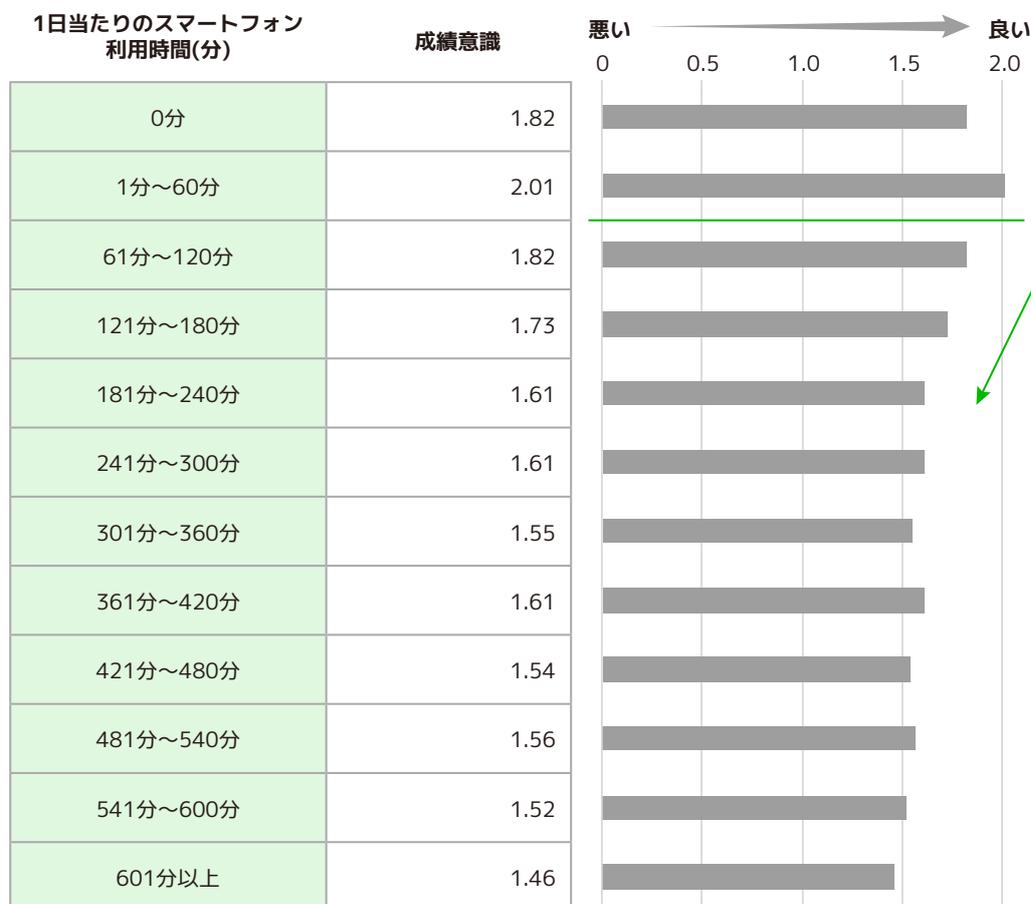
スマホの利用時間と成績への意識

1時間を境界としてスマートフォンの利用時間が長くなると成績への意識が低下

スマートフォンの利用時間と成績への意識との関係を検討しました。その結果、スマートフォンの利用時間のより長い生徒は、自分の成績をより低く感じている傾向があります。ただし利用時間をゼロ時間と答えた生徒の成績への意識が、利用時間を1時間以内と答えた生徒の成績への意識よりも高くないことから、毎日の利用時間が1時間以内と答えた生徒の成績への意識が一番高くなっていることがわかりました。

設問

- ・あなたの学校での成績は、学年の中でどれくらいだと思いますか。
- ・あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って1日にどれくらいネット（インターネット）を利用していますか。



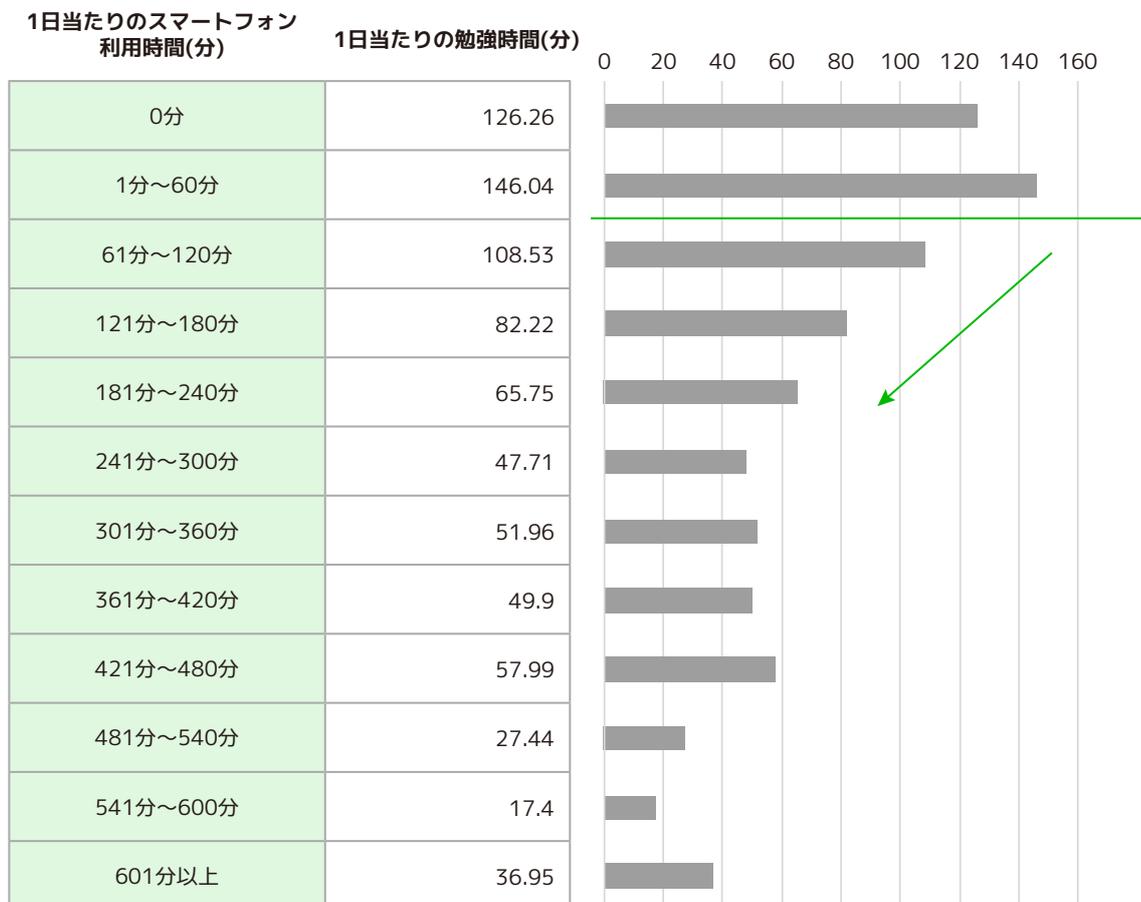
スマホの利用時間と勉強時間

1時間を境界としてスマートフォンの利用時間が長くなると勉強時間が減少

つぎにスマートフォンの利用時間と勉強時間との関係を検討しました。その結果、スマートフォンの利用時間のより長い生徒は、勉強時間がより短くなる傾向があります。ただし利用時間をゼロ時間と答えた生徒の勉強時間が、利用時間を1時間以内と答えた生徒の勉強時間よりも長くないことから、毎日の利用時間が1時間以内と答えた生徒の勉強時間が一番長くなっていることがわかりました。

設問

- ・あなたは学校の授業以外で、勉強を、1日に何時間ぐらいやっていますか。
- ・あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って1日にどれくらいネット（インターネット）を利用していますか。



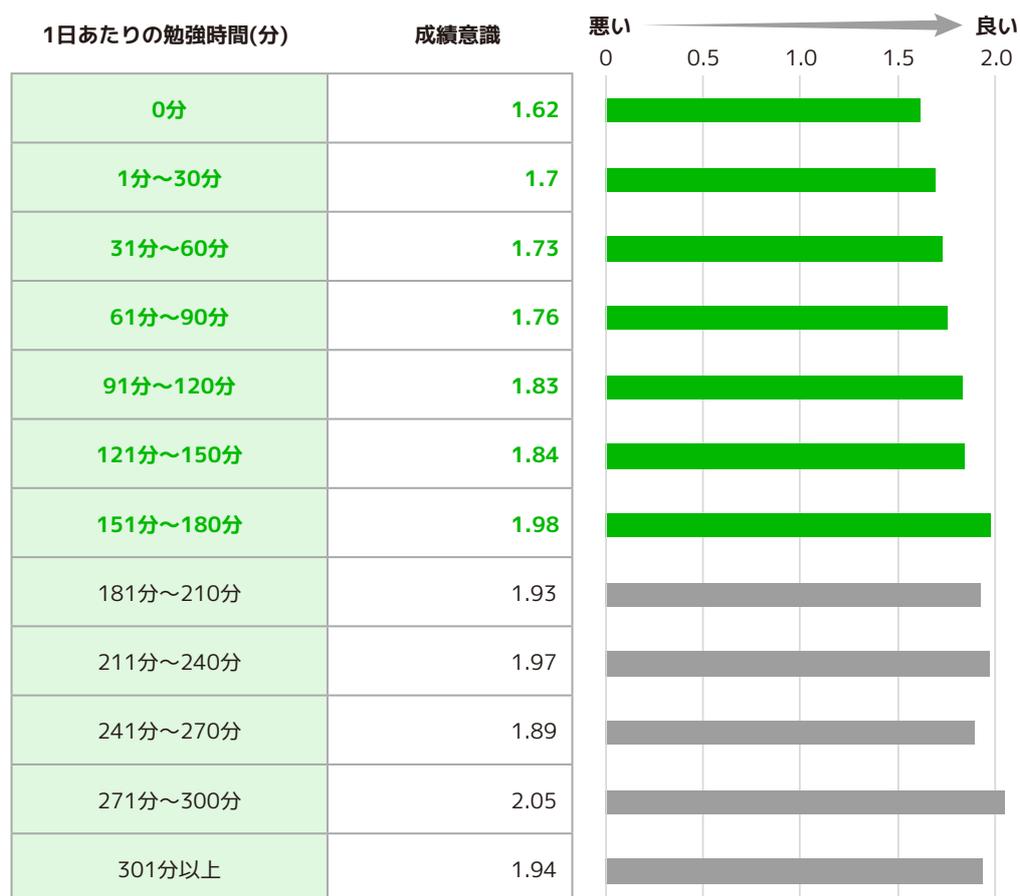
勉強時間と成績への意識

3時間までは勉強時間と成績意識が比例

勉強時間と成績意識との関係を検討しました。その結果、1日の平均勉強時間が3時間までは、勉強時間が長い生徒ほど自分の成績をより良いと感じています。3時間を超えると、生徒の勉強時間と成績意識の間には明確な関係が見られなくなります。

設問

- ・あなたは学校の授業以外で、勉強を、1日に何時間ぐらいやっていますか。
- ・あなたの学校での成績は、学年の中でどれくらいだと思いますか。



教育と安全意識

ネットリテラシー教育と生徒の安全意識に関する自覚との 相関は見られない。（パネル調査）

ネットリテラシー教育を受けた経験と生徒の安全意識に関する自覚の関係を検討しました。その結果、ネットリテラシー教育を受けても、生徒の安全意識に関する自覚に変化は見られません。春学期の調査でネットリテラシー教育を受けたか否か、さらに秋学期の調査でネットリテラシー教育を受けたか否か、の基準により4つのグループに分けて比較したところ、生徒の安全意識の状態はどのグループもほぼ等しい値（1.65-1.69）となりました。ネットリテラシー教育の有効性については次ページで検討しました。

設問

- ・あなたは、ネットを安全に利用できていると思いますか
- ・ネットを使う上で、必要なルールやマナー、注意することなどを、学んだことはありますか。

安全意識	秋教育なし	秋教育あり
春教育なし	1.65	1.67
春教育あり	1.69	1.65

*数値はネットリテラシー教育を受けた経験の条件別に算出した安全意識（値が大きいほうが安全意識が高い）

※「教育なし」の標記には、学校で情報リテラシー教育を受け、それを意識していない生徒も含まれる。

ネット利用上の問題の経験率と教育の効果①

教育にはネット利用上の問題の経験を減らす効果があり、特に継続的教育は効果が高い。（パネル調査）

ネットリテラシー教育と生徒がネットの利用で問題を経験する率との関係を検討しました。その結果、一般にネットリテラシー教育を受けた生徒はそうではない生徒よりも、ネットの利用で問題を経験する率が低くなる傾向がありました。この傾向は春学期、秋学期ともに認められ、さらに、春学期と秋学期の両方でネットリテラシー教育を受けた生徒は、ネットの利用で問題を経験する率をもっとも低くなりました。

設問

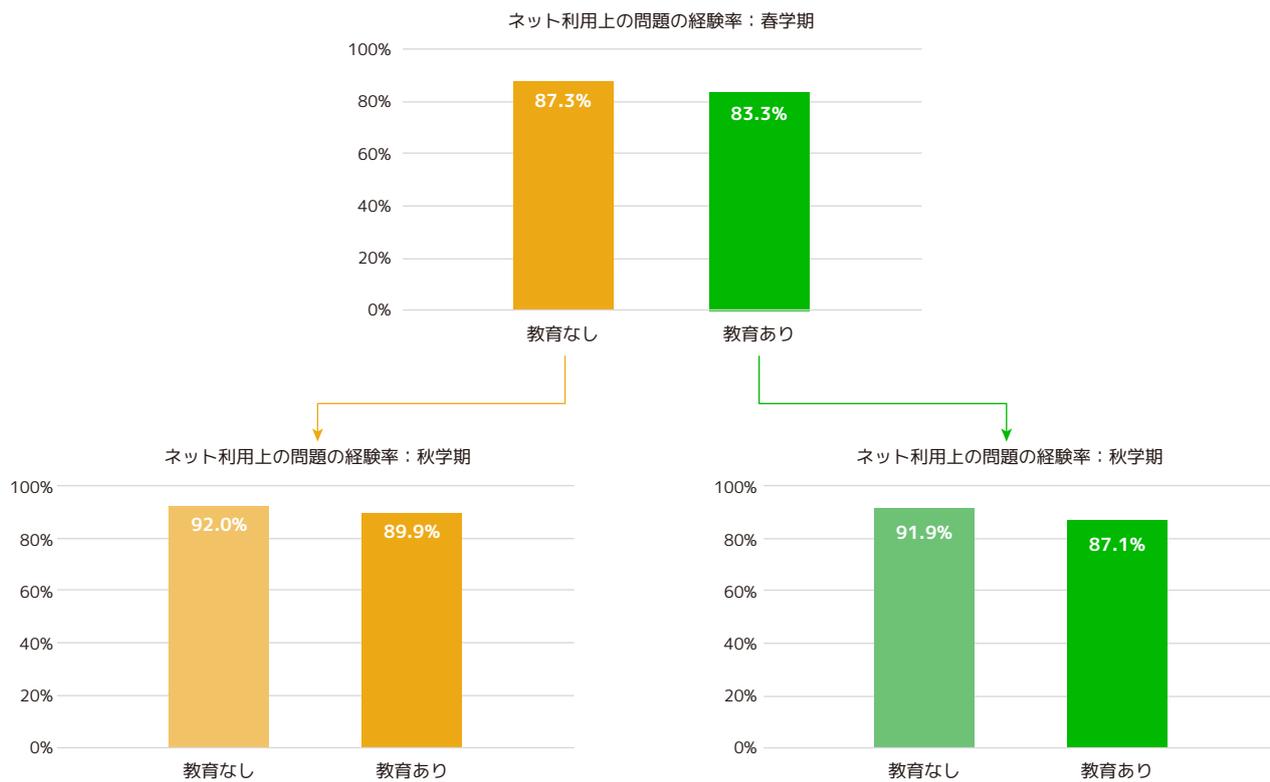
- ・ ネットを使う上で、必要なルールやマナー、注意することなどを、学んだことはありますか。
- ・ あなたは、今年の4月から今日までに、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第1回調査）
- ・ あなたは、今年の夏休みから今日までの間に、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第2回調査）

春学期	ネット利用上の問題経験		
	なし	あり	率
教育なし	81	556	87.3%
教育あり	348	1,740	83.3%

秋学期	ネット利用上の問題経験		
	なし	あり	率
教育なし	24	276	92.0%
教育あり	34	303	89.9%
合計	58	579	90.9%

秋学期	ネット利用上の問題経験		
	なし	あり	率
教育なし	26	296	91.9%
教育あり	227	1,539	87.1%
合計	253	1,835	87.9%

※「教育なし」には、情報リテラシー教育を受けたが、それを意識していない生徒を含む。



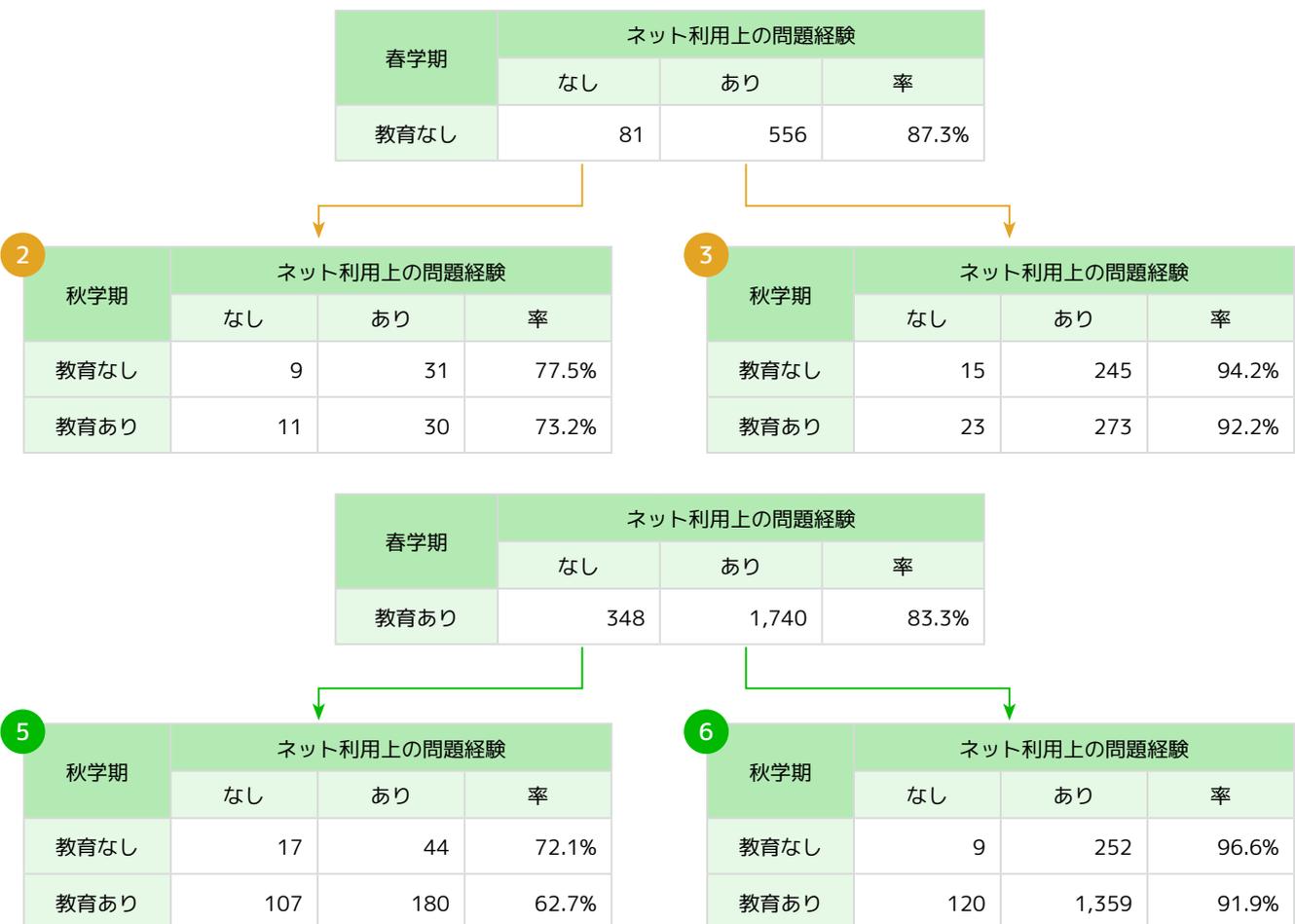
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果②

ネット利用上の問題の経験がある生徒にもない生徒にも教育は効果がある。（パネル調査）

前項で確認した傾向を、生徒の過去のネット利用上の問題経験の有無という観点から検討しました。その結果、春学期にネット利用で問題を経験した生徒についても、そうではない生徒についても、秋学期にネットリテラシー教育を受けたほうがネット利用で問題を経験する率が低くなりました。

設問

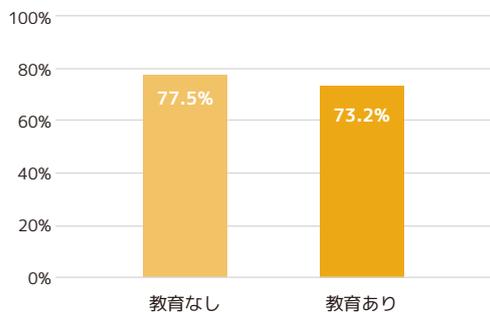
- ・ ネットを使う上で、必要なルールやマナー、注意することなどを学んだことはありますか。
- ・ あなたは、今年の4月から今日までに、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第1回調査）
- ・ あなたは、今年の夏休みから今日までの間に、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第2回調査）



※「教育なし」には、情報リテラシー教育を受けたが、それを意識していない生徒を含む。

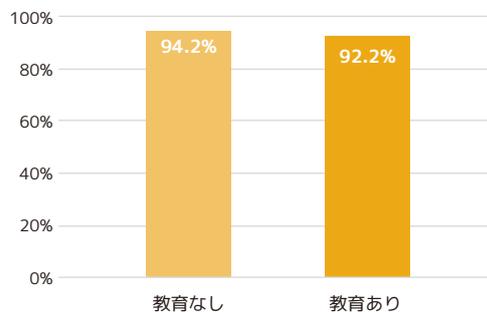
2 春学期調査で「教育なし」「問題なし」

ネット利用上の問題の経験率：秋学期



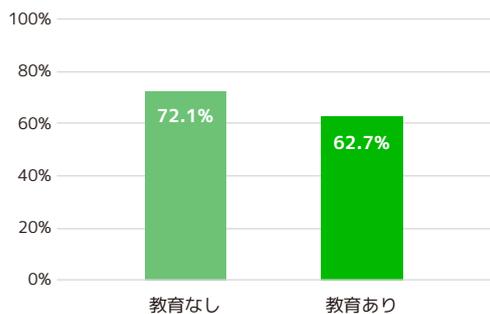
3 春学期調査で「教育なし」「問題あり」

ネット利用上の問題の経験率：秋学期



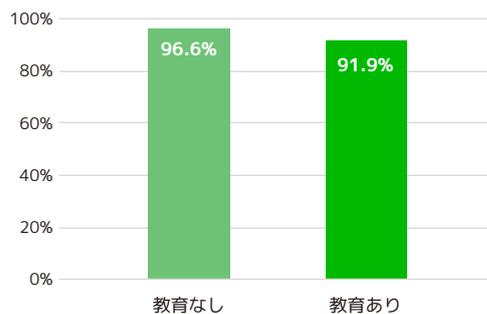
5 春学期調査で「教育あり」「問題なし」

ネット利用上の問題の経験率：秋学期



6 春学期調査で「教育あり」「問題あり」

ネット利用上の問題の経験率：秋学期



ネット利用上の問題の経験率と教育の効果③

「教育にはネット利用上の問題の経験を減らす効果があり、特に継続的教育は効果が高い」は、知人・友人とのネット利用上の問題にもあてはまる。（パネル調査）

ネットリテラシー教育と、生徒がネットの利用で知人・友人との問題を経験する率との関係を検討しました。その結果、一般にネットリテラシー教育を受けた生徒は、これを受けていない生徒よりも、知り合いとのネットの利用で問題を経験する率が低くなる傾向がありました。この傾向は春学期、秋学期ともに認められました。

設問

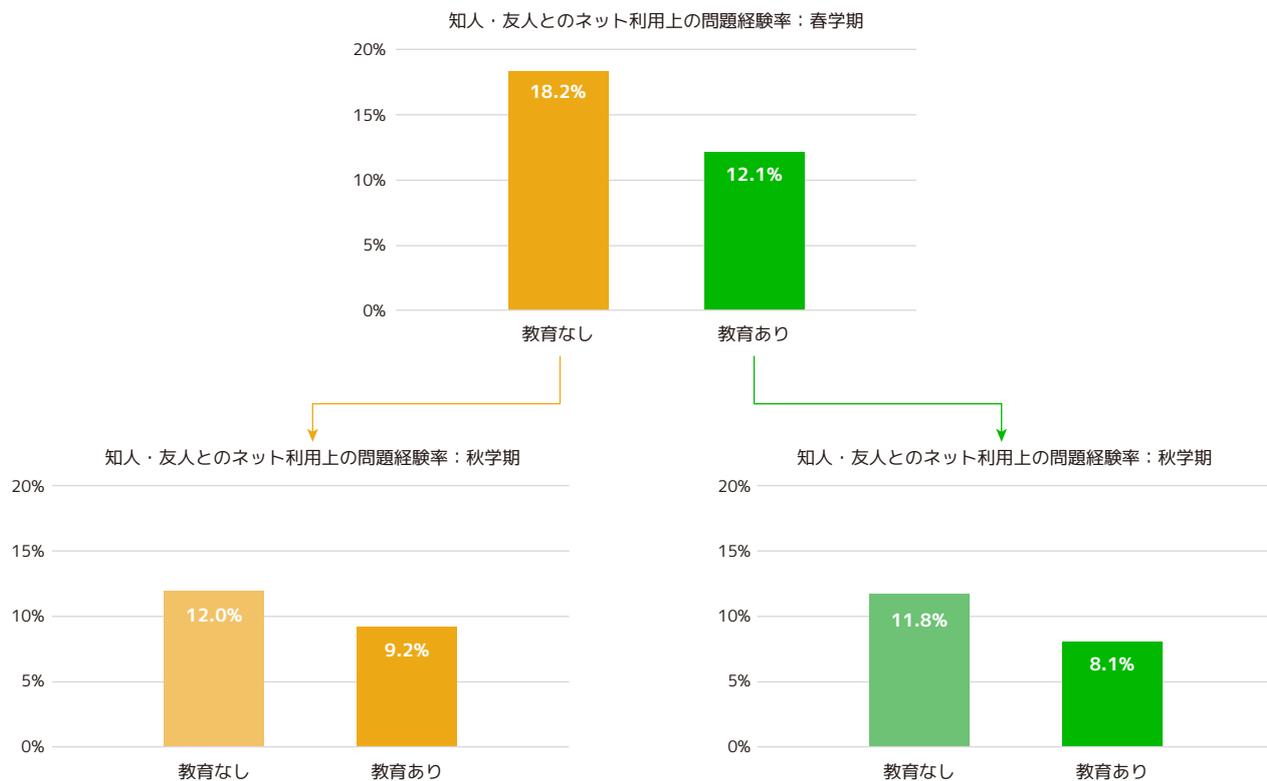
- ・ ネットを使う上で必要なルールやマナー、注意することなどを、学んだことはありますか。
- ・ あなたは、今年の4月から今日までに、日頃顔を合わせている知り合いから、インターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第1回調査）
- ・ あなたは、今年の夏休みから今日までの間に、日頃顔を合わせている知り合いから、インターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第2回調査）

春学期	知人・友人とのネット利用上の問題経験		
	なし	あり	率
教育なし	521	116	18.2%
教育あり	1,835	253	12.1%

秋学期	知人・友人とのネット利用上の問題経験		
	なし	あり	率
教育なし	264	36	12.0%
教育あり	306	31	9.2%
合計	570	67	10.5%

秋学期	知人・友人とのネット利用上の問題経験		
	なし	あり	率
教育なし	284	38	11.8%
教育あり	1,623	143	8.1%
合計	1,907	181	8.7%

※「教育なし」には、情報リテラシー教育を受けたが、それを意識していない生徒を含む。



ネット利用上の問題の経験率と教育の効果④

「ネット利用上の問題の経験がある生徒にもない生徒にも教育は効果がある」は、友人・知人とのネット利用上の問題にもあてはまる。（パネル調査）

前項で確認した傾向を、生徒の知人・友人とのネット利用上の問題経験の有無という観点から検討しました。その結果、春学期にネット利用で問題を経験した生徒についても、経験しなかった生徒についても、秋学期にネットリテラシー教育を受けた生徒は、知人・友人との間でネット利用の問題を経験する率が低くなっていました。

設問

- ・ ネットを使う上で、必要なルールやマナー、注意することなどを、学んだことはありますか。
- ・ あなたは、今年の4月から今日までに、日頃顔を合わせている知り合いから、インターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第1回調査）
- ・ あなたは、今年の夏休みから今日までの間に、日頃顔を合わせている知り合いから、インターネット上で、以下にあてはまることがらをされたことがありましたか。（第2回調査）

春学期		知人・友人とのネット利用上の問題経験		
		なし	あり	率
教育なし		521	116	18.2%

秋学期		知人・友人とのネット利用上の問題経験		
		なし	あり	率
教育なし		213	24	10.1%
教育あり		259	25	8.8%

秋学期		知人・友人とのネット利用上の問題経験		
		なし	あり	率
教育なし		51	12	19.0%
教育あり		47	6	11.3%

春学期		知人・友人とのネット利用上の問題経験		
		なし	あり	率
教育あり		1,835	253	12.1%

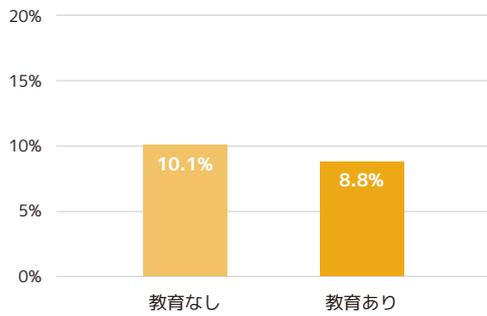
秋学期		知人・友人とのネット利用上の問題経験		
		なし	あり	率
教育なし		251	28	10.0%
教育あり		1,436	120	7.7%

秋学期		知人・友人とのネット利用上の問題経験		
		なし	あり	率
教育なし		33	10	23.3%
教育あり		187	23	11.0%

※「教育なし」には、情報リテラシー教育を受けたが、それを意識していない生徒を含む。

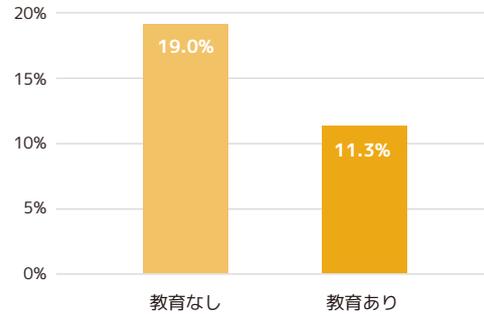
2 春学期調査で「教育なし」「問題なし」

知人・友人とのネット利用上の問題経験率：秋学期



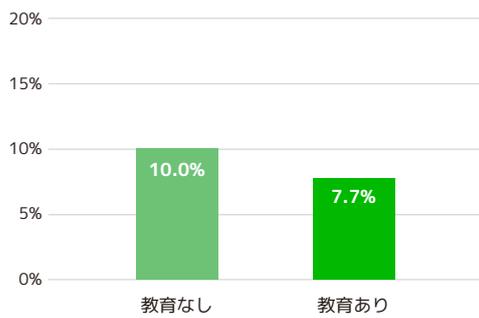
3 春学期調査で「教育なし」「問題あり」

知人・友人とのネット利用上の問題経験率：秋学期



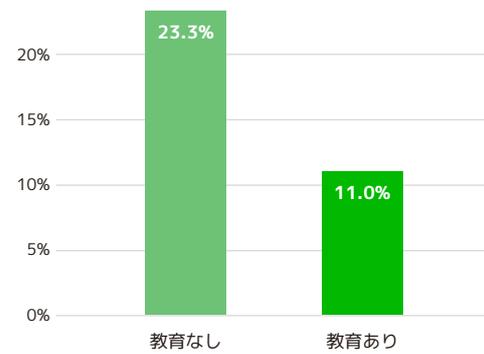
5 春学期調査で「教育あり」「問題なし」

知人・友人とのネット利用上の問題経験率：秋学期



6 春学期調査で「教育あり」「問題あり」

知人・友人とのネット利用上の問題経験率：秋学期



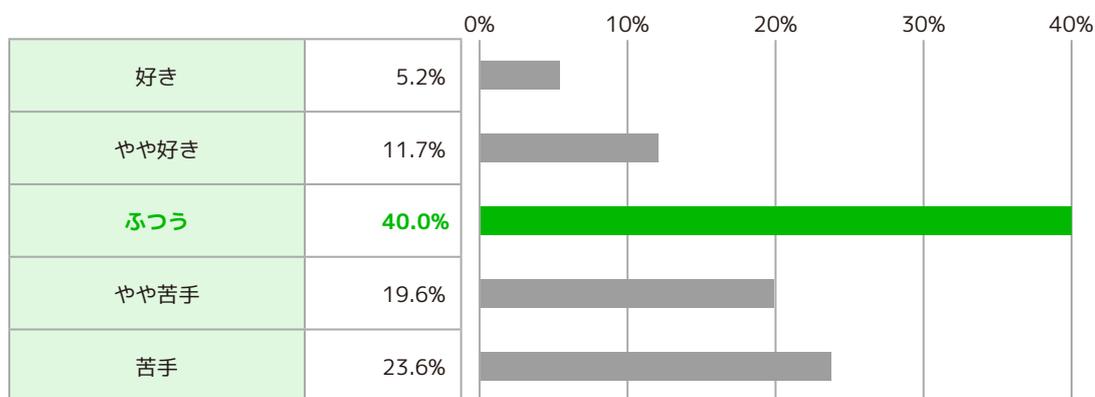
勉強が好きかどうか

40.0%が「ふつう」と回答

勉強が好きかどうかについて質問したところ、「ふつう」と答えた生徒が最も多く、40.0%でした。また「苦手」と答えた生徒の割合（23.6%）は、「好き」と答えた生徒の割合（5.2%）の4倍以上となりました。

設問

あなたは勉強が好きですか。



n=5,759

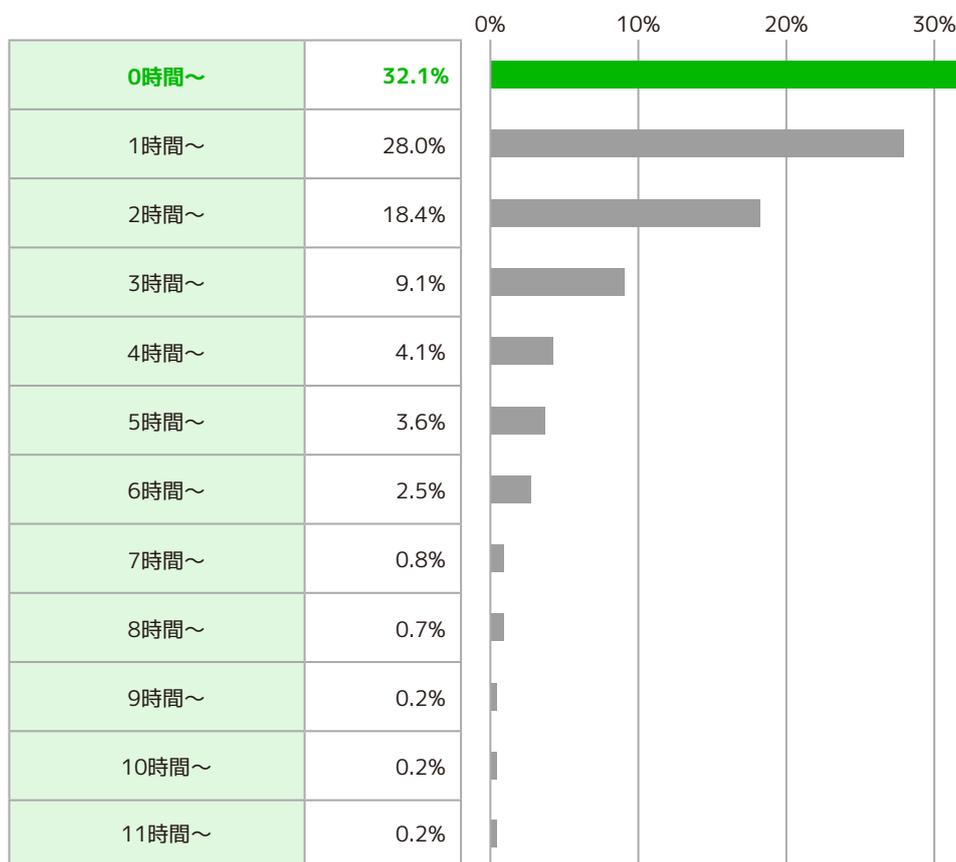
勉強時間

一番多いのは1日1時間未満で32.1%

学校の授業以外の勉強時間について質問したところ、1日に1時間未満と回答した生徒が最も多く、32.1%でした。勉強時間が長くなるにつれて該当する生徒の数が減少しました。

設問

あなたは学校の授業以外で、勉強を、1日に何時間ぐらいやっていますか。



n = 4,840

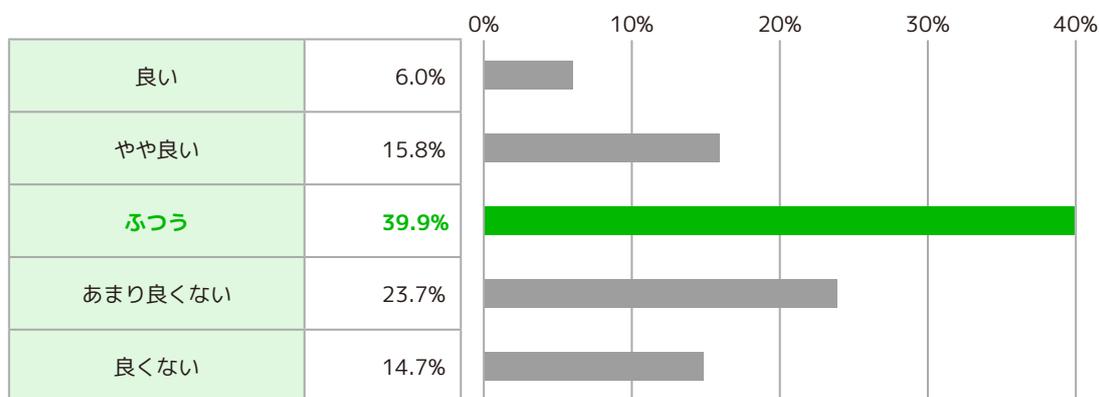
成績に対する意識

39.9%が「ふつう」と回答

学校での成績について質問したところ、「ふつう」と答えた生徒が最も多く、39.9%でした。「良くない」と答えた生徒の割合（14.7%）は「良い」と答えた生徒の割合（6.0%）の2倍以上となりました。

設問

あなたの学校での成績は、学年の中でどれくらいだと思いますか。



n=5,737

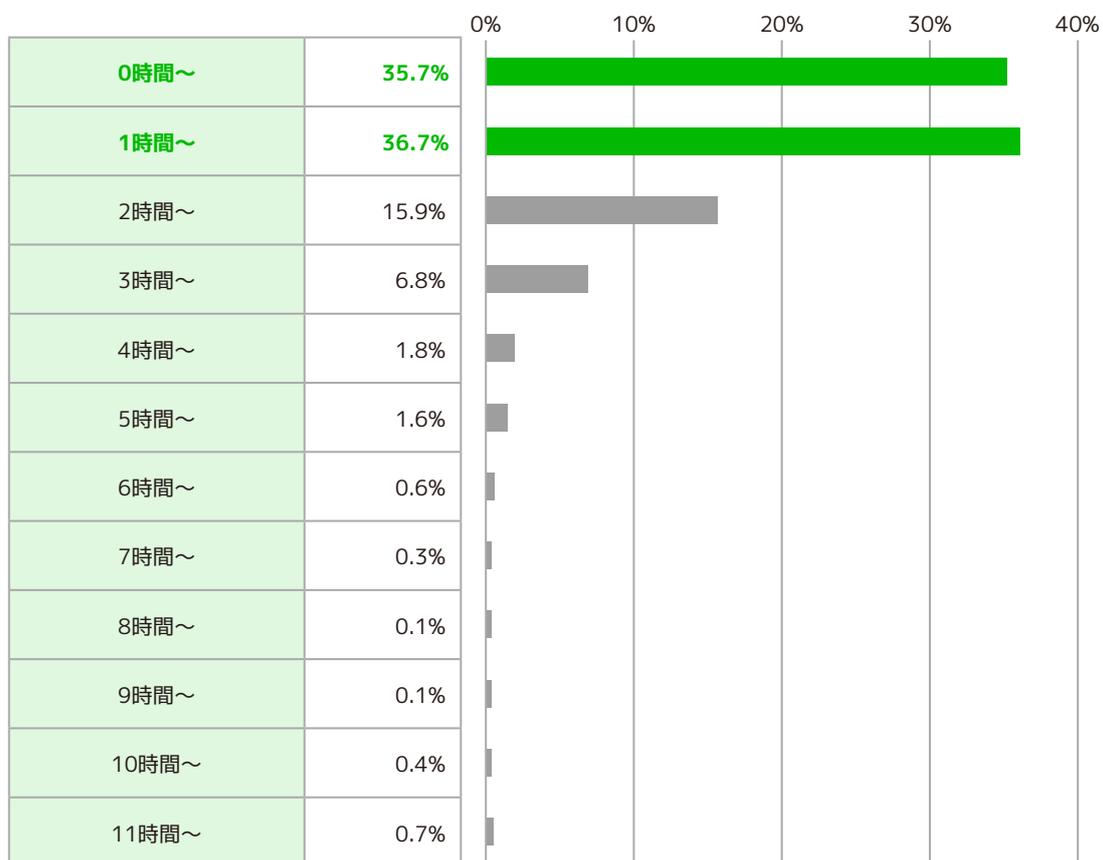
娯楽動画の視聴時間

2時間未満が72.4%

平日にスマートフォン等を用いて娯楽動画を視聴する時間について質問したところ、1時間未満の生徒（35.7%）および1時間以上2時間未満の生徒（36.7%）が特に多く、両者を合わせた2時間未満の生徒は72.4%となりました。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、以下のサービスを、平日1日（24時間）にどれくらい使っていますか。



n = 3,919

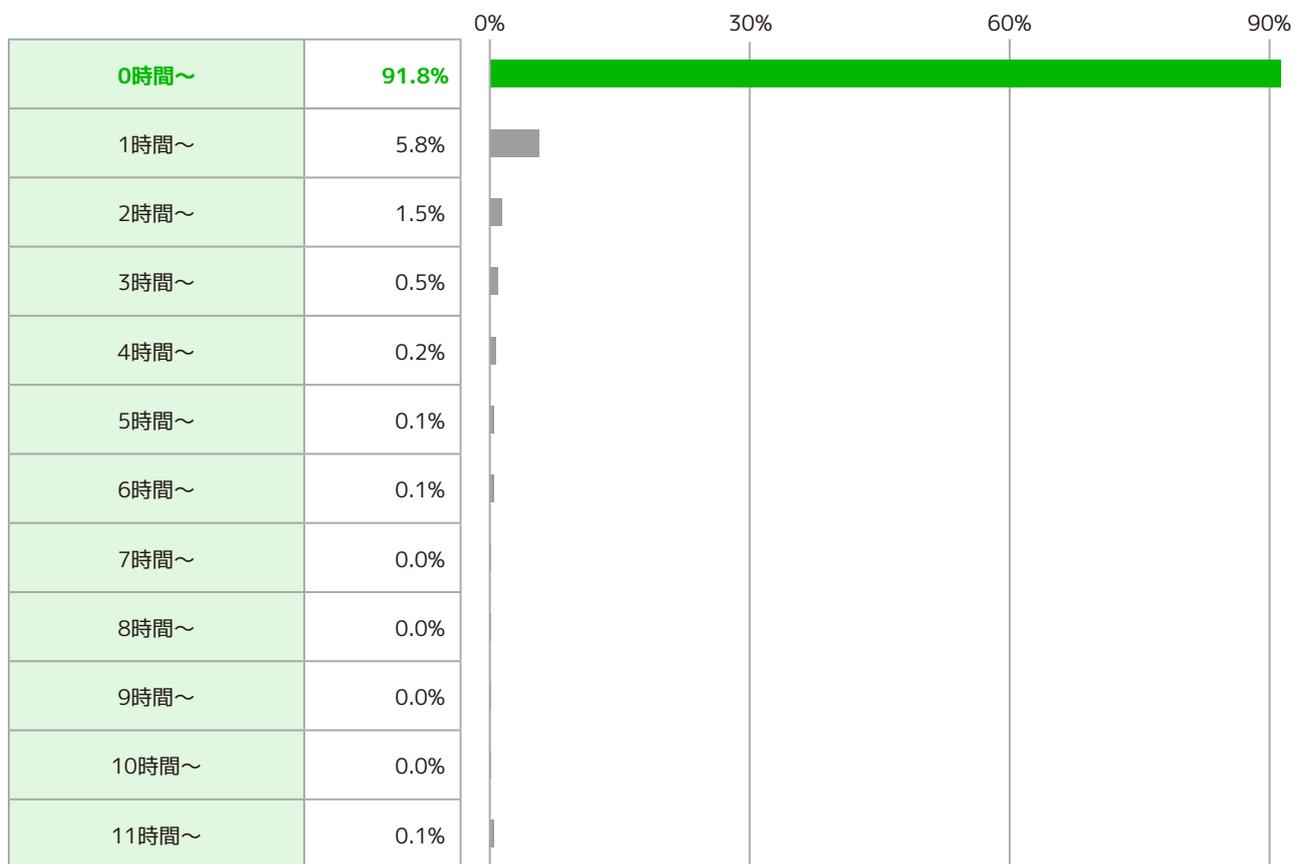
学習動画の視聴時間

1時間未満が91.8%

平日にスマートフォン等を用いて学習動画を視聴する時間について質問したところ、91.8%の生徒が1時間未満と回答しました。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、以下のサービスを、平日1日（24時間）にどれくらい使っていますか。



n = 3,164

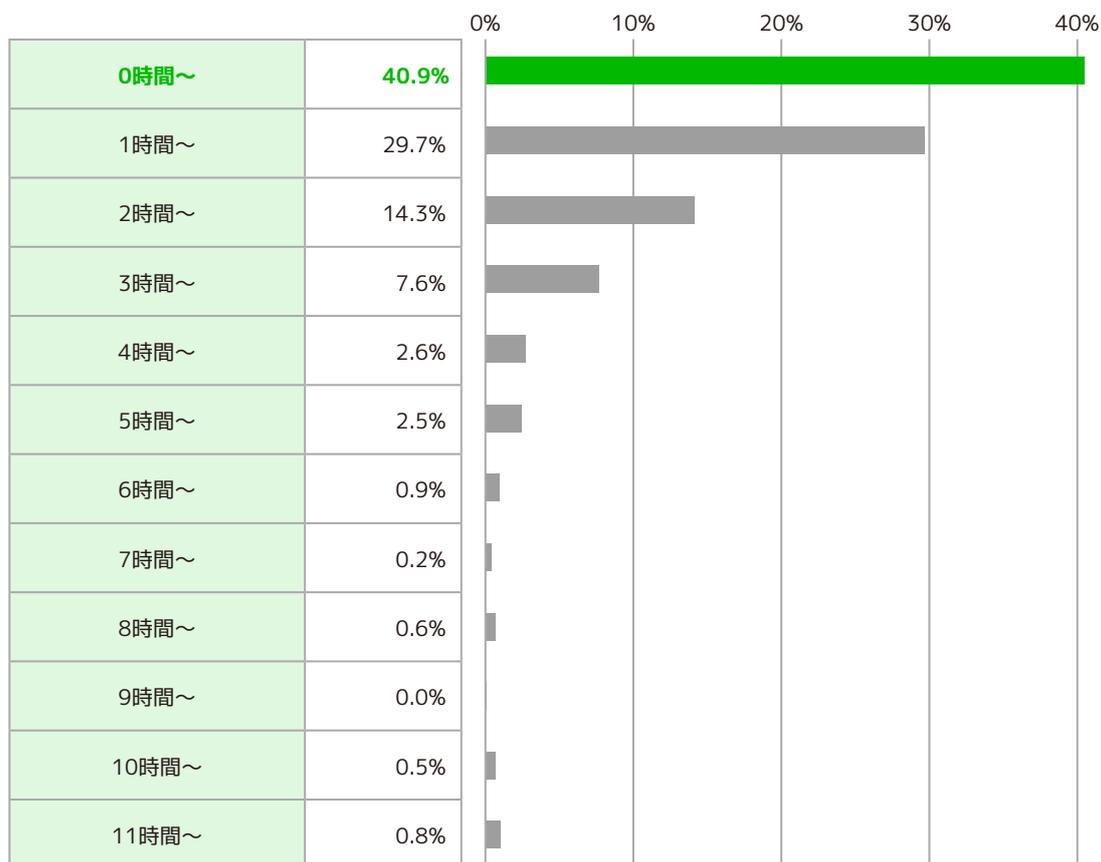
ゲームをする時間

一番多いのは1日1時間未満で40.9%

平日にスマートフォン等を用いてゲームをする時間について質問したところ、1日に1時間未満の生徒（40.9%）が最多となり、1時間以上2時間未満の生徒（29.7%）が次に多く、時間が長くなるにつれて該当する生徒の数が減少しました。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、以下のサービスを、平日1日（24時間）にどれくらい使っていますか。



n = 3,849

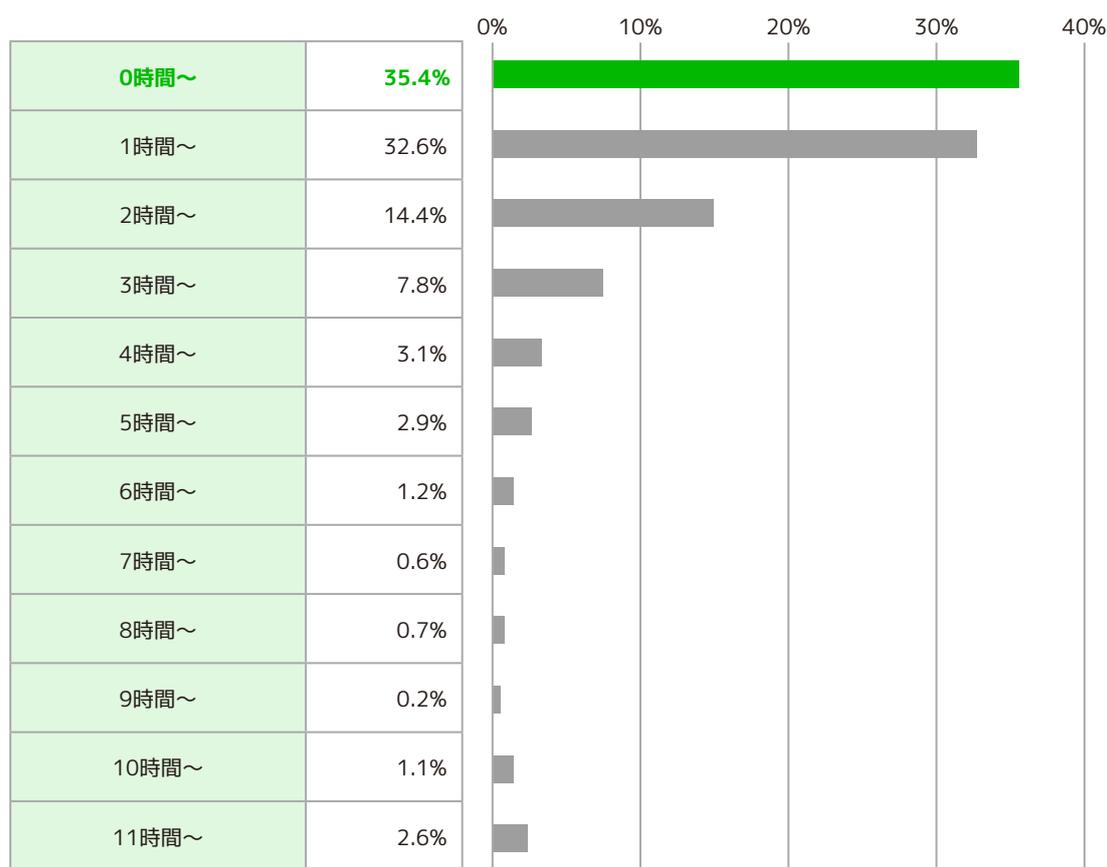
LINEをする時間

一番多いのは1日1時間未満で35.4%

平日にスマートフォン等を用いてLINEをする時間について質問したところ、1日に1時間未満の生徒（35.4%）が最多となり、1時間以上2時間未満の生徒（32.6%）が次に多く、時間が長くなるにつれて該当する生徒の割合が減少しました。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、以下のサービスを、平日1日（24時間）にどれくらい使っていますか。



n = 3,876

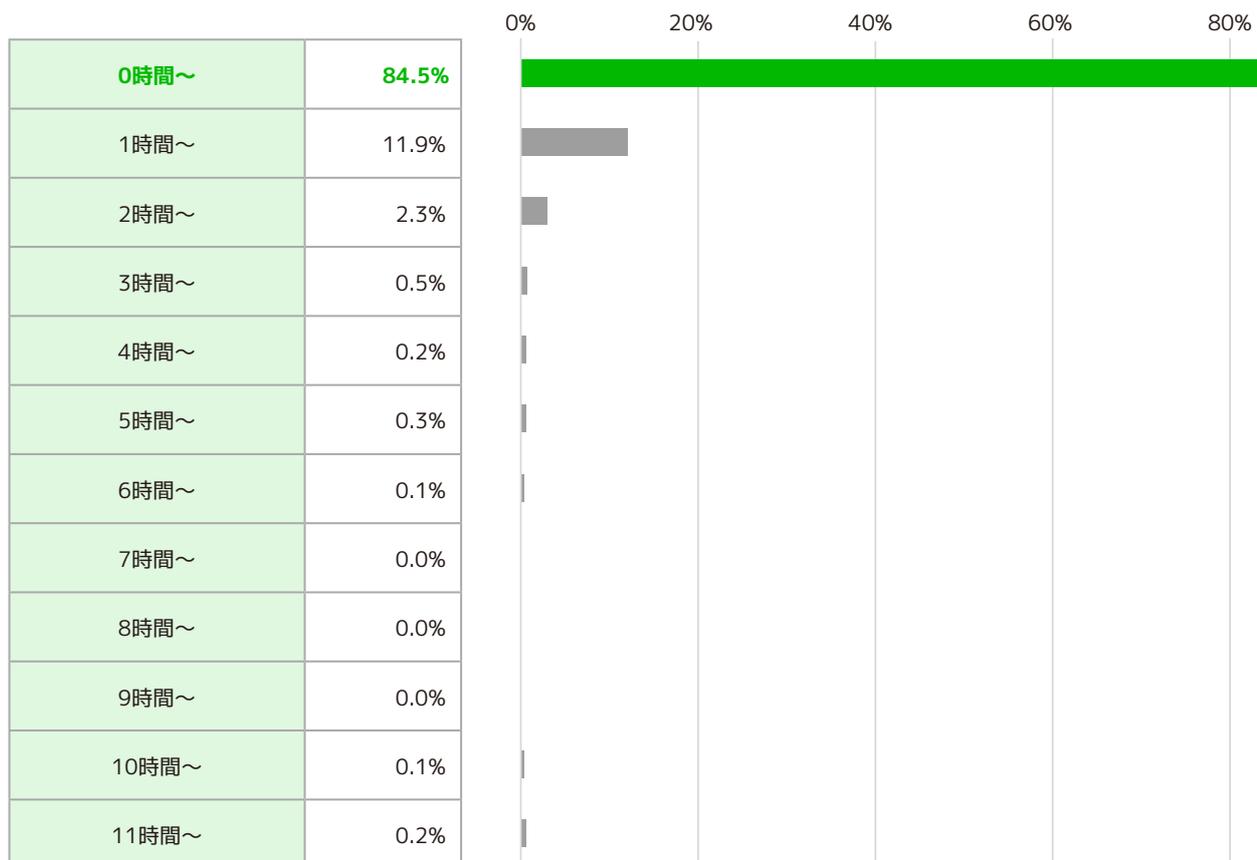
ニュースを見る時間

一番多いのは1日1時間未満で84.5%

平日にスマートフォン等を用いてニュースを見る時間について質問したところ、1日に1時間未満の生徒が84.5%、1時間以上2時間未満の生徒が11.9%となり、両者を合わせた2時間未満の生徒は96.4%となりました。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、以下のサービスを、平日1日（24時間）にどれくらい使っていますか。



n = 2,970

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査
平成28年度最終報告書

発行日 2017年7月28日

発行者 LINE株式会社 公共政策室
〒160-0022
東京都新宿区新宿4-1-6
JR新宿ミライナタワー23階

共同研究 多摩大学情報社会学研究所
研究協力 神奈川県教育委員会
東京都教育委員会

編集協力 一般財団法人情報法制研究所

装丁・デザイン アラサキデザインスタジオ
